Panasonic®

取扱説明書
ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-T3000R

安全上のご注意
接続／設定
視聴
録画
再生／編集
ダビング
他の機器と
写真／音楽
便利機能
パソコン制御
必要なとき

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（232 ～ 236 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続と**設定**を行ってください ▶ 9 ページ

詳しい接続、設定については、177 ページをご覧ください。

本機の「特長」

録画が便利

▶ 58 ページ

複数番組同時録画 見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。
- スカパー! HDの番組と重なっても録画できます。

関連番組まとめて予約 お好みの項目に関連した番組を自動で予約録画できます。

3D映像を楽しむ

▶ 68 ページ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

番組を持ち出す

▶ 115 ページ

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出してお楽しみいただけます。

パソコンで制御する

▶ 132 ページ

RS-232Cケーブルで本機とパソコンを接続すると、パソコンからの制御が可能になります。

思い出を見る／残す

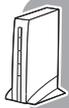
動画

▶ 61、97 ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。
ハイビジョン動画の場合、再生もできます。

写真

▶ 107、110 ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真の再生や取り込みができます。

ネットワークにつないで楽しむ

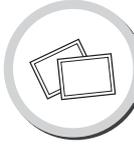
スカパー! HD録画

▶ 106 ページ

対応チューナーから本機にハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。

DLNA機能

▶ 128 ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることや、別の部屋にある機器の映像を見ることができます。

プリンター

▶ 112 ページ

写真を印刷することができます。

ドアホン・センサーカメラ録画

▶ 120 ページ

留守中の訪問客などを記録することができます。

アクトビラ

▶ 122 ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

ネットワークを使ってダビング

▶ 105 ページ

CATVセットトップボックスなどからダビングできます。

1ヵ月の番組表/注目番組

▶ 41、43 ページ

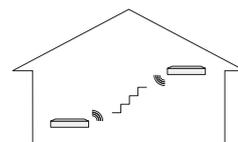
1ヵ月の番組表※1や注目番組※2を表示することができます。

※1 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ(2012年5月現在、WOWOW、スター・チャンネルのみ)

※2 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ(2012年5月現在、NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみ)

本機は無線LANを内蔵しています

無線 LAN を使ってネットワーク接続(➔192)すると、
ケーブルの配線を気にすることなく、
ネットワーク機能を楽しむことができます。

目次

接続と設定について詳しくは、以下をご覧ください。

「安全上のご注意」を必ずお読みください（➜232 ～236 ページ）

視聴

録画

再生 / 編集

ダビング

（➜ 次ページに続く）

他の機器と

写真 / 音楽

便利機能

パソコン制御

必要なとき

本機の設置について

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。

つゆつきについて
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期
●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

本機の電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜209

本機を廃棄 / 譲渡するときは

174 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 122 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

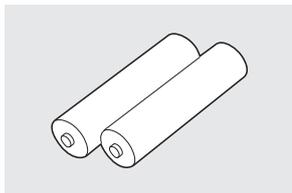
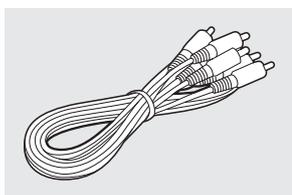
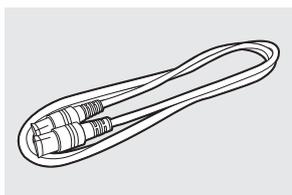
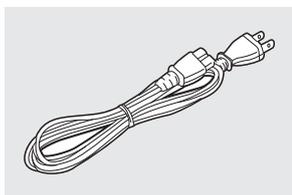
Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
●本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

接続と設定を行ってください

付属品

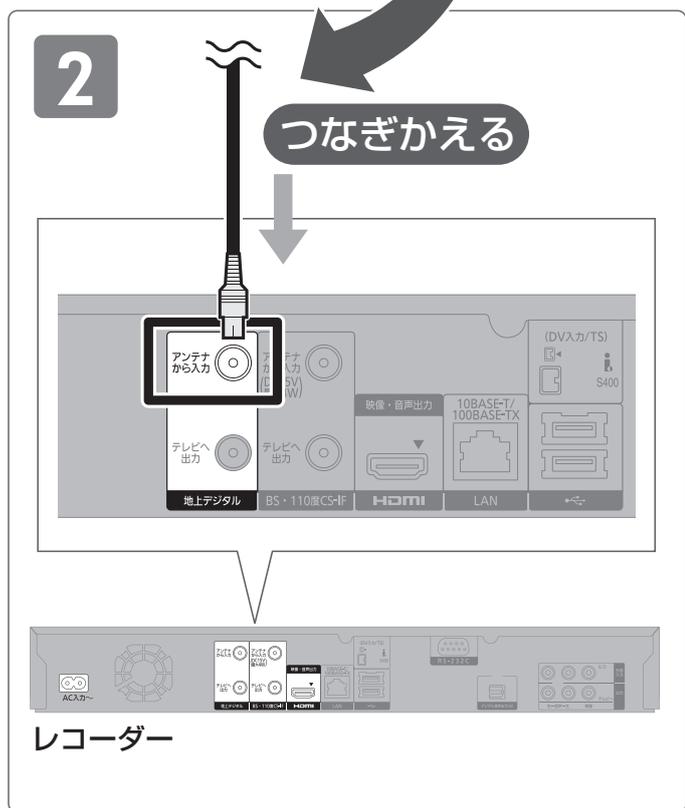
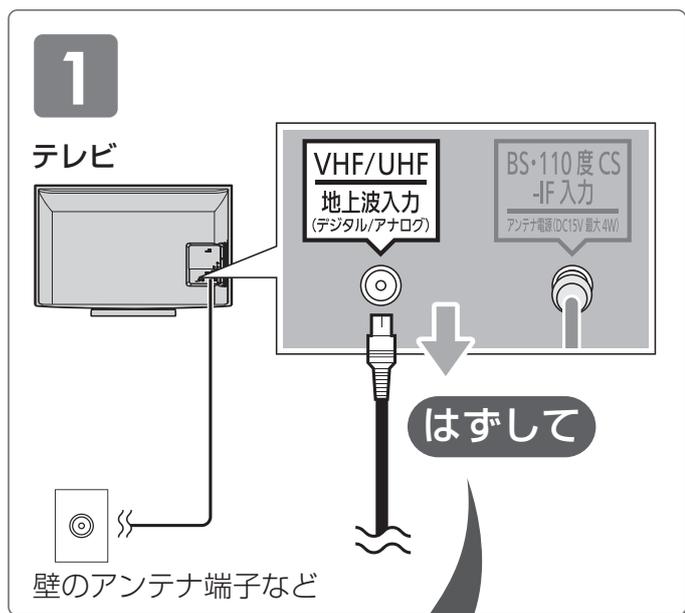
リモコン（1 個）
N2QAYB000787

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池

映像・音声コード（1 本）
K2KA2BA00003

アンテナケーブル
（75Ω 同軸ケーブル）（1 本）
K2KZ2BA00005

電源コード（1 本）
K2CA2CA00024

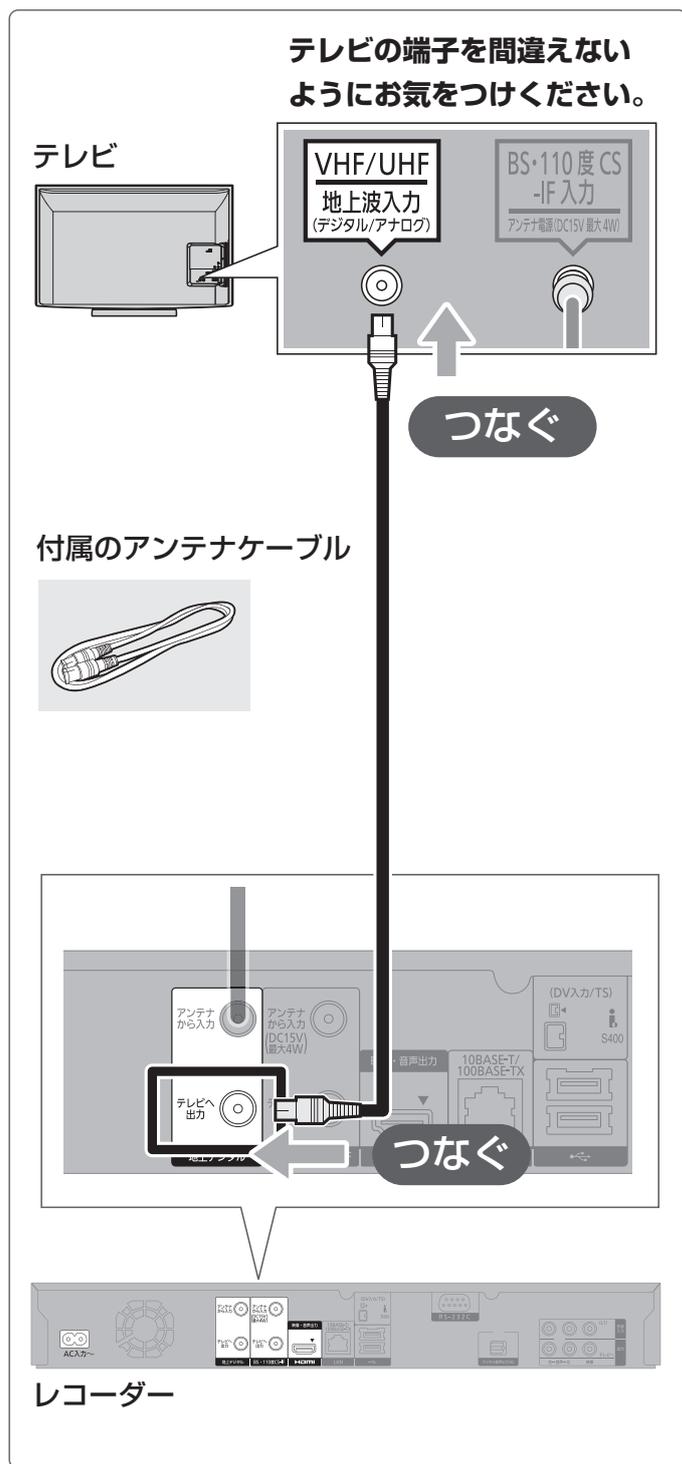
B-CAS カード（1 枚）
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
（➜178）

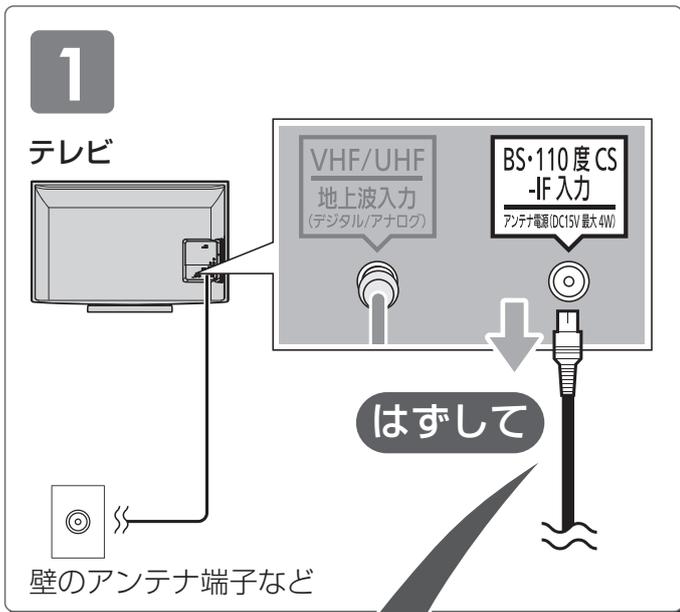
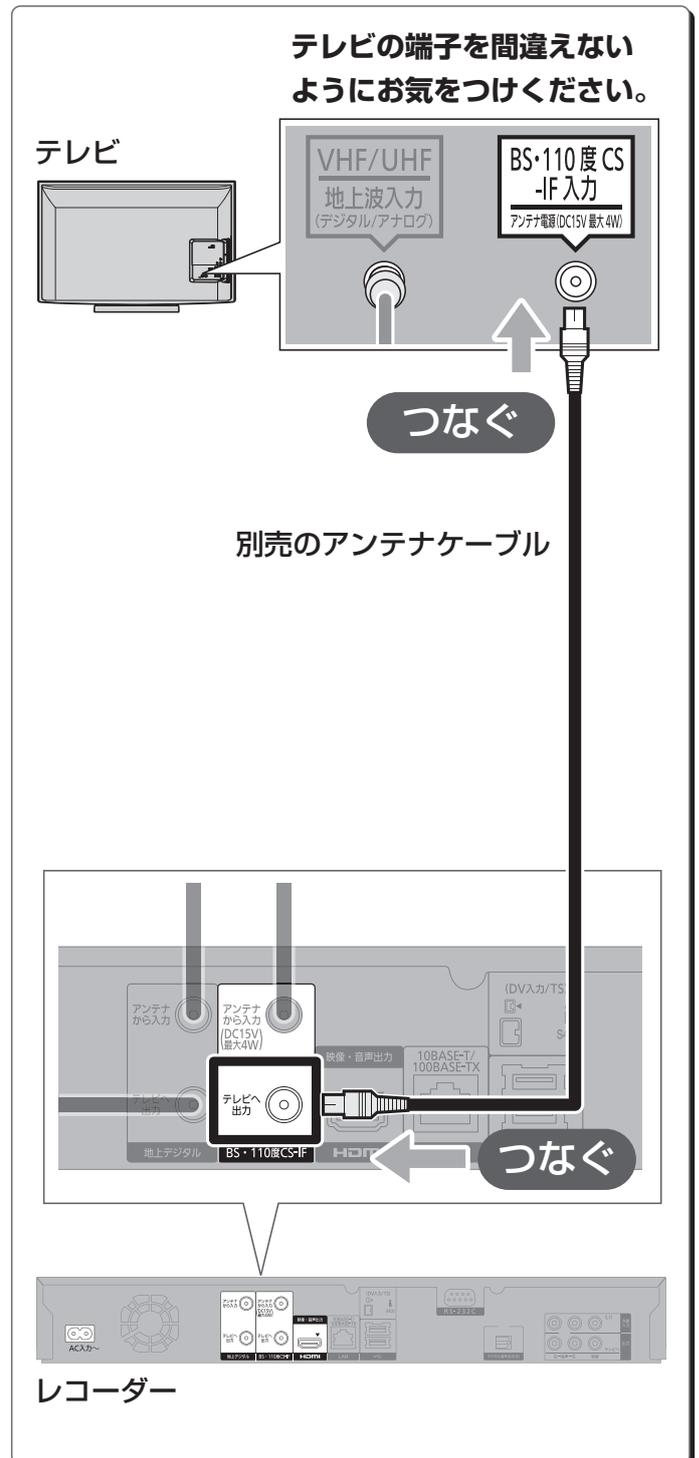
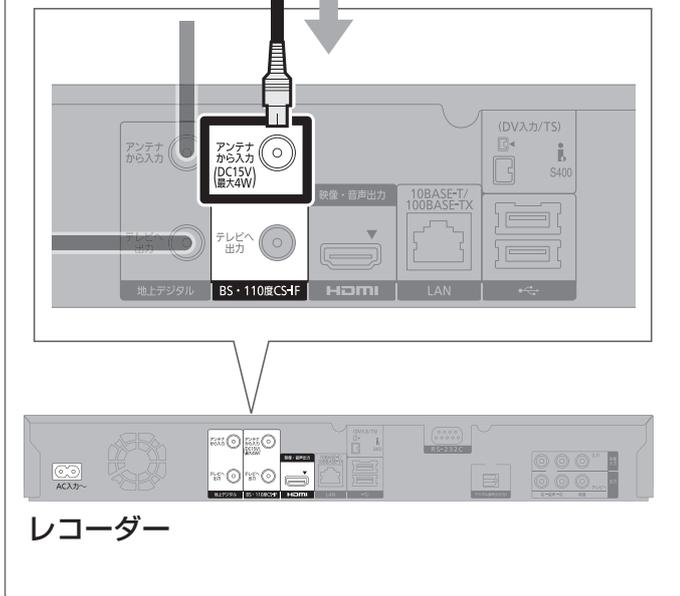
●包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
●小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
●イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
●付属品の品番は、2012 年 5 月現在のものです。変更されることがあります。
●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

接続と設定を行ってください（続き）

② 地上デジタル放送 アンテナをつなぎかえる

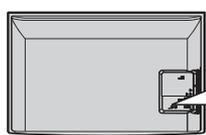
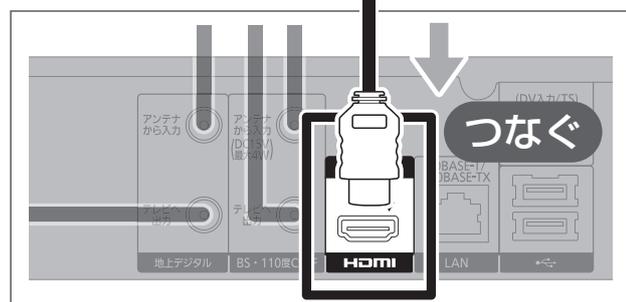
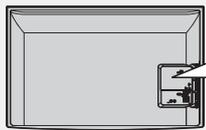
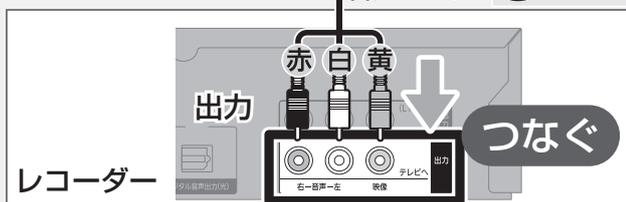
テレビにつないでいるアンテナ線をはずして
レコーダーにつなぎかえます。

③ 地上デジタル放送 アンテナケーブルをつなぐ

付属のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

BS・CS を視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑥ に進んでください。

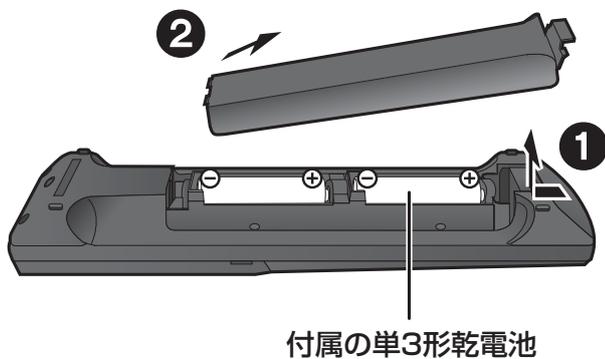
テレビにつないでいるアンテナ線をはずして
レコーダーにつなぎかえます。

別売のアンテナケーブルを使って
テレビとレコーダーをつなぎます。

6 映像・音声コード をつなぐ

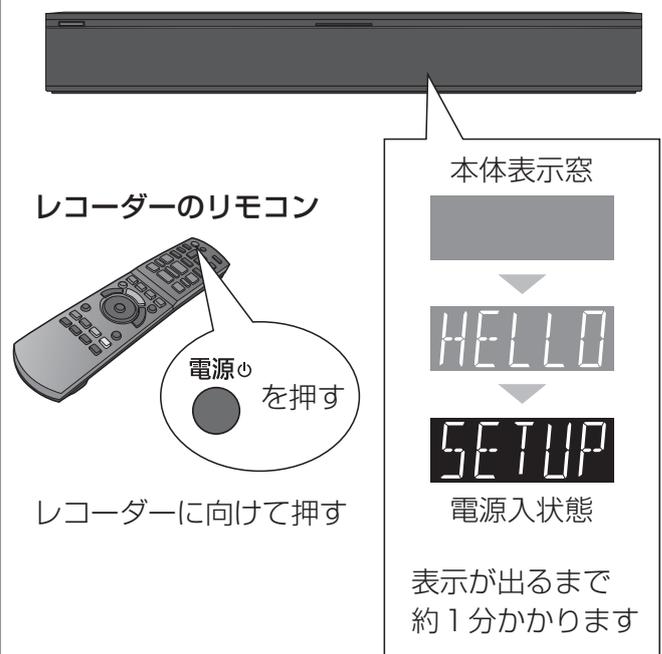
7 電源コード をつなぐ

お勧め HDMI ケーブル（別売）を使う場合

ハイビジョンの高画質な映像で番組を見ることができます。

HDMI ケーブルを使わない場合

HDMI ケーブルを使う場合、この接続は不要です

⑧ 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れる

2 レコーダーの電源を入れる

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。（➜163）
- 本機のリモコン受信部（➜16）に向けて、まっすぐ操作してください。

⑨ 設定をする

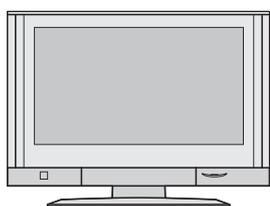
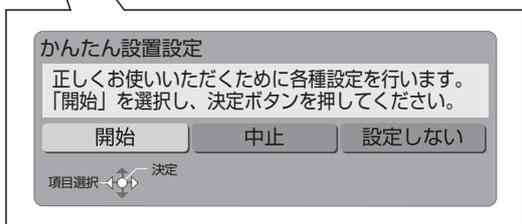
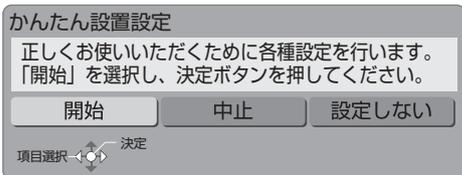
1 テレビの入力を切り換える

2 画面に従って設定する

かんたん設置設定

正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。

開始 中止 設定しない

項目選択 決定

レコーダーのリモコン

レコーダーに
向けて操作

などで操作

接続と設定について詳しくは…

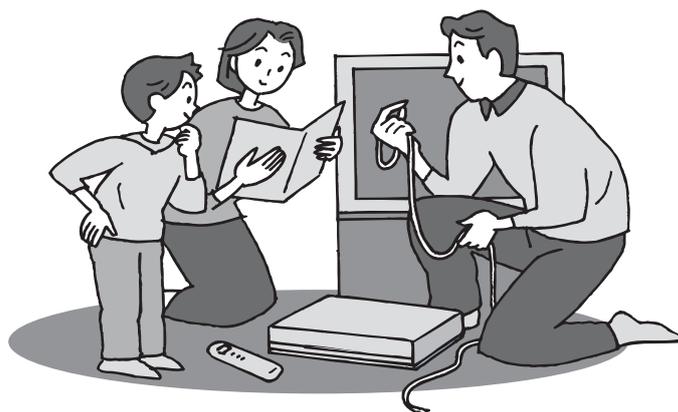
映像端子で接続する 185ページ

ビデオと接続する 186ページ

アンプと接続する 187ページ

ネットワーク接続をする 189ページ

かんたん設置設定をする 196ページ

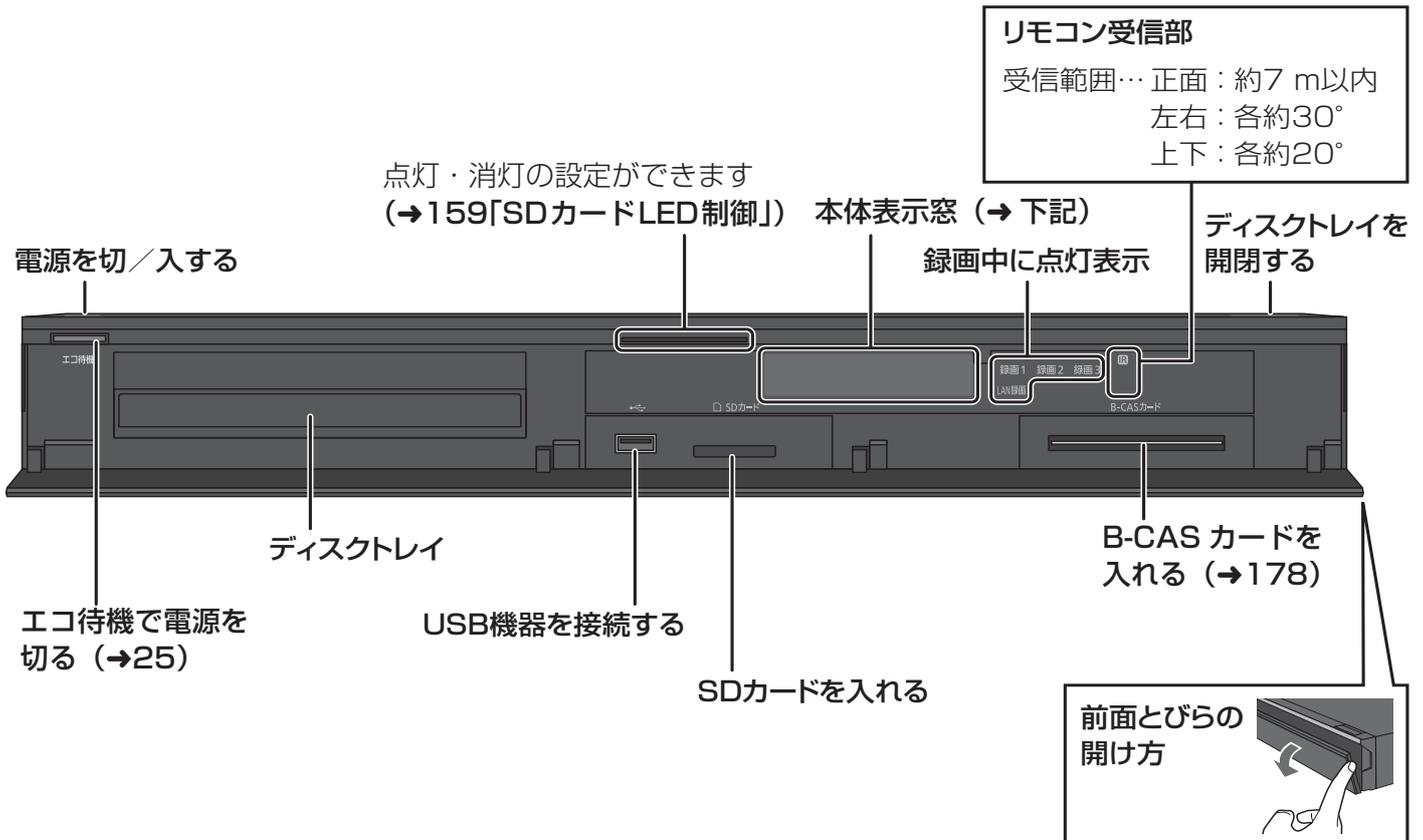
かんたんネットワーク設定をする 198ページ

各部の働き

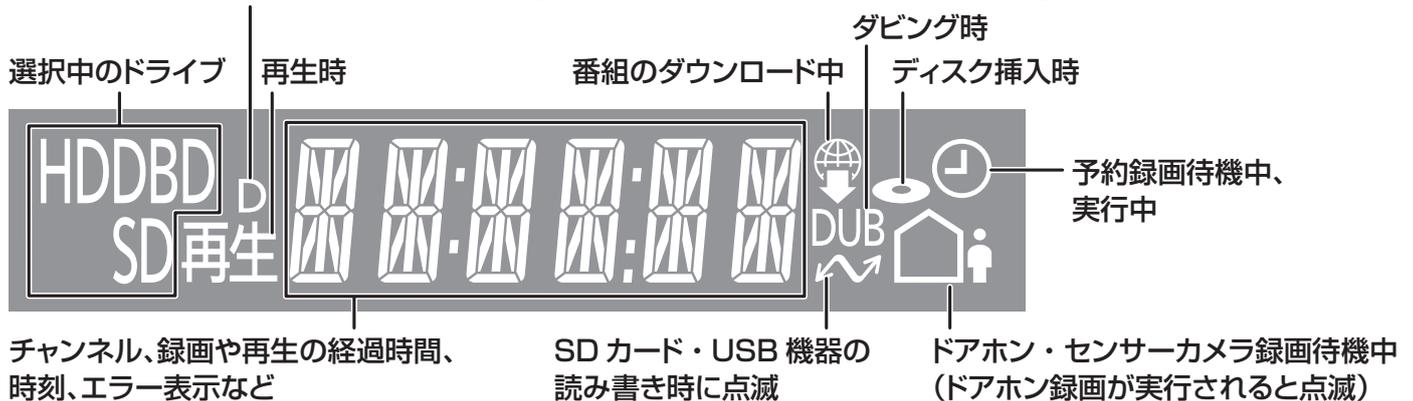
本体前面

リモコン受信部
受信範囲… 正面：約7 m以内
左右：各約30°
上下：各約20°

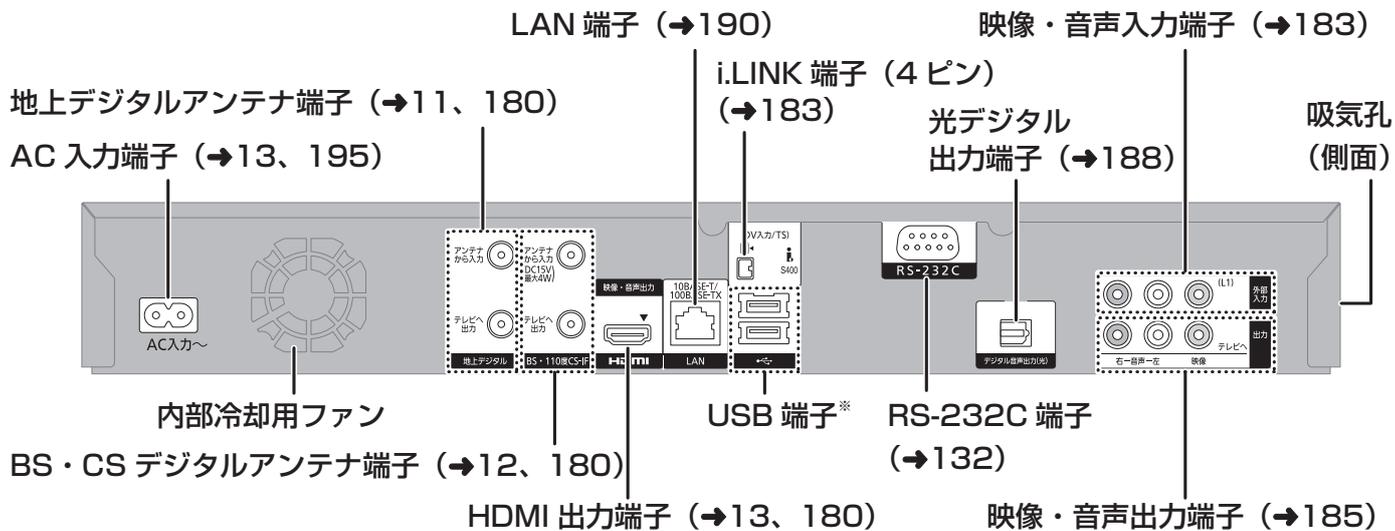
点灯・消灯の設定ができます
(➜159「SDカードLED制御」)
本体表示窓（➜ 下記）
ディスクトレイを
開閉する
電源を切／入する
録画中に点灯表示

エコ待機
録画1 録画2 録画3
LAN録画
SDカード
B-CASカード

ディスクトレイ
B-CAS カードを
入れる（➜178）
エコ待機で電源を
切る（➜25）
USB機器を接続する
SDカードを入れる
前面とびらの
開け方

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

お知らせ

- 以下の場合、本体表示窓は電源「切」時は消灯状態になります。
  - ･「クイックスタート」（➜154）を「切」に設定
  - ･「クイックスタートモード」（➜154）を「省エネ」に設定
  - ･ **[エコ待機]** を押して電源を切る
  - ･HDMI CEC の ECO スタンバイの機能で電源を切る

本体背面

※ 接続する USB ケーブルの形状によって、背面端子に 2 つ同時に接続できない場合があります。
その場合、本体前面の USB 端子をご使用ください。

各部の働き（続き）

リモコン

エコ待機で電源を切る（➜25）

ディスクトレイを開閉する

本機の電源

テレビ操作部（➜164）
●本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。

チャンネルを順に選ぶ

外部接続機器に入力を切り換える
[L1、DV、i.LINK（TS）など]

HDD/BD/SDを切り換える

予約一覧画面を表示する（➜51）

録画や再生時の基本操作

約 10 秒前へ戻す（➜66）/
お好みチャンネルを表示する（➜32）

約 30 秒先へ飛び越す（➜66）

放送を切り換える（➜31）

アクトビラを表示する（➜122）

録画する（➜35）/
ワンタッチ予約する（➜38）
●ワンタッチ予約は、番組表上で実行することができます。

かんたんスタート画面を表示する（➜30）

スタート画面を表示する（➜27）

番組表を表示する（➜38）

録画一覧 / ディスクメニューを表示する（➜60）

選択および決定する

前の画面に戻る

サブメニューを表示する

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

録画モードを選ぶ（➜35）

チャプターマークを作成・削除する（➜78）

番組の消去や予約の取り消しをする

情報を表示する（➜33、67）

ふたを開けると

音声を切り換える（➜33、67）

3 桁番号を入力してチャンネルを選局する（➜32）

データ放送の画面を表示する（➜31）

ガイドを表示する（➜24）

初期設定を表示する（➜154）

再生方法を設定する（➜71）

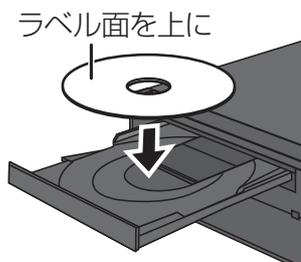
時間を指定して飛び越す（➜67）

チャンネルなどを番号で選ぶ/
番号や文字を入力する

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

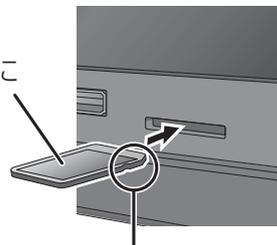
開/閉 ⏏ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [⏏ 開 / 閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。**(➜175)**
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ·カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ·DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。**(➜ 下記)**（TYPE1 は使えません）
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ 本体前面のとびらを開ける

❷ カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

❸ 本体前面のとびらを閉じる

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

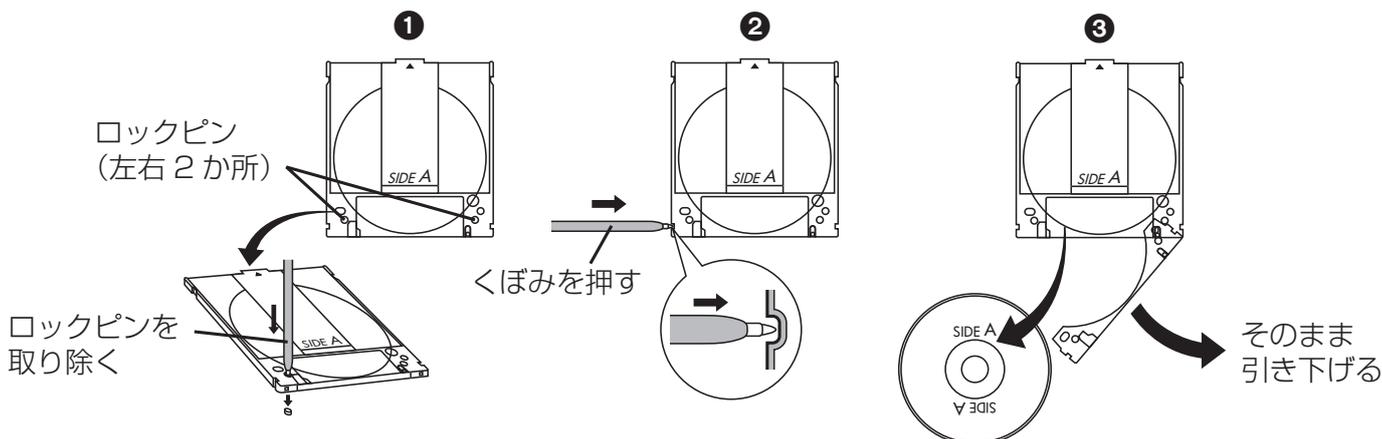
- **本体表示窓の “ ” (➜16) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式
BD-RE	Blu-ray Disc	BD-RE：Ver.2.1（1層/2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	—
BD-R	Blu-ray Disc	BD-R：Ver.1.1/1.2/1.3（1層/2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層/4層）に対応した4倍速メディアまで	
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	**AVCREC方式**
			VR方式（DVDビデオレコーディング規格）
DVD-R	DVD R R4.7	DVD-R：Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで	**AVCREC方式**
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	DVD-R DL：Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで	**VR方式**（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）
DVD-RW	DVD R W	Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	**VR方式**（DVDビデオレコーディング規格）
			ビデオ方式（DVDビデオ規格）

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？ （➜143）	備考
	番組 写真 （BD-Rは写真は記録できません）	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5〜15倍録	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません） ● 2012 年5 月現在、BD-R（片面4 層）は発売されていません。
	番組 写真	ハイビジョン画質 1.5〜15倍録	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。（TYPE1は使えません）
	番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 （データ用ディスクの場合、フォーマット必要）	
	番組	ハイビジョン画質 1.5〜15倍録	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ● デジタル放送は記録できません。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ● デジタル放送は記録できません。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット（➜143）することで設定されます。

記録できるディスクについて（続き）

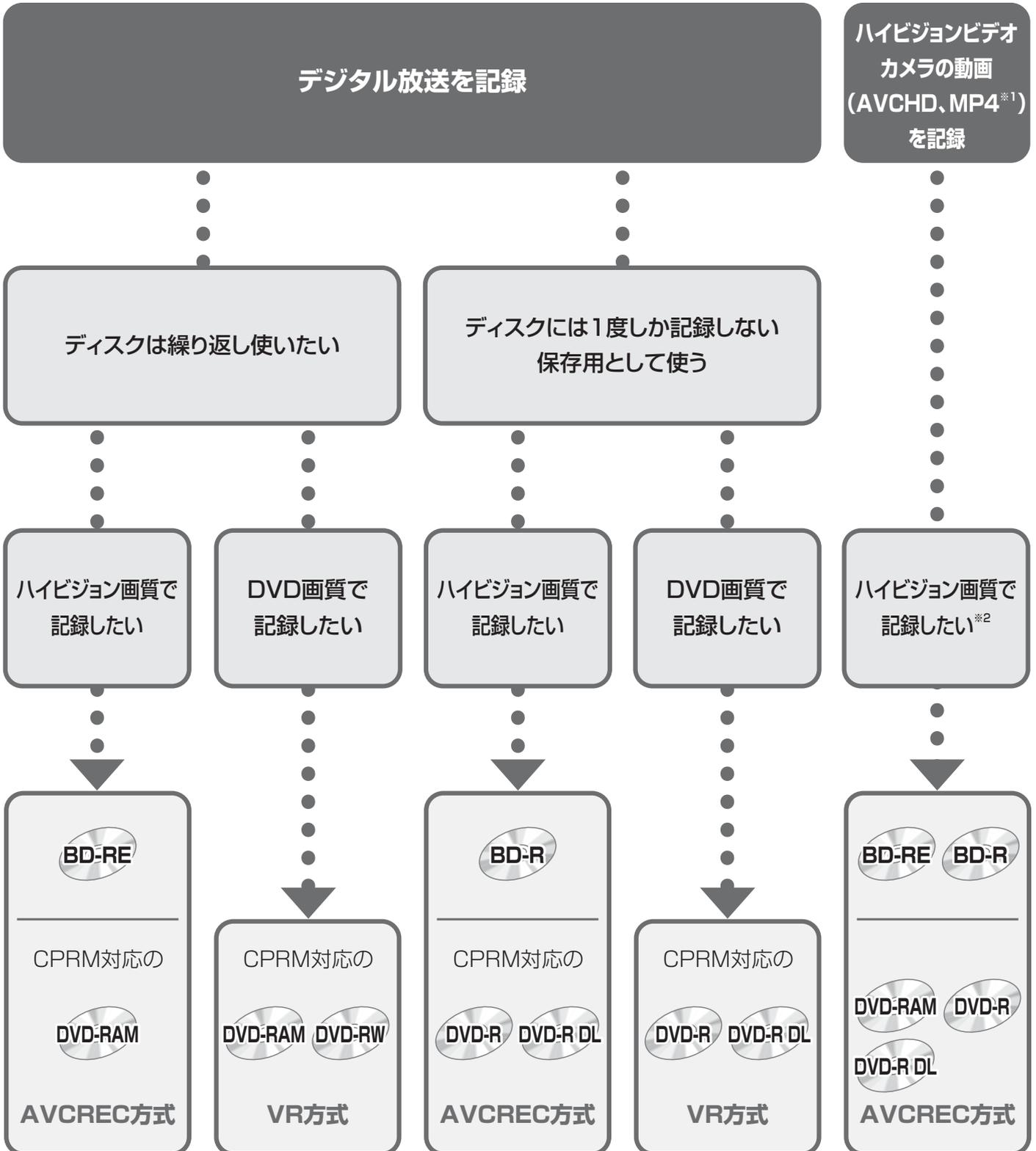
どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。

デジタル放送を記録

- ディスクは繰り返し使いたい
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-RE ／ CPRM対応の DVD-RAM　**AVCREC方式**
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-RAM、DVD-RW　**VR方式**
- ディスクには1度しか記録しない 保存用として使う
  - ハイビジョン画質で記録したい → BD-R ／ CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL　**AVCREC方式**
  - DVD画質で記録したい → CPRM対応の DVD-R、DVD-R DL　**VR方式**

ハイビジョンビデオカメラの動画（AVCHD、MP4※1）を記録

- ハイビジョン画質で記録したい※2 → BD-RE、BD-R ／ DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL　**AVCREC方式**

※1　MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

※2　DVD画質で記録したい場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1.5 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、LAN 経由（スカパー! HD や CATV）で録画した番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ･DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - ･BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**

･**AVCREC 方式の場合：**
対応機器には右記のロゴが付いています。
対応機器以外で使用しないでください。
ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
-R はファイナライズ（➜146）が必要です。

･**VR 方式の場合：**
VR 方式の再生に対応している必要があります。

･**ビデオ方式の場合：**
記録後にファイナライズ（➜146）が必要です。

- **デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

本書内の表現 / ガイドボタンについて

本書内の表現について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB

※　DL、BDXL も含みます。

●同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
- ･AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- ･VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
- ･ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V)（ただしファイナライズ後は DVD-V）

●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

●ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

ガイドボタンについて

☞ **右記のような ? マークが付いた画面が表示されたとき**

ガイド ? を押すと、操作に対する補足説明を表示します。

例）

本機の映像をテレビに映す

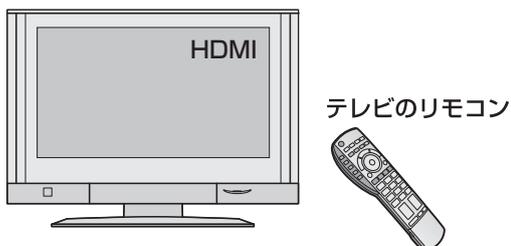
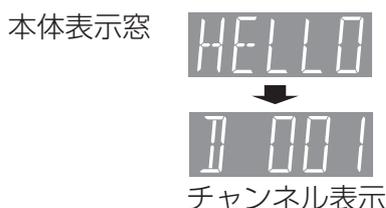
1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

3 本機のリモコンの **を押す**

本体表示窓

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。
●接続を確認してください。(➜178～195)

本機の電源を切る

本機のリモコンの **を押す**

本体表示窓

または

時刻表示　　表示なし

●タイマー機能(➜155)を設定すると、設定した時刻に自動で電源を「入」または「切」にすることができます。

エコ待機で電源を切る

[エコ待機] で電源を切ると、クイックスタートの設定にかかわらず、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。(**消費電力 ➜224**)

 を 3 秒以上押す

本体表示窓

表示なし

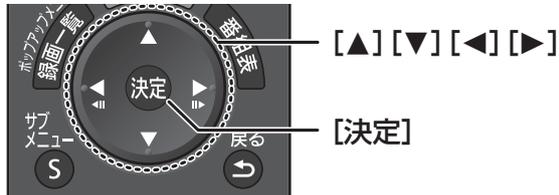
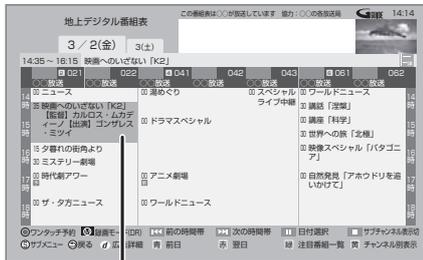
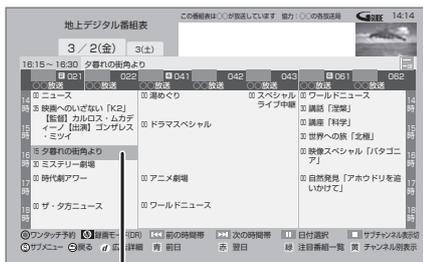
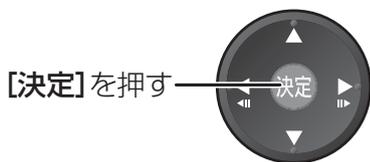
お知らせ

●エコ待機で電源「切」時は、「エコ待機モード」(**➜155**) の設定にかかわらず、以下の制限があります。
・「クイックスタート」(**➜154**) が「切」時と同じ動作になるため、起動が遅くなる
・DLNA 機能が使用できない
・宅内リモート接続機能が使用できない
・ドアホン・センサーカメラからの録画ができない
・i.LINK からの予約録画が実行されない
・スカパー！HD 対応チューナーや CATV セットトップボックスからの予約登録ができない、または番組の時間変更に追従できない
・HDMI CEC 録画待機ができない

●「エコ待機モード」(**➜155**) が「モード2」の場合、上記に加えて以下の制限もあります。
・アンテナ線を本機経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがある
本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。(**➜184**)

●エコ待機中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に“ECO”と表示されます。

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの[▲][▼][◀][▶] で選び、[決定] を押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

黄色になります。

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定 を押す
と記載しています。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 スタート **を押す**

2 項目を選び、決定 を押す

新着お知らせアイコン(➜下記)

現在表示しているページの位置

スタート画面は3つのページに分かれています。

 左右のページを表示するには

スキップ スキップ を押す（または [◀][▶] を数回押す）

最初に表示されるページ

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

● **新着お知らせアイコンについて**

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

・おまかせ録画を見る※
・最新録画番組を見る※
・情報・診断コード
・ドアホン・センサーカメラ映像を見る

※ 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。

●以下の機能では、新着情報があるときに番組や写真のサムネイルを表示します。

・おまかせ録画を見る
・最新録画番組を見る

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜30)

分類	表示できる機能	備考
見る	録画番組を見る	(➜60)
	最新録画番組を見る	(➜63)
	おまかせ録画を見る	「新番組おまかせ録画」(➜45) で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(➜107)
	撮影ビデオを見る	(➜63)
	ドアホン・センサーカメラ映像を見る	(➜120)
番組を探す・予約する	予約する	(➜38)
	予約確認する	(➜51)
	関連番組まとめて検索	(➜46)
	ぴったり録画	(➜37、100)
	新番組おまかせ録画	(➜45)
	放送局からのおすすめ（注目番組）	(➜43)
	ジャンル検索	(➜44)
	お好み番組表	お好みチャンネル (➜32) で登録された放送局のみを番組表に表示します。

分類	表示できる機能	備考
残す	ダビングする	(➜82、84)
	持ち出し番組かんたん転送	(➜117)
	持ち出し番組一覧	(➜118)
	DV おまかせ取り込み	(➜101)
	i.LINK（TS）ダビング	(➜103)
ネットワーク機能を使う	DLNA クライアント	(➜129)
	アクトビラ	(➜122)
設定する・その他の機能	放送設定	(➜148)
	初期設定	(➜154)
	情報・診断コード	(➜147、209)
	Wi-Fi Direct 接続	(➜130)
	壁紙設定	(➜30)
	お好み設定リセット	(➜30)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器内のデータを表示します。

スタート画面について（続き）

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **変更したい機能を選び、**[サブメニュー S] **を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、**[決定] **を押す**

4 **メニューを選び、**[決定] **を押す**

5 **表示したい機能を選び、**[決定] **を押す**

- 登録できる機能については（➜28）

6 **「はい」を選び、**[決定] **を押す**

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

① **[スタート]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④ 「お好み設定リセット」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

壁紙を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **「壁紙設定」を選び、**[決定] **を押す**

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 **壁紙を選び、**[決定] **を押す**

- 「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」（➜108）を行ってください。

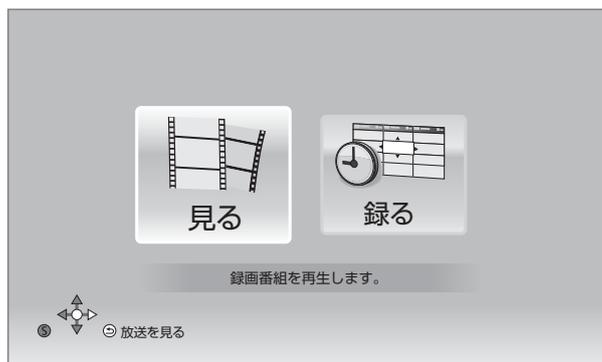
4 [戻る] **を押す**

- 壁紙設定を終了します。

かんたんスタート画面を表示する

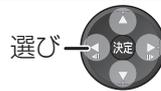
かんたんスタート画面を使うと、よりわかりやすい画面で番組の予約や再生を行うことができます。

1 [かんたんスタート] **を押す**

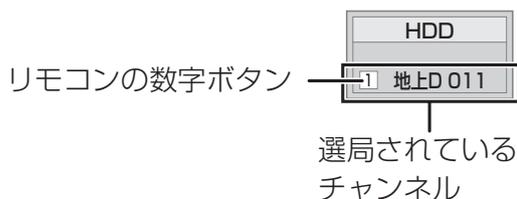
2 **項目を選び、**[決定] **を押す**

- 画面の指示に従って操作してください。

お知らせ

- ダウンロードした番組や視聴制限のある番組は表示されません。

テレビ放送を見る

1 [地上] [BS] [CS] **を押して、放送を選ぶ**

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 [1] ～ [12]（ふた内部）または [チャンネル] **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **本機では、データ放送を録画できません。**
  録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、**
[データ]（ふた内部）**を押す**

2 **見たい項目を選び、** [決定] **を押す**

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

お知らせ

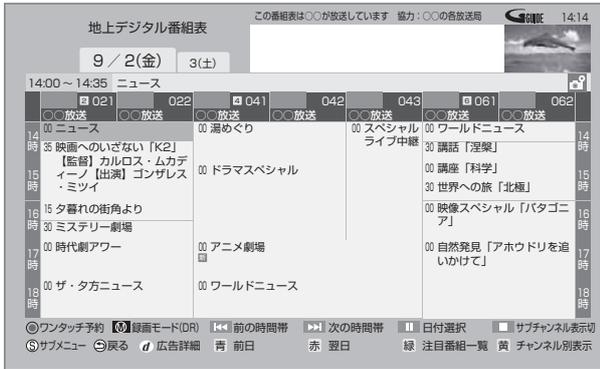
- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 1.5～15倍録モードで2番組録画中は、放送/入力やチャンネルの切り換えは2番組間でのみできます。

視聴

その他の選局方法

番組表から選局

❶ を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、3桁入力（ふた内部）を押す
- 押すごとに放送が切り換わります。

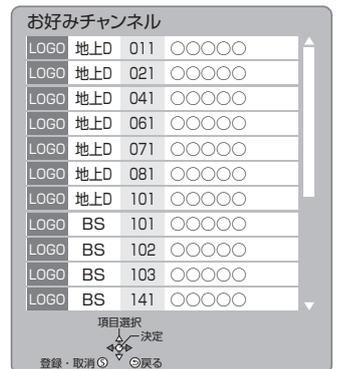
❷ 1 ～ 10（ふた内部）を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1] → [10] → [1]
- 画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル)（➜34「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。放送に関係なく1つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② [サブ メニュー] を押す
③「登録」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す
③「取消」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

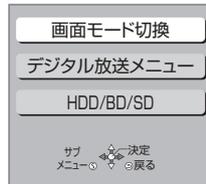
番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶

を押す

●表示されない場合、もう一度 **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ **「画面モード切換」を選び、決定 を押す**

❸ **画面モードを選ぶ**

ノーマル：
元の映像で表示します。

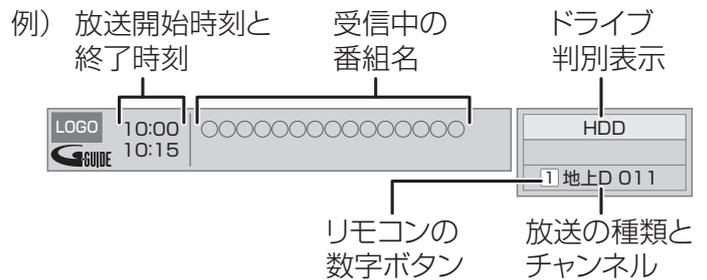
サイドカット：
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム：
4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ・他のチャンネルを選局
  - ・番組の再生を始める、または終了する
  - ・電源を切 / 入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- 「TVアスペクト」(➜159) を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

表示を消すには

[画面表示] を数回押す

音声を切り換える

音声切換（ふた内部）を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

●3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは➜69「3D映像を再生するための便利な機能」)

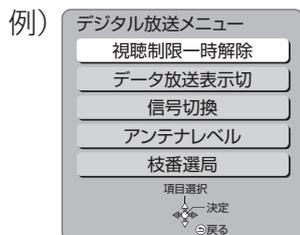
放送内容などの設定

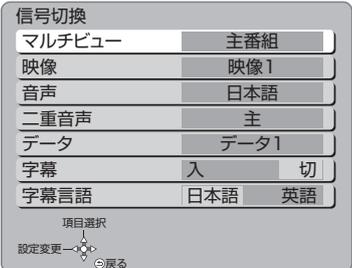
テレビ視聴中に

❶ を押す

●表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）
デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
アンテナレベル
枝番選局
項目選択
決定
戻る

❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

視聴制限一時解除	暗証番号（➜149）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 入 切 字幕言語 日本語 英語 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 （詳しくは ➜56）
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 地上デジタル	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** 枝番選局 3桁番号：011 011-0 LOGO ○○○○○ 主選局 011-1 ○○○○○ 011-2 ○○○○○ 枝番切換 選局 戻る 青 赤 緑 主選局変更 黄 **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

録画する

基本操作 選び [決定] ➡ 決定する [決定]

HDD

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ディスクに直接録画する場合、「ディスクへの録画機能」(➜155) を「有効」に設定してください。
(ディスクには 1 番組のみ録画できます。)

1 [HDD/BD/SD] を押して、録画先を選ぶ

2 [地上] [BS] [CS] (1/2) を押して、放送を選ぶ

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

3 [1] ～ [12] (ふた内部) または [チャンネル] を押して、チャンネルを選ぶ

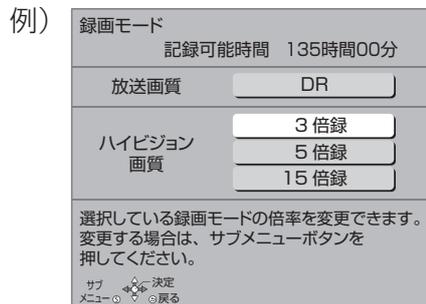
4 [録画モード] を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例)

録画モード
記録可能時間 135時間00分

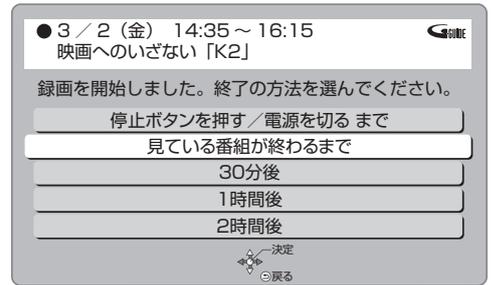
放送画質	DR
ハイビジョン画質	3 倍録 5 倍録 15 倍録

選択している録画モードの倍率を変更できます。
変更する場合は、サブメニューボタンを押してください。
サブメニュー 決定 戻る

- ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(➜57)

5 [ワンタッチ予約 録画] を押す

本体前面

"録画 1" または "録画 2"、"録画 3" が点灯

6 録画の終了方法を選び、[決定] を押す

例)「30 分後」を選んだ場合

本体前面

録画終了までの時間

- 「ディスクへの録画機能」(➜155) を「有効」に設定している場合、録画の終了方法は表示されません。

録画を止めるには

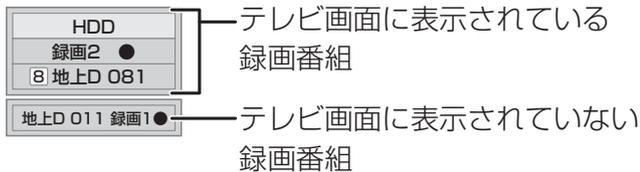
[■ 停止] を押す

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安 (➜226)**
- **録画モードと記録時間の倍率について (➜57)**
- 「ディスクへの録画機能」(➜155) を「無効」に設定しているとディスクへは録画できません。
  ・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないことがあります。録画前に「記録学習実行」(➜141) を行うと、先頭から録画されます。
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (➜58) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当 (従来のアナログ放送と同様の画質) の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

 を押す

例）複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合：

   を押す

●チャンネルを切り換えていた場合：

 を押す

●入力を切り換えていた場合：

［入力切換］を押す

録画を止める

［■停止］を押す

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。（➜ 上記）

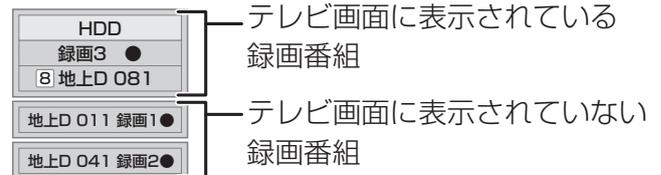
［❚❚一時停止］を押す

●もう一度押す、または [**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

複数の番組を録画する

35 ページの手順 1 ～ 6 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

●3番組録画中のチャンネル/放送/入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
（ただし、1.5 ～ 15 倍録モードで２番組、DR モードで１番組録画している場合、DR モードの番組に切り換えることはできません）

録画しながら再生する

追っかけ再生：
HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク録画中は、ディスクの再生はできません。

1 **を押す**

2 **番組を選び、**［決定］**を押す**

ぴったり録画

録画した番組を新品の DVD（4.7 GB）にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて 1.5 〜 15 倍録モードの中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
（➜56「1.5 〜 15 倍録」）

1 **チャンネルを選ぶ**（➜35 ページ手順 2 〜 3）

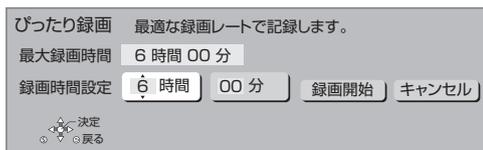
2 スタート **を押す**

3 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

4 **「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す**

5 **「ぴったり録画」を選び、決定 を押す**

6 **「HDD に録画」を選び、決定 を押す**

7 **“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する**

- 6 時間を超えて設定することはできません。

8 **「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で 決定 を押す**

録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す

例）
録画の残り時間

お知らせ
- 録画中にぴったり録画はできません。

録画

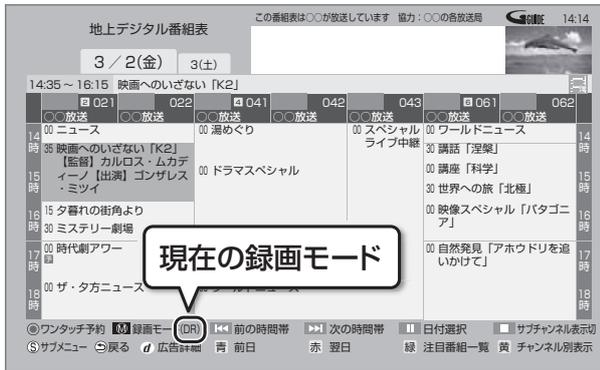
予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

予約録画する場合、「ディスクへの録画機能」(➜155)を「無効」に設定してください。
「有効」に設定していると予約録画できません。

番組表（G ガイド）を使って HDD に予約録画する

1 **を押す**

2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **現在の録画モードを変更するには**
[録画モード] を押す

3 **を押す**

決定 の代わりに ワンタッチ予約録画 を押すと、
現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
（予 が表示されます）
●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

5 項目を選び、決定 を押す

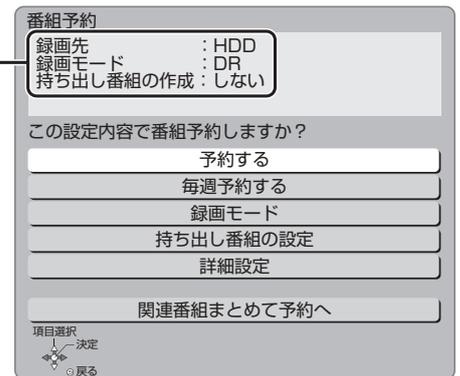
予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜53）

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組の設定：
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成（➜116）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜48）

関連番組まとめて予約へ：
お好みの番組を自動で登録（➜46）

予約内容を確認してください。

お知らせ

●番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
●電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
●本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
●予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約したい場合、**手順 3** で **[決定]** を押して予約してください。

番組表（G ガイド）を使ってディスクに予約録画する

ディスクは、1 番組のみ予約できます。

1 ディスクを入れる

- 下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例）

BD-RE
かんたんダビング

2 38 ページの手順 1 ～ 4 を行う

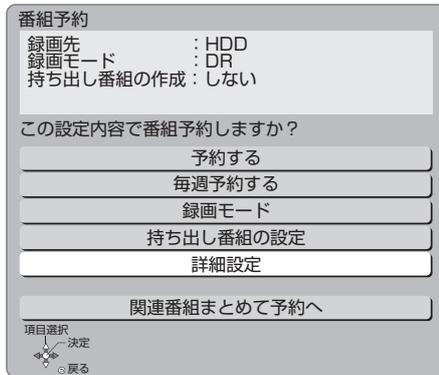
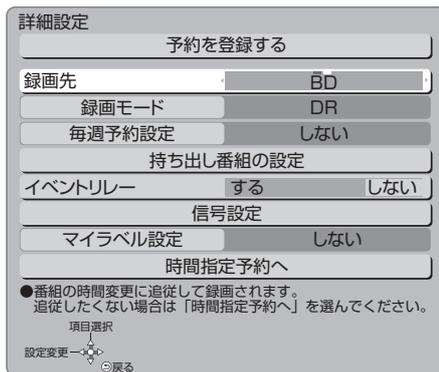
- 38ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定 を押す

番組予約
録画先　　　　　　：HDD
録画モード　　　　：DR
持ち出し番組の作成：しない
この設定内容で番組予約しますか？
予約する
毎週予約する
録画モード
持ち出し番組の設定
詳細設定
関連番組まとめて予約へ
項目選択
決定
戻る

4 録画先を「BD」にする

詳細設定
予約を登録する

録画先	BD
録画モード	DR
毎週予約設定	しない
持ち出し番組の設定	
イベントリレー	する / しない
信号設定	
マイラベル設定	しない
時間指定予約へ	

●番組の時間変更に追従して録画されます。
追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。
項目選択
設定変更
戻る

5 「録画モード」を選び、決定 を押す

6 録画モードを選び、決定 を押す

- ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

7 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

- フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
（1.5 ～ 15 倍録モードで記録）
- -RW ではできません。

DVD 画質で記録します。
（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）

予約録画できません。

録画

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- **パネル広告について**

  ネットワークに接続し、「通信による G ガイド受信」(➔148)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

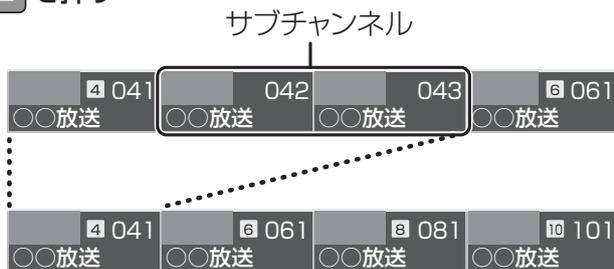
番組表の表示設定

放送の切り換え

  1/2 CS を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

■停止 を押す

お知らせ

- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え
●全チャンネル表示時のみ

青（前日）赤（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ ❚❚一時停止 を押す

❷ 日付を選び、決定 を押す

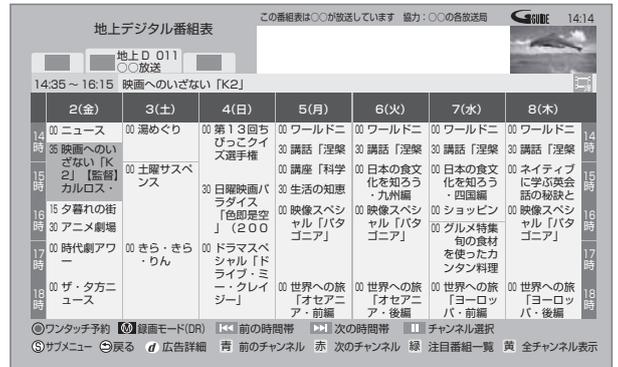
お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
  さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜148）を「入」にすると、１ヵ月の番組情報を取得することができます。（2012年５月現在、ネットワークから１ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW、スター・チャンネルのみです）

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ **表示したいチャンネルの番組を選ぶ**

❷ 黄 **を押す**

全チャンネル表示に切り換えるには

［黄］を押す

別のチャンネルを表示するには

チャンネル別表示中に
［青］［赤］を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① ［❚❚ 一時停止］を押す

② チャンネルを選び、［決定］を押す

お知らせ

- 1ヵ月の番組表を取得している場合、９日目以降の番組情報を取得するのには時間がかかります。

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

 を押す

2 **項目を選び、設定する**

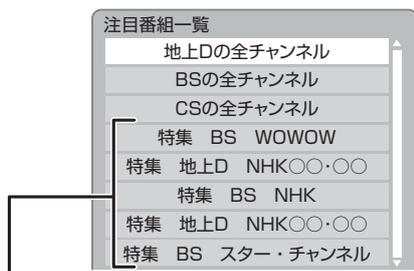
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜44)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜32) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** ☞ **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜149）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

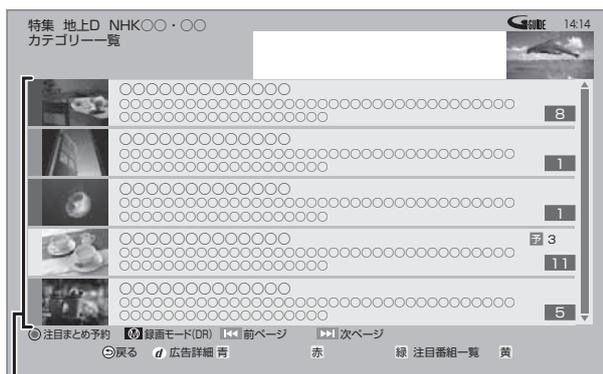
注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
[緑] **を押す**

2 **放送を選び、決定 を押す**

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順４へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜148）を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
（2012年 5 月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです）

3 （ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ）
カテゴリーを選び、決定 を押す

カテゴリー

☞ **カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには**
[**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

☞ **放送を変更するには**
[**緑**] を押す（➜ **手順２へ**）

4 **番組を選び、決定 を押す**

カテゴリー

☞ **前後のページを見るには**
[|◀◀][▶▶|] を押す

☞ **他のカテゴリーを表示するには**
[**青**][**赤**] を押す
（[❚❚ **一時停止**] を押してカテゴリーを選択することもできます）

☞ **放送を変更するには**
[**緑**] を押す（➜ **手順２へ**）

☞ **録画モードを変更するには**
① [**録画モード**] を押す
② 録画モードを選び、[**決定**] を押す

5 **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**

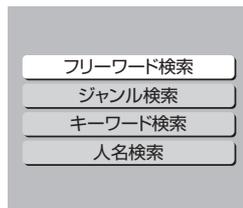
（「番組予約」のときは ➜38 手順５）
（「時間指定予約」のときは ➜50 手順３）

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

 を押す

2 **「番組表の検索」を選び、決定 を押す**

3 **検索方法を選び、決定 を押す**

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、決定 を押す**
●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[**地上**][BS][CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❺ **番組を選び、決定 を押す**
❻ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜38 手順 5）

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件（5 件まで）を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ 緑 **を押す**
❺ **検索方法を選び、決定 を押す**
●「フリーワード」は、文字を入力し **（➜125）**、登録してください。
上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[**決定**] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[**決定**] を押す
③ 文字を入力する **（➜125）**

登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[**黄**] を押す
② 「はい」を選び、[**決定**] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① 赤 **を押す**
② **検索したい放送を「入」に設定し、決定 を押す**

❺ 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには
[**青**]（前日）[**赤**]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に 、[**❚❚ 一時停止**] を押して日付を選択することもできます）

❻ **番組を選び、決定 を押す**
❼ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す**
（➜38 手順 5）

お知らせ

- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」**（➜148）**を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する
(地上デジタル) (BSデジタル)

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD にDRモードで予約します。

1 スタート **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[⏮][⏭]でページを切り換えてください。

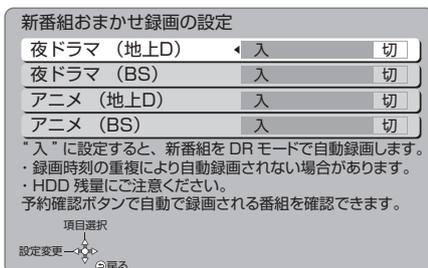
3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

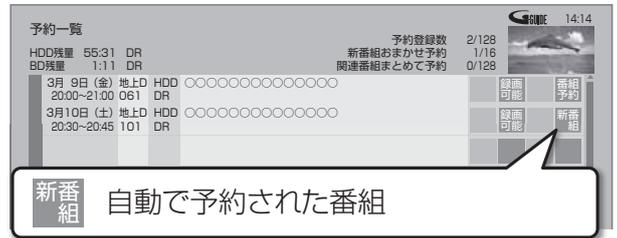
4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする

新番組おまかせ録画の設定

項目	入	切
夜ドラマ（地上D）	入	切
夜ドラマ（BS）	入	切
アニメ（地上D）	入	切
アニメ（BS）	入	切

"入"に設定すると、新番組をDRモードで自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

予約内容を修正するには（➜51）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組や関連番組まとめて予約と予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜58）できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜58）できないときは、以下の優先順位で予約します。
  1. 開始時刻の早い番組を優先
  2. 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルとBSデジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

お好みの番組を自動で予約録画する（関連番組まとめて予約）

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目に関連する番組を毎日検索して自動で予約録画します。

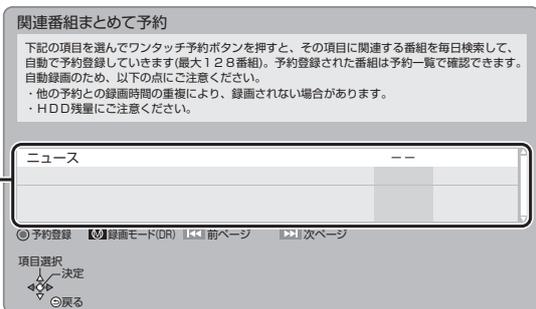
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- 自動で予約される番組数は 128 番組までです。
- HDD に予約します。

選択した番組に関連した番組を自動で予約録画する

選択している番組に関連する項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面（➜38 手順 5）表示中に **「関連番組まとめて予約へ」を選び、決定 を押す**

- 選択している番組に関連番組の情報がない場合、表示されません。

2 表示されている項目を選び、決定 を押す

選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

検索機能を使って関連した番組を自動で予約録画する

連続ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連した番組を自動で予約録画します。

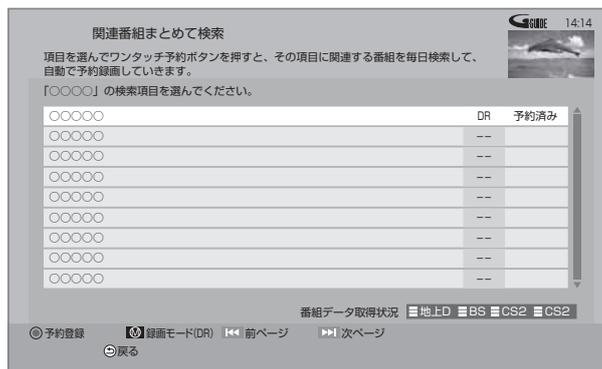
1 スタート を押す

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「検索する」を選び、決定 を押す

4 検索対象から項目を選び、決定 を押す

5 項目を選び、ワンタッチ予約録画 を押す

- 録画モードを変更する場合は [**録画モード**] を押して、録画モードを選んでください。

関連番組一覧を表示する場合

手順 5 で [**決定**] を押す

登録した関連番組まとめて予約の確認、取り消し、修正

1 スタート **を押す**

2 「関連番組まとめて検索」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「登録した予約を確認する」を選び、決定 を押す

■取り消す

❹ 登録した項目を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す

❺「はい」を選び、決定 を押す

●すでに予約された番組は取り消されません。予約一覧（➜51）で取り消してください。

■ 予約済み番組を確認する

❹ 確認したい項目を選び、決定 を押す

●予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す
詳細設定について（➜48）

（予約番組を修正すると、関連番組まとめて予約の番組ではなくなります）

お知らせ

●通常の番組や新番組と予約が重なった場合、複数の番組を録画できないときは、関連番組まとめて予約は行われません。

●関連番組まとめて予約同士が重なった場合、複数の番組を録画できないときは、以下の優先順位で予約します。
①開始時刻の早い番組を優先
②開始時刻が同じときは、地上デジタル放送の番組を優先
③同じ放送波のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

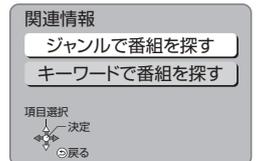
●契約が必要なチャンネルの関連番組は、契約していない場合、自動登録されません。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（➜38 手順 4）表示中に **「関連情報」を選び、決定 を押す**

2 項目を選び、決定 を押す

例）
関連情報
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す
項目選択 決定 戻る

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上] [BS] [CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

3 番組を選び、決定 を押す

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す
（➜38 手順 5）

録画

詳細設定をする

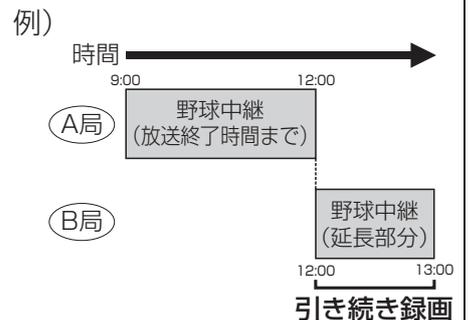
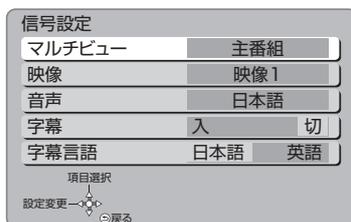
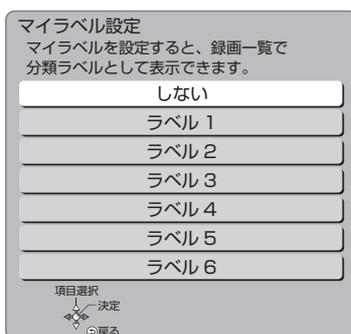
38 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 下記へ）

●「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

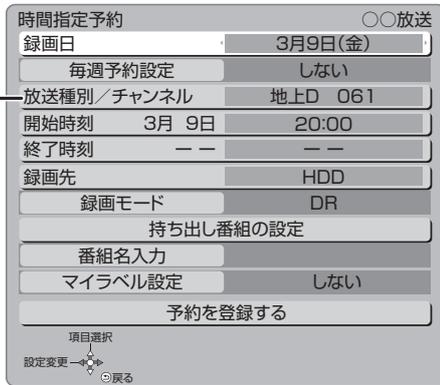
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜56）を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 決定 設定変更 戻る **「毎週予約」（➜53）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

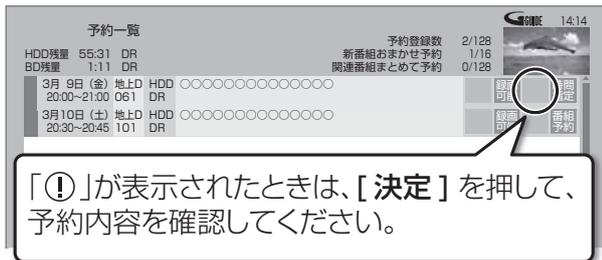
持ち出し番組の設定 HDD	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。（➜116） 持ち出し番組の設定 ・モバイル機器へ持ち出すための番組を作成します。録画する番組によっては、録画終了後の電源「切」中に作成するため、時間がかかります。 持ち出し番組の作成 する しない 持ち出し方法 SD ／ USB 経由 持ち出し番組の画質 ワンセグ画質（QVGA） かんたん転送の登録 する しない 項目選択 設定変更 戻る **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」（➜117）で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。（➜116） **持ち出し方法と画質について（➜115）**
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます） 例） **お知らせ** ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が "BD" の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **項目を選び、設定する** ② **[戻る] を押す** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは ➜56) ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 **HDD**	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧 (➜62) で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。(➜76) **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 (➜64「分類ラベル設定」)
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 (➜50「時間指定予約」)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

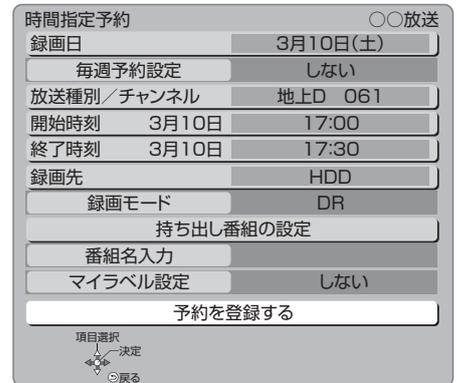
3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、** 決定 **を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜149）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。（➜154「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜53）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 **（➜48「毎週予約設定」）**
放送種別／チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻／終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜56）を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。 **（➜48）**
番組名入力	●文字入力について（➜125） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜49）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

予約状況がマークで表示されます。
●「!」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
●表示マークについては ➜221「表示マーク一覧」

●実行されなかった予約は、翌々日の午前４時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 を押す
❷「はい」を選び、決定 を押す

予約内容の修正

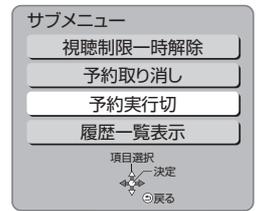
❶ 決定 を押す
❷「修正」を選び、決定 を押す
（「番組予約」のときは ➜48「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは ➜50「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 を押す
❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す

●予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(➜54)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S を押す

例）
❷「予約実行切」を選び、決定 を押す

●予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
●[サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由（スカパー！HD や CATV）で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号（➜149）を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
❸ 1 〜 10（ふた内部）で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す

●履歴を選択して削除することができます。

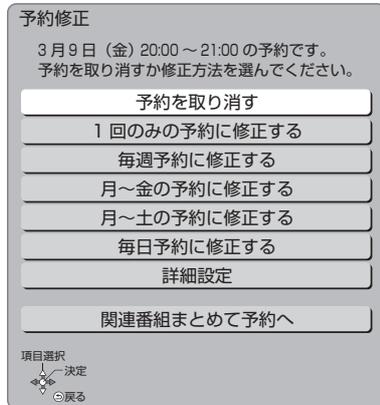
履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸「はい」を選び、決定 を押す

●予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約 録画 を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す

「詳細設定」を選んだ場合

「番組予約」のときは（➜48「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（➜50「時間指定予約」）

「関連番組まとめて予約へ」を選んだ場合
（➜46）

お知らせ

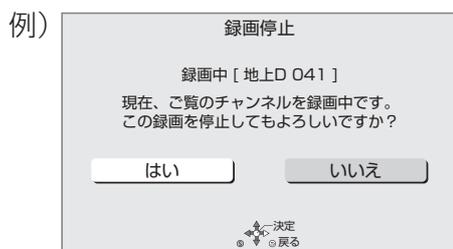
● 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。（➜51）

録画中の予約録画を止める

1 ■停止 を押す

● 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、決定 を押す

例）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。**(➜51)**

■ まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。**(➜65)**
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■ 前回の番組を消去して録画するには（自動更新） HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
- 録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクの残量不足などに対応（代替録画）

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に “HDD” に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

- ディスクの残量不足
- ディスクの入れ忘れ

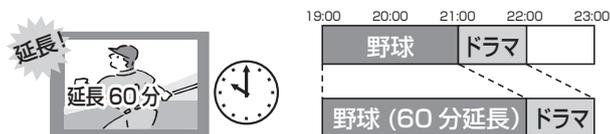
お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には 3 倍録モードで録画します。

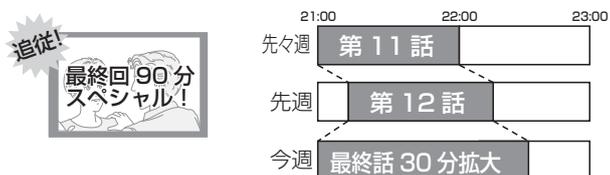
番組追従機能

- 番組表から予約した番組にのみ働きます

■ 野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

- 「イベントリレー」**(➜48)** を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

- 次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。**(➜50)**

お知らせ

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

予約録画する（続き）

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

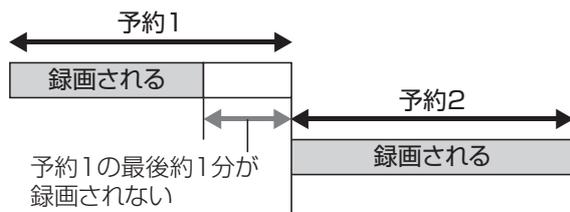
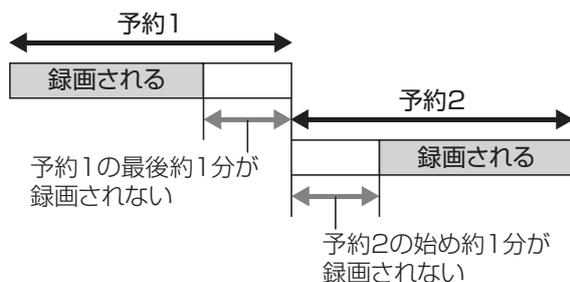
以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

- ●録画中：
  複数の番組を録画できない状態のとき
- ●ディスク再生中：
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中：
  - ·XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき
  - ·ディスクへのDRモード以外の予約録画の開始時刻になったとき

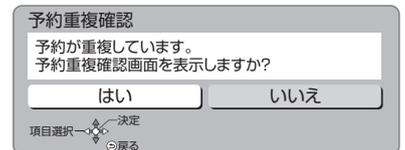
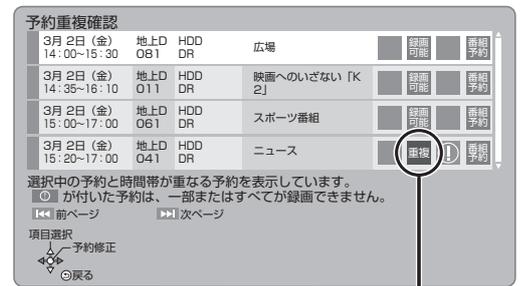
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

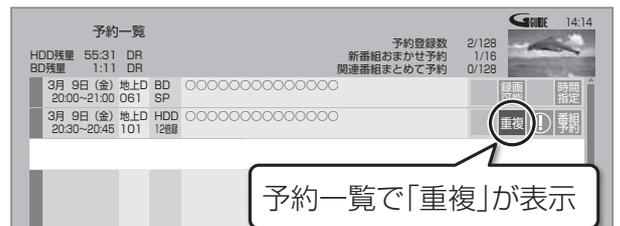
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

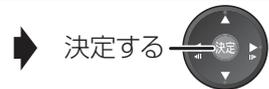
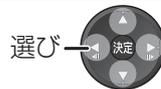
予約番組が重なっているとき
（38 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

- ●LAN 経由（スカパー! HD や CATV）の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号：マルチ音声

主+副：二重音声

番組を視聴中のときは、[音声切換]を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の２か国語放送を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送などの録画	信号 マルチ音声 主+副 二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	両方の音声を記録
		RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)	●マルチ音声：片方の音声のみ記録 予約時に「信号設定」(➜49) の「音声」で選択する ●二重音声：両方の音声を記録
外部入力、DV 入力からの録画※ 外部入力(L1)取込※	二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	以下の設定に従って記録 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜156) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする
		RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [DV 入力、外部入力（L1）取込時のみ]	両方の音声を記録
		-R(V) -RW(V) [DV 入力、外部入力（L1）取込時のみ]	以下の設定に従って記録 ●DV 入力から録画時 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜156) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする ●外部入力（L1）取込時 「DVD-Video 記録の設定」(➜156) の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする
i.LINK(TS) 入力からの録画	マルチ音声 二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	●録画モード「DR」：両方の音声を記録 ●録画モード「1.5 ～ 15 倍録」：以下の設定に従って記録 ・マルチ音声の場合は、現在視聴中の音声を記録 ・二重音声の場合は、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜156) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

※ 外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください。

録画モードについて

録画モード	DR	1.5～15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質　長時間	高画質　長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上·BS·CS デジタル放送 i.LINK（TS）	地上·BS·CS デジタル放送 i.LINK（TS）、 外部入力、DV 入力	地上·BS·CS デジタル放送 外部入力、DV 入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	RAM(VR) -R(VR) -R(V)※2 -RW※2	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 （ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声➜55）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録※3※4	音声は 1 つだけ記録※3	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※3		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）		字幕の入 / 切情報は記録しない （再生時､字幕表示の入 / 切はできない）※3	

※ 1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※ 2　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー一制限のある番組は記録できません。

※ 3　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- 録画時　　：「信号切換」（➜34）で選ぶ
- 予約録画時：「信号設定」（➜49）で選ぶ
- ダビング時：「信号切換」（➜71）で選んだあと、ダビングを行う（➜89）

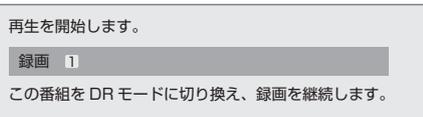
※ 4　15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画について

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、DLNA クライアントなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

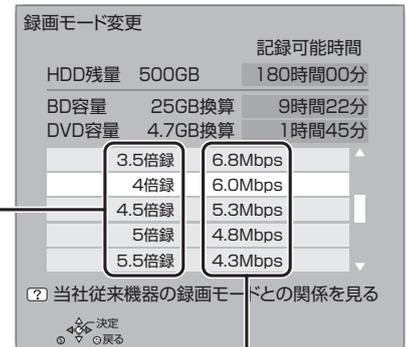
例） BD-V 再生時

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

変換が終了しているか確認するには（➜77）

また、複数の番組を録画中には、以下の制限があります。

- HDD とディスクに 1 番組ずつ録画中、HDD の残量不足の場合、再生やダビング、番組キープはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。
- ドアホン・センサーカメラ映像の再生はできません。

録画モードと記録時間の倍率について

例）

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

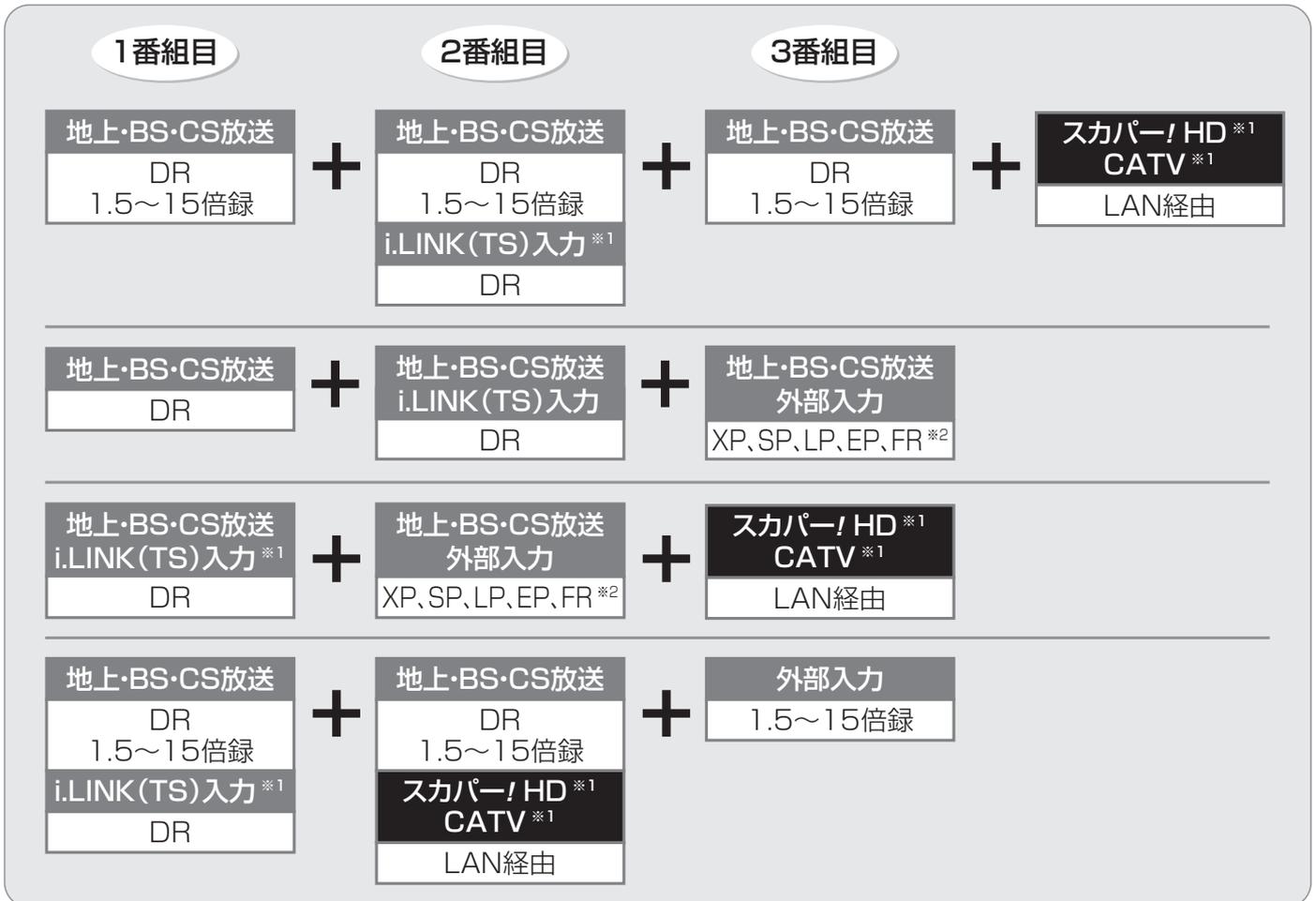
録画モードと記録時間の目安（➜226）

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

●1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。

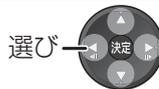
●以下の組み合わせは「ディスクへの録画機能」（➜155）が「無効」時のものです。
「有効」に設定されていると、予約録画できません。

1番組目		2番組目		3番組目		
地上･BS･CS放送 DR 1.5～15倍録	＋	地上･BS･CS放送 DR 1.5～15倍録 i.LINK(TS)入力※1 DR	＋	地上･BS･CS放送 DR 1.5～15倍録	＋	スカパー! HD※1 CATV※1 LAN経由
地上･BS･CS放送 DR	＋	地上･BS･CS放送 i.LINK(TS)入力 DR	＋	地上･BS･CS放送 外部入力 XP､SP､LP､EP､FR※2		
地上･BS･CS放送 i.LINK(TS)入力※1 DR	＋	地上･BS･CS放送 外部入力 XP､SP､LP､EP､FR※2	＋	スカパー! HD※1 CATV※1 LAN経由		
地上･BS･CS放送 DR 1.5～15倍録 i.LINK(TS)入力※1 DR	＋	地上･BS･CS放送 DR 1.5～15倍録 スカパー! HD※1 CATV※1 LAN経由	＋	外部入力 1.5～15倍録		

※ 1　i.LINK（TS）入力、LAN 経由（スカパー ! HD や CATV）の番組は、HDD にのみ録画できます。

※ 2　XP、SP、LP、EP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。

お知らせ

●以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
・DV 入力から録画する場合
・「外部入力（L1）取込」中
・ディスクから HDD へダビング中
・HDD から HDD へダビング（複製）中
・LAN 経由（スカパー ! HD や CATV）の 2 番組の場合
・ディスクに 1.5 ～ 15 倍録モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー ! HD の 1 番組の同時録画
・HDMI CEC を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
・ディスクへ 1.5 ～ 15 倍録で録画中は、外部入力から録画することはできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク
市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD の場合は 10 または 1 を、ブルーレイディスクの場合は 1 を表示します。
10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。
DVDの場合は ✕ を表示し、ダビングや移動はできません。

1 の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

ダビング元　　ダビング先

- プロテクト設定（➜74）されている 1 の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（➜156）に従って記録します。-R(V) -RW(V) へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（➜156）に従って記録します。
480i の映像を 1.5 ～ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
  - ･外部入力、DV 入力から録画
  - ･ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

8 時間以上の番組を録画する場合

外部入力 (L1) 録画で 8 時間以上録画した番組は、以下の制限があります。

- 持ち出し番組の作成、番組結合、録画モードの変換はできません。
- BD-RE BD-R から HDD へはダビングできません。

録画

再生する

録画した番組を再生する

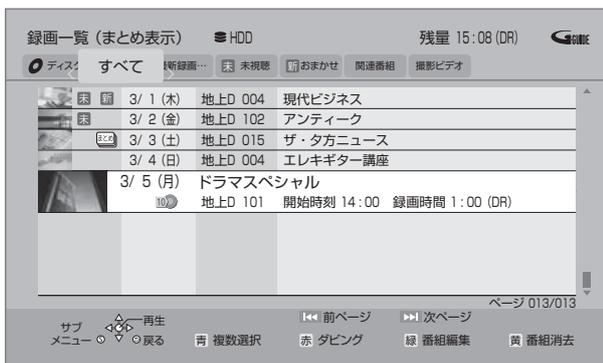
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例） RAM

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

- 毎日・毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
  まとめ番組を選んで、[決定] を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 ：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中 ：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 ：[録画一覧]を押す

- 停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
  DVD-V ：2桁入力 BD-V ：3 桁入力

スクリーンセイバーを非表示にするには

「スクリーンセイバー」(➜155) を「切」に設定すると、停止時などに表示されるスクリーンセイバー（右記）を黒い画面に切り換えます。

お知らせ

- 表示マークについては ➜221「表示マーク一覧」
- 録画一覧表示中に [赤] を押すと、かんたんダビング (➜82) を行うことができます。

お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD
MP4 （SD カードのみ）

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
・AVCHD 3D

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例） SD

ディスクを入れた場合：
下記の手順 5 に進みます。
SD カードを入れた場合：
下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 5 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す
●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。

6 タイトルを選び、決定 を押す
☞ メニューが表示されないときは
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ
● MP4 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す

5 プレイリストを選び、決定 を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

例）

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「DLNA クライアント」(➜129)で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(➜162)を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大10台まで、番組数は最大40000番組までです。
ディスク		ディスク内の番組(ディスクが入っている場合のみ表示) ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	新番組おまかせ録画(➜45)で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。
	関連番組	関連番組まとめて予約(➜46)で録画された番組
	ダウンロード	ダウンロードした番組(➜123)
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」(➜49、76)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜64「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画(AVCHD、MP4)(➜97)

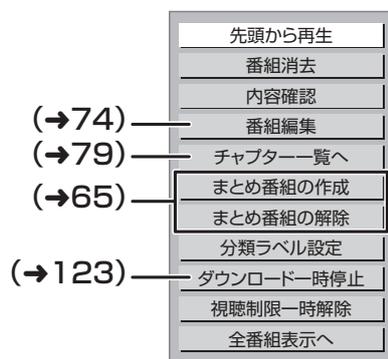
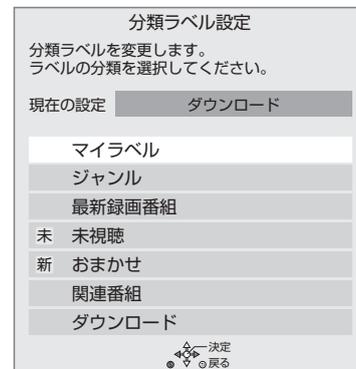
録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜62）を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 **HDD**	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く） **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 **HDD**	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 （画面例）分類ラベル設定 / 分類ラベルを変更します。ラベルの分類を選択してください。 / 現在の設定　ダウンロード / マイラベル / ジャンル / 最新録画番組 / 未 未視聴 / 新 おまかせ / 関連番組 / ダウンロード / 決定 / 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **（➜125）**
視聴制限一時解除 **HDD**	「HDD 番組の視聴制限」**（➜157）**で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** **HDD**	表示を切り換えます。
一覧を更新 **更新を中止** ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

まとめ番組について

毎日・毎週予約や、関連番組まとめて予約をした番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ番組の再生 HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す

❷ 再生する番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
- まとめ 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ番組の番組名について HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

☞「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➔74)

- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ番組の編集 HDD

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す（➔ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生時の便利な機能

■自動電源 ON

「自動電源 ON」(➔155)を「入」に設定しておくと、電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

■自動再生

「自動再生」(➔155)を「入」に設定すると、電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブを自動的に続きから再生します。

- ディスクによっては最初から再生される場合があります。
- 電源「切」前に選択していたドライブにメディアが挿入されていない場合、HDD 内の最後に再生した番組を再生します。

■番組をリピート再生

「タイトルリピート」(➔155)を「入」に設定し再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

■録画一覧再生位置

番組一覧を開いたときに、最初に選択される番組を「録画一覧再生位置」(➔155)で設定することができます。

- 「通常」：前回再生した番組を選択
- 「先頭」：一番最初の番組を選択
- 「最新」：一番最新の番組を選択

■操作表示を非表示にする

「画面表示動作 [オート]」(➔159)を「切」に設定すると、「読み込み中です。」などの本機の状態や操作の表示を非表示にできます。

再生する（続き）

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- **HDD**：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - ·記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ·**BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[Ⅱ一時停止] を押す

- もう一度押す、または[▶ **再生**]を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

- [▶ **再生**]で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[⏮スキップ] または [⏭スキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（➜78）がある場合は、その場面に飛びます。
- **HDD** まとめ再生中（➜65）は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **MP4** できません。

30 秒先へ飛び越す /10 秒前へ戻す

[30秒送り] または [10秒戻し] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度[▶ **1.3倍速/再生**]を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、**-RW**（ファイナライズ後も含む）、**MP4** ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- [▶ **再生**]で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、送り方向のみ働きます。
- **MP4** できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、コマ戻しはできません。
- **MP4** できません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法（➜33）

音声の切り換え

音声切換（ふた内部）**を押す**

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

● MP4 できません。

時間を指定して飛び越す（タイムワープ）

❶ タイムワープ（ふた内部）を押す

❷ 飛び越し時間の表示中に、
[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、 を押す

飛び越し時間表示
約5秒間表示

●[▲][▼] を押すごとに 1 分ずつ（押したままで 10 分ずつ）送り [▲]、戻し [▼] します。

● BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

旧作モード

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

❶ サブメニュー S を押す

❷「旧作モード」を選び、決定 を押す

❸ [◀][▶] で「入」を選び、決定 を押す

● BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

●サイドバイサイドの 3D 映像はできません。

●「入」にすると、画質選択（➜72）を「アニメ」にした場合、「原画解像度」は「標準」になります。

●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。

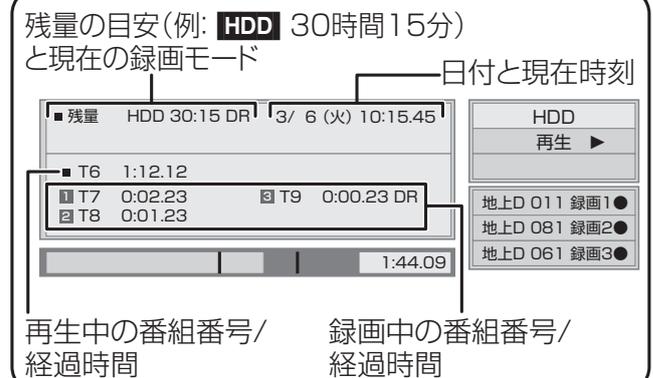
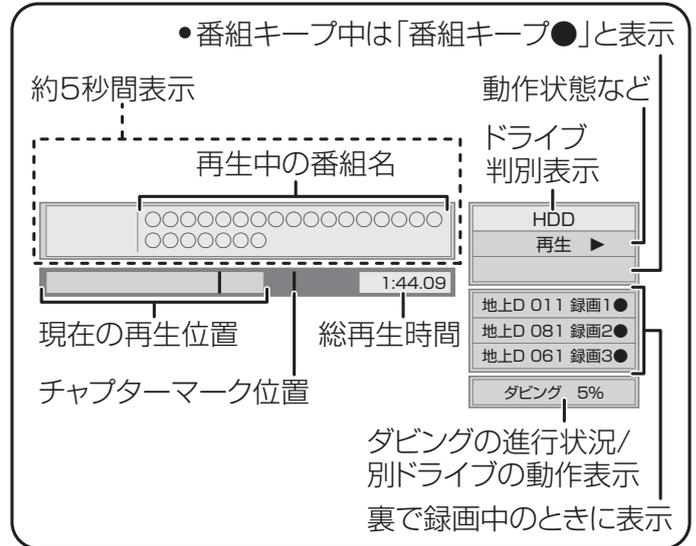
●再生を停止すると「切」に戻ります。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 **を押す**

●押すごとに切り換わります。

例） HDD

画面表示なし

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。（DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります）

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

●本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する（➜179）
・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。（➜159）
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。（➜159）
BD-Video の 2D→3D 変換モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。（➜156）
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。（➜72）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

● BD-V ：「3D ディスクの再生方法」（➜156）
●録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」（➜159）

3D 映像を再生するための便利な機能

❶ **再生または視聴中に サブメニュー(S) を押す**

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

❷ **「3D/2D 出力」を選び、(決定) を押す**

❸ **項目を選び、(決定) を押す**

出力方式	**オリジナル**	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」(➜159) とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
	2D → 3D 変換	再生中の 2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。（録画した番組、BD-V、DVD-V の再生時に有効）
3D 画面モード（3D 奥行きコントローラー） ●3D 再生中のみ	**標準**	標準的な 3D 効果で映像を再生します。
	弱	飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある 3D 映像を楽しめます。 ●「2D→3D変換」時は選択できません。
	手動設定	3D 映像の各種効果を設定します。 **奥行き** 映像の飛び出し量を設定します。 **スクリーンタイプ** 画面の見え方（平面または曲面）を選択します。 **周辺ぼかし幅** 画面の縁のぼかし量を設定します。 **周辺ぼかし色** 画面の縁のぼかしの色を設定します。

お知らせ

●「3D 方式設定」(➜159) が「サイドバイサイド」の場合：
・テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
・「画面表示の飛び出し量」(➜72) は設定できません。
●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
●3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」(➜160) の設定どおりに出力されない場合があります。
●3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
●以下の場合、「3D/2D 出力」の設定が「出力方式」は「オリジナル」、「3D 画面モード」は「標準」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入
●BD-V の 3D 再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。
●「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することがあります。
●サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を本機で記録する場合、DR、1.5 ～ 15 倍録モードでの記録をお勧めします。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

**お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。**

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする（➜189、198）**
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜156）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

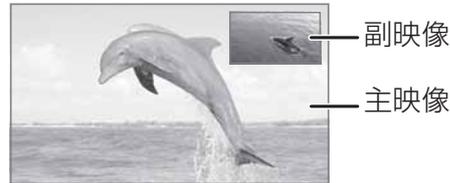
●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜144、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

お知らせ

●インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

●副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜158）**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

●「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**（➜71）**
●「BD-Videoの 2D → 3D 変換モード」を「モード2」に設定してください。**（➜156）**
●「画質選択」を「アニメ」にしている場合は、「原画解像度」を「標準」に設定してください。**（➜72）**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定（ふた内部）**を押す**

2 メニューを選び、[▶] を押す

例）BD-V

3 設定項目を選び、[▶] を押す

●ディスクにより設定項目は異なります。

4 設定を変更する

お知らせ

●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD
情報の表示のみ

音声情報
音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換
DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
[決定] を押して、さらに設定します。

▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕（入 / 切）
▶ 字幕言語（日本語 / 英語）

BD-V

▶ 主映像
・映像情報 / 音声情報
▶ 副映像
・映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）

アングル
アングルを選びます。

字幕情報
字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル
音声（L/R）を切り換えます。

字幕位置 BD-V DVD-V
字幕の表示位置を変更します。

字幕スタイル
ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生

リピート
（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- ▶ **番組**　：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**　：BD-V DVD-V AVCHD
タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**　：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**　：ディスク全体またはアルバムの全曲
- ▶ **1 曲**　：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）
●「入」にすると、順不同に再生します。

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ**　：アニメ鑑賞向け
「原画解像度」をさらに選びます。
[BD-V またはハイビジョン放送（1080i）を DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録 モードで記録した番組のみ]
低解像度（720i/p、480i/p）の原画をハイビジョン（1080i）に変換したアニメ番組の場合、「標準」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。
・**標準：**1080i の場合
・720i/p
・480i/p
●設定によっては、再生する画質が劣化します。
●再生を停止した場合、「標準」に戻ります。
●「標準」以外にすると、字幕は表示されません。
●「旧作モード」**(➜67)** が「入」の場合、「標準」になります。
- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整
[▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
・**コントラスト**（白黒の強弱）
・**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
・**シャープネス**（鮮やかさ）
・**カラー**（色の濃さ）
・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

アドバンスト設定
HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。
超解像アップコンバート
HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、DVD 画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

プログレッシブ

480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p

[「24p 出力」(➔160)が「入」の場合のみ]

「入」にすると、DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●以下の場合、設定は「切」に戻ります。

・DVD-V　　　：ディスクを取り出した場合

・録画した番組：再生を停止した場合

音声

音質効果

リ.マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

（サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ）

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **リ.マスター強**

▶ **リ.マスター標準**

▶ **ナイトサラウンド**

▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➔158)

番組を編集する

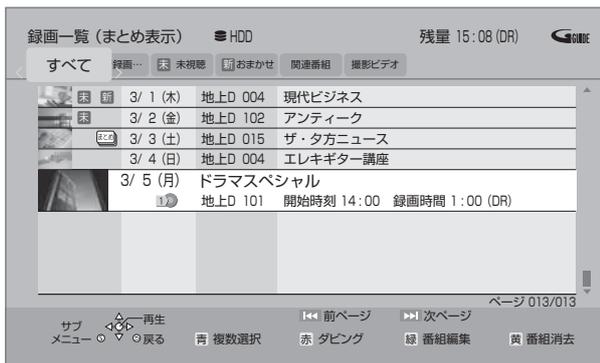
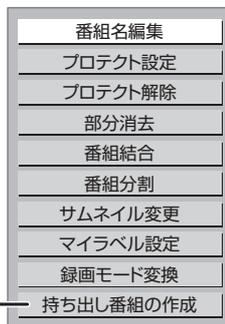
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1 [録画一覧] を押す

2 番組を選び、[緑] を押す

例）HDD

3 項目を選び、[決定] を押す（➜右記へ）

例）HDD

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜116）の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

番組名編集

文字入力（➜125）

お知らせ

- 新 表示の番組は変更できません。
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

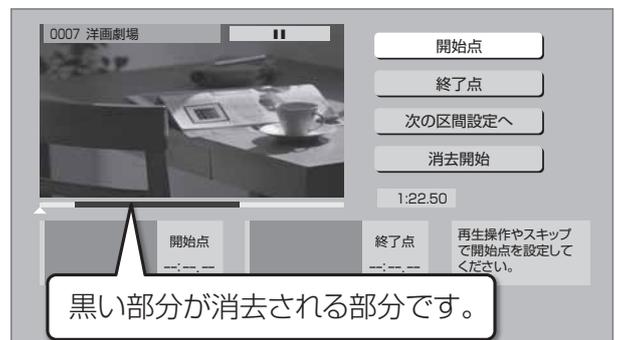
記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

- -R(V) -RW(V) できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

- -R(V) -RW(V) できません。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**

③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**

- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す（➜手順 ② へ）
  - ･20区間まで設定できます。
  - ･すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**

⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

番組結合

HDD

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

●1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① **結合したい番組を選び、[決定] を押す**

② **「結合」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

●結合した番組は以下のようになります。
- 録画モード：
  画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
- ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
- 番組名：最初に選択した番組名
- チャプターマーク：
  結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）
- 番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。
- 持ち出し番組は消去されます。

●以下の番組は結合できません。
- ダウンロードした番組
- 録画時間の合計が 8 時間を超える場合
- デジタル放送の番組とそれ以外の番組
- 本機で録画した番組と i.LINK（TS）入力から記録した番組
- LAN 経由（スカパー！HD や CATV）で録画した番組
  - 録画モード変換(➜77)を行うと、結合できるようになります。
    視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
- 撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

● **-R(V)** **-RW(V)** できません。

① **「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す**
- ●「プレビュー」を選び、**[決定]** を押すと、分割する場面を確認することができます。

  場面を選び直すには
  ① 「分割」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める
  ② 分割する場面で、**[決定]** を押す

② **「終了」を選び、[決定] を押す**

③ **「分割」を選び、[決定] を押す**

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、持ち出し番組は消去されます。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

● **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

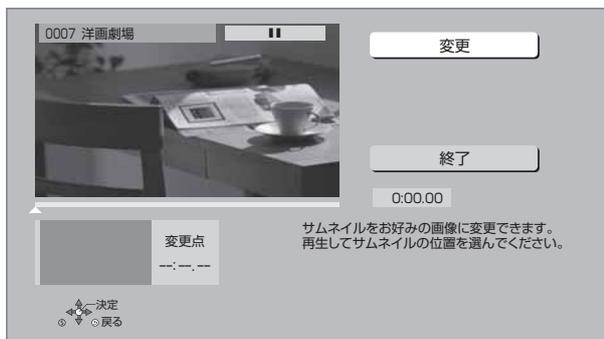
※ **編集したい場面をうまく選ぶために**
① 早送りやスロー再生など（**➜66**）を使って、目的の部分を探す
② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

番組を編集する（続き）

サムネイル変更

HDD **-R(V)** **-RW(V)**

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

●**-R(V)** **-RW(V)** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す**

場面を選び直すには

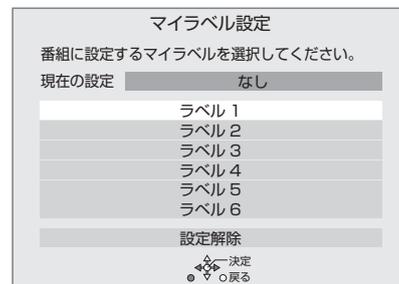
① 「変更」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める

② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③ **「終了」を選び、[決定] を押す**

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① **ラベルを選び、[決定] を押す**

② **「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す**

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。

●マイラベル名は変更することができます。**(➜64「分類ラベル設定」)**

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など **(➜66)** を使って、目的の部分を探す

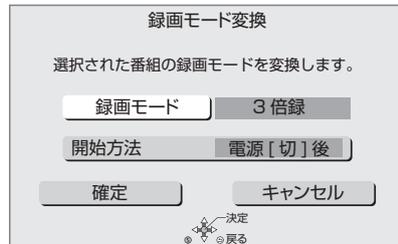
② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

録画モード変換

HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。

① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**：
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**：
  電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤ 「すぐに」開始する場合：

「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

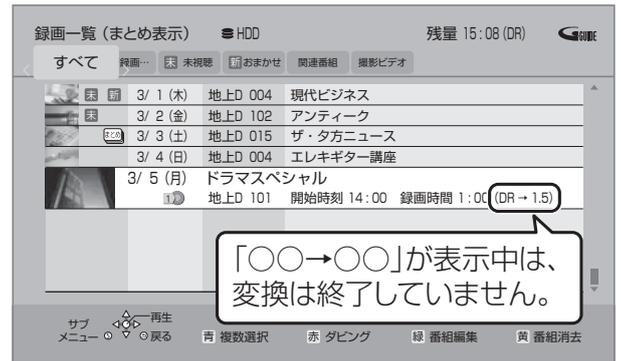
「電源 [切] 後」開始する場合：

[決定] を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **74 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 15 倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(➜156) で記録したい音声を選んでください。

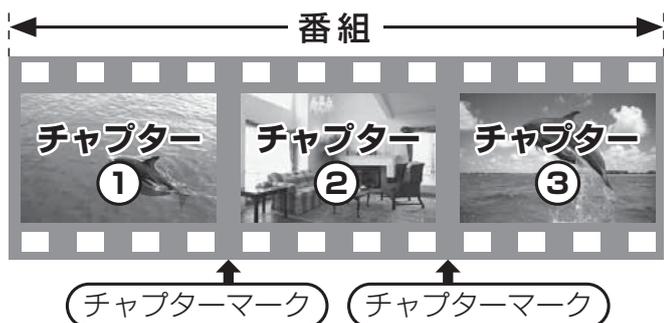
チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➔66）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➔157）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
  録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。
- 「自動チャプター作成」（➔155）を「入」に設定すると、外部入力（L1）から録画時に自動的にチャプターマークを作成します。
  チャプターを作成する間隔は、「チャプター間隔」で設定できます。

お知らせ

- **HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➔66）や「サムネイル変更」（➔76）ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

チャプターマーク を押す

削除

一時停止中に

❶ **スキップ（⏮）または スキップ（⏭）を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ **チャプターマーク を押す**

❸ **「はい」を選び、決定 を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**

② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**

③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**

④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー S を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す**

4 編集する：

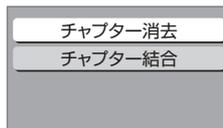
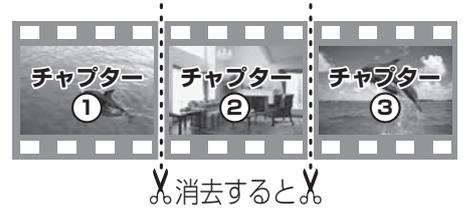
チャプターを選び、サブメニュー S を押す

(➜ 手順 5 へ)

再生する：

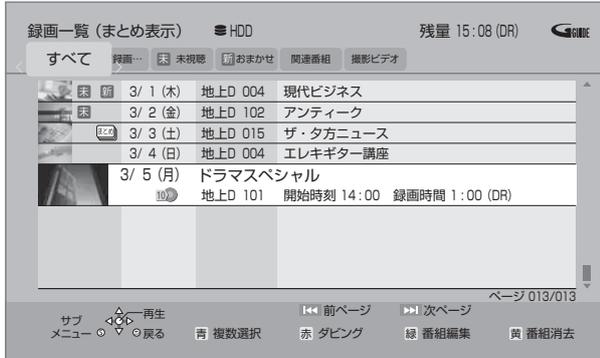
チャプターを選び、決定 を押す

5 **編集する項目を選び、決定 を押す**

(➜ 右記へ)

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません) 消去すると 番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、** 黄 **を押す**

- まとめ 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。

3 **「消去」を選び、** 決定 **を押す**

お知らせ

- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く）
- **消去後のディスク残量について**
  - ・HDD BD-RE RAM -RW(VR)
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・-RW(V)
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - ・BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

から
へ

- 難しい設定はせずに番組をダビングしたい
  …**かんたんダビング（➜82）**
- お好みの設定でダビングしたい
- FR モードで DVD の残量ぴったりにダビングしたい
  …**詳細ダビング（➜84）**
- DVD 画質で音声、字幕を選択してダビングしたい
  …**再生中番組の保存（➜88）**

から
へ

詳細ダビング（➜84）

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて（➜89）

ディスクから HDD へのダビングについて

デジタル放送の番組をダビングする場合
- DVD からはダビングできません。
- BD からは移動のみできます。（ムーブバック）
  （ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません）
- ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

番組をダビングする

かんたんダビング

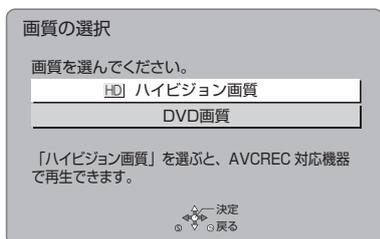
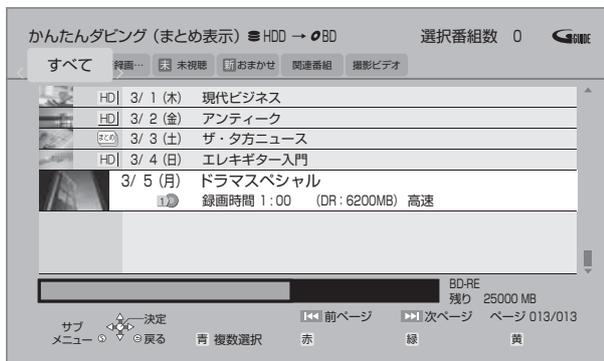
ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

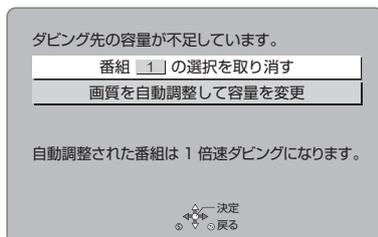
HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

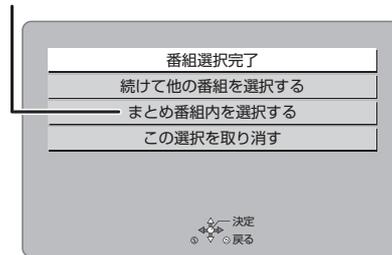
2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、［決定］を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

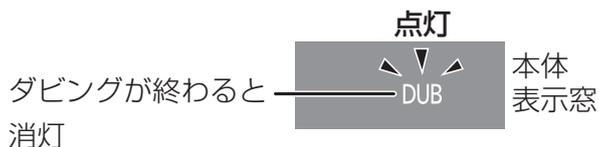
例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- オプション設定について（➜83）

6 「はい」を選び、決定 を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

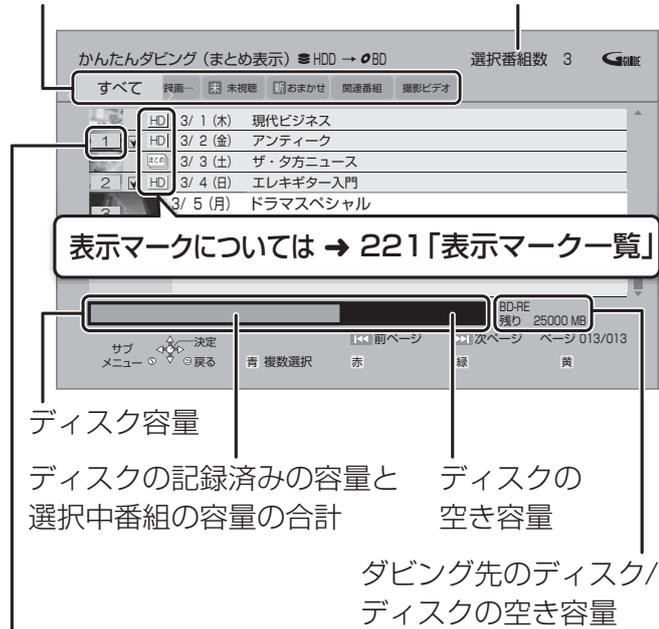
ダビングを実行中に中止するには

［戻る］を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（➜89）

お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - 10 ～ 1 の番組が含まれている場合 ：VR 方式
  - 10 ～ 1 の番組が含まれていない場合 ：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定（➜74）されている 1 の番組はダビングできません。

かんたんダビングの画面の見方

ダビングする画質について

HD表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

  RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW

HD表示のない番組：

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) にはハイビジョン画質でダビングします。（ただし画質は向上しません）

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜82 手順 3）で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（-R -RW のみ）
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」（➜157）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

ダビング

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜143)

1 スタート を押す

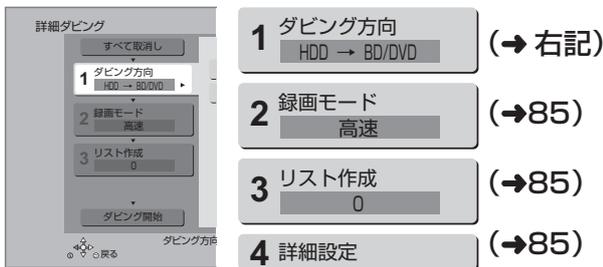
2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

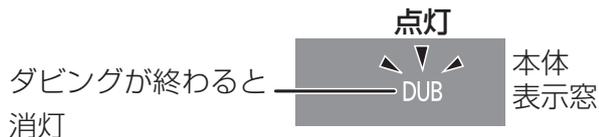
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す（➜ 右記へ）

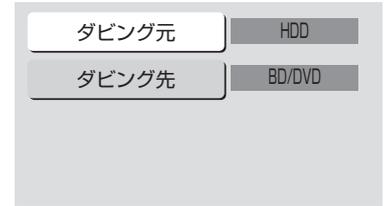
●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

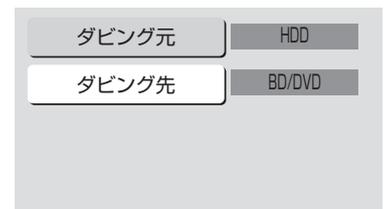
(➜ 右記)
(➜85)
(➜85)
(➜85)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。
●中止時の動作 (➜89)

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

❺ [◀] を押す（➜ 左記手順 5 へ）

お知らせ

● HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は 1 回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は 1 回になります）
・1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

録画モード	高速

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

元の画質	高速
ハイビジョン画質	3 倍録
	5 倍録
	15 倍録
	オート（自動調整）
DVD画質	XP
	SP
	LP
	EP
	FR（自動調整）

記録先の空き容量に合わせて、1.5～15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。

- ハイビジョン画質を選択時に [サブ メニュー] を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。（➜ 57）

❸ [◀] を押す（➜84 手順 5 へ）

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安（➜226）
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜84 手順 5 へ）

お知らせ

- 高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  - ･管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜84 手順 5 へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ 1.5 ～ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」（➜71）で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜84 手順 5 へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（➜146）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

詳細ダビング（続き）

ダビングの便利な機能

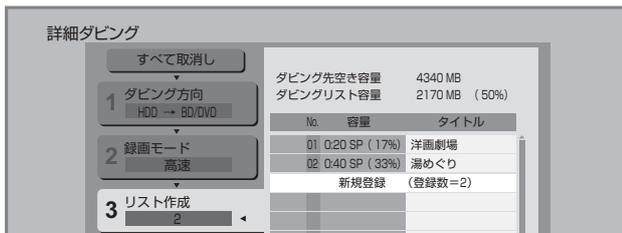
リスト作成画面（➜85「リスト作成」手順❷）で

❶ 番組を選び、［サブメニュー S］を押す

❷ 項目を選び、［決定］を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD	「HDD 番組の視聴制限」（➜157）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD	表示を切り換えます。

※　番組に☑が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜85「リスト作成」手順❶）で

- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
  ・リスト全消去
  ・追加
  ・消去
  ・移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➡ HDD

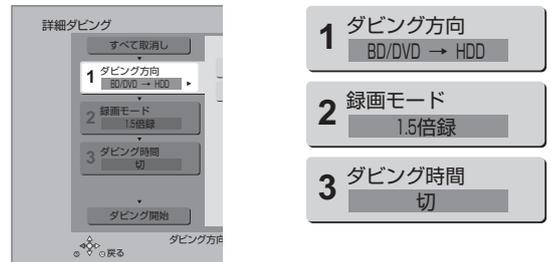
1 ［スタート］を押す

2 「ダビングする」を選び、［決定］を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 「詳細ダビング」を選び、［決定］を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜84）をご覧ください。

以下のように設定してください。
・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➡「BD/DVD」
・**「録画モード」**：「録画モード」を選ぶ
（1.5 ～ 15 倍録のみ選べます）
・**「ダビング時間」**：ダビング時間を設定する（➜87）

5 「ダビング開始」を選び、［決定］を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、［決定］を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は

番組を選び、[決定] を押す

☞ 好みの番組を再生するには

① [録画一覧] を押す

② 番組を選び、[決定] を押す

☞ ディスクの再生が始まらない場合は

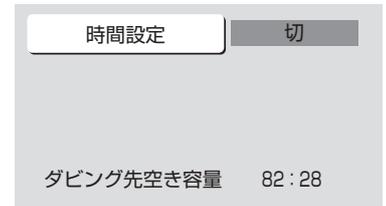
① [▶ 再生] を押す

②（トップメニューが表示されたら）番組を選び、[決定] を押す

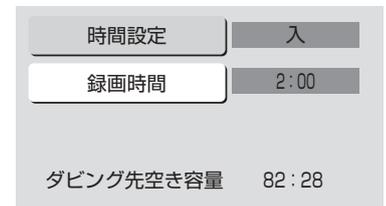
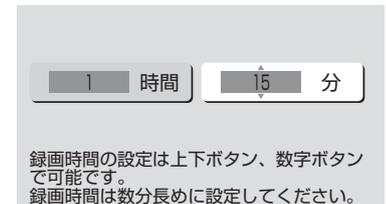
☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには

[戻る] を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶「時間設定」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸「録画時間」を選び、決定 を押す

❹ "時間" または "分" を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す

ダビング

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（➜66）で飛び越すことができます。

番組をダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）
記録する音声や字幕情報を設定できるので、複数の音声や字幕情報を含んだ番組を DVD 画質で DVD にダビングするときに便利です。

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：**HDD** ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜143）

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

●**RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** ［音声切換］を押して記録したい音声を選び、「信号切換」（➜71）で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー Ⓢ を押す

●表示されない場合、もう一度［サブ メニュー］を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

ダビングを実行中に中止するには

［戻る］を 3 秒以上押す

●中止時の動作（➜89）

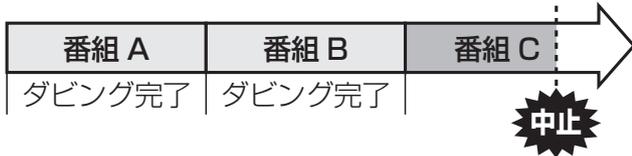
お知らせ

● **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。
①ダビングしたい番組を再生し､以下の設定をする
・［音声切換］を押して記録したい音声を選ぶ
・「信号切換」（➜71）で字幕設定をする
②かんたんダビング(➜82)、詳細ダビング(➜84)
字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。
ただし、コピー制限のない番組を 1 倍速でダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R -R 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングするときの動作

1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去（➜80）してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数（➜228）を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。
- ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
- BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

3D 対応の番組のダビングについて

- 以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」（➜69）を「サイドバイサイド」にして再生してください。
  - ・3D 表示のある番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング
  - ・3D 表示のないサイドバイサイドの番組をダビング
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、1倍速ダビングになり、2D映像として記録されます。
  - ・ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
  - ・BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

複数の音声（マルチ音声）や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  （高速、1.5 ～ 15 倍録 モードでダビング時）
  複数の音声や字幕情報を記録できます。（再生時に切り換え可能）
- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)（HDD からダビング時）
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。（再生時に切り換え不可）
  再生中番組の保存（➜88）でダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定（➜85）で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」（➜71）で設定した内容で記録することができます。（ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります）

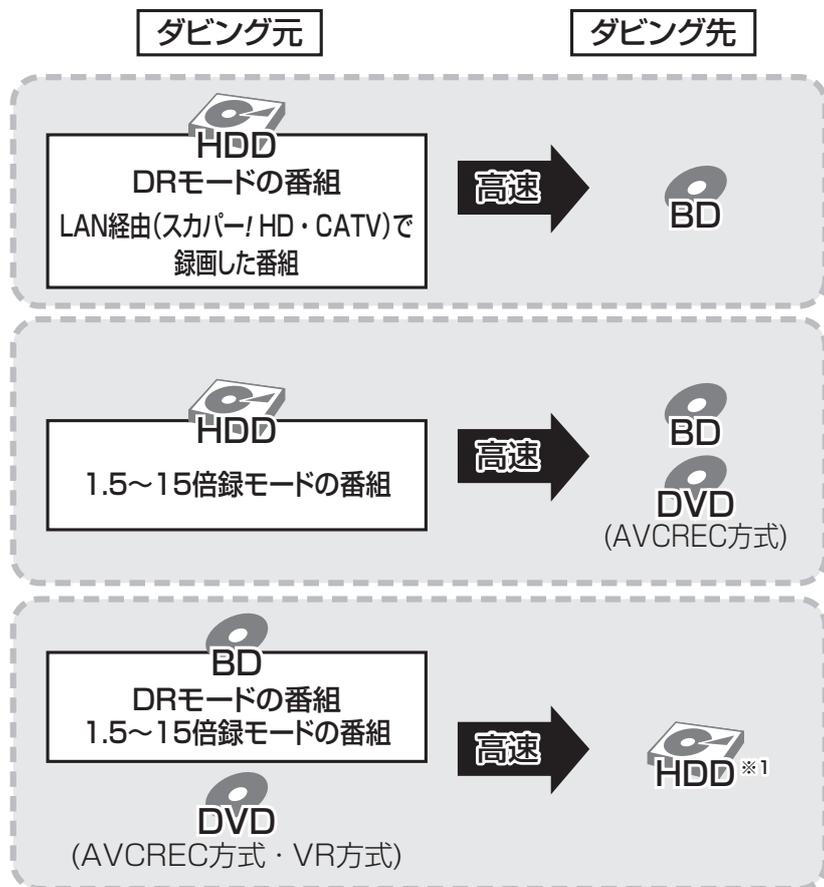
二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  両方の音声を記録
- -R(V) -RW(V) 以下の設定に従って記録：
  「DVD-Video 記録の設定」（➜156）の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング

ダビング時の動作について（続き）

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合

※1　デジタル放送の番組をダビングする場合
- DVD からはダビングできません。
- BDからは移動のみできます。（ムーブバック）
（ディスクの番組は消去されます。
ただし BD-R はディスク残量は増えません）
- ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

- 高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
- ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、EP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速で、それ以外のディスクには 1 倍速でダビングします。

高速でダビングできない場合 （1 倍速ダビングになる場合）

ダビング先

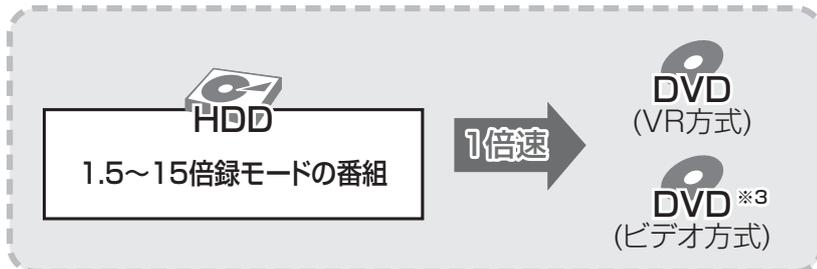
※2

1倍速

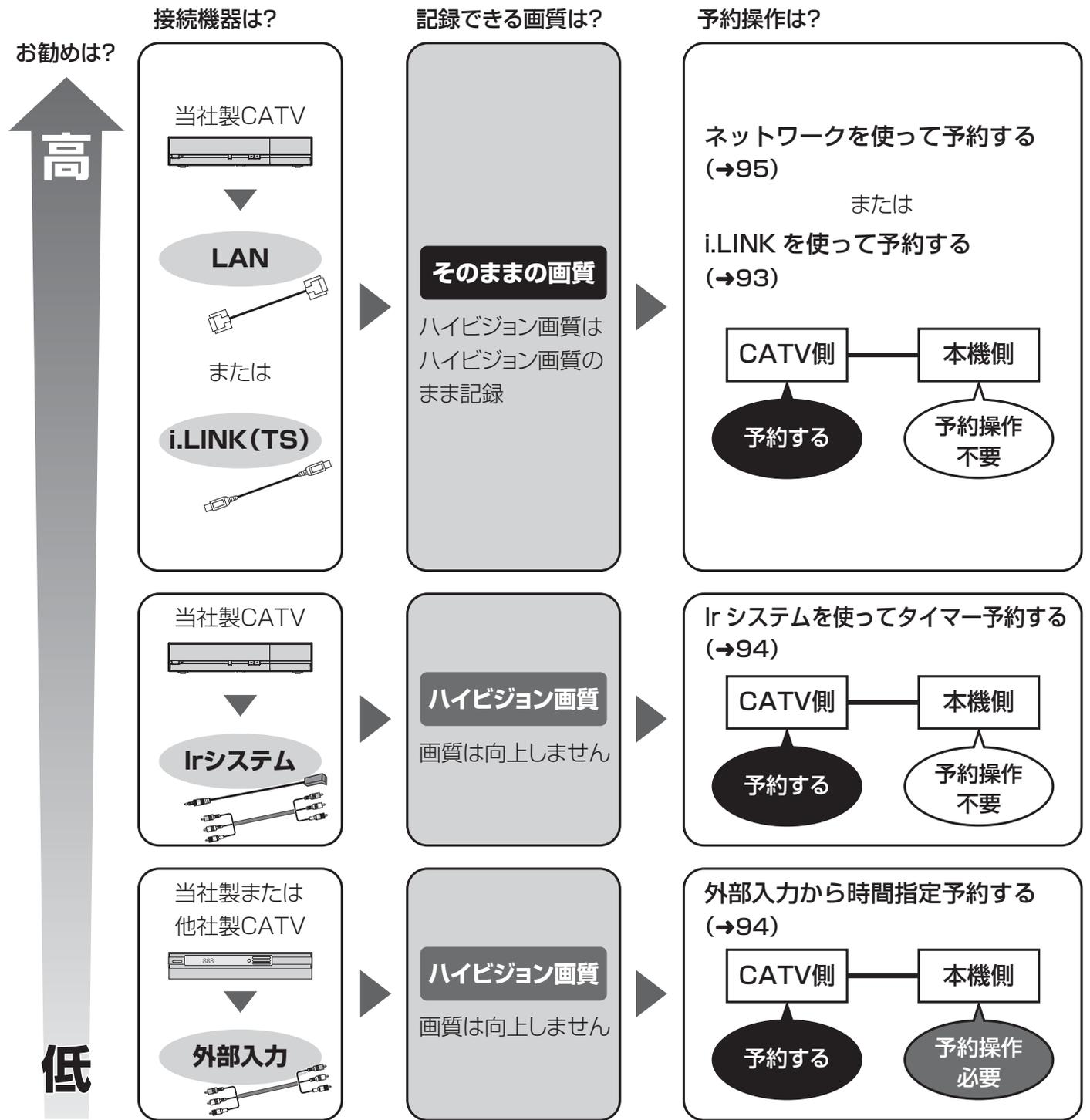
DVD ※3
(ビデオ方式)

BD
XP、SP、LP、EP、
FRモードの番組

DVDビデオ
(ファイナライズ後のディスク)

※ 2　ビデオ方式の DVD には、コピー制限のない番組のみダビングできます。

※ 3　コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみダビングできます。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する

☞ 接続の詳細については（➜183）

i.LINK（TS）端子や Ir システムを使っての録画は、当社製 CATV セットトップボックスでの動作のみ保証しています。他社製品と接続する場合は外部入力を使って録画してください。

上記の接続で、見ている番組を録画するときは（➜93）

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。
- 外部入力（L1）録画時、録画時間が 24 時間を超えると停止します。

見ている番組を録画する

HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

ディスクに録画する場合、「ディスクへの録画機能」(➔155)を「有効」に設定してください。

1 HDD/BD/SD **を押して、録画先を選ぶ**

2 入力切換 **を押して、CATV を接続した端子(「L1」など)を選び、CATV でチャンネルを選ぶ**

3 録画モード Ⓜ **を押して、録画モード(➔56)を選ぶ**

4 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

5 **録画の終了方法を選び、** 決定 **を押す**

●「ディスクへの録画機能」(➔155)を「有効」に設定している場合、録画の終了方法は表示されません。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

i.LINK を使って予約する

HDD

●**初期設定**で以下の設定をする

・「i.LINK 機器モード設定」:「TSモード2」(➔160)

1 **CATV 側の i.LINK 設定で本機を設定する**

2 **CATV 側で予約をする**

●「録画機器」の設定は、「D-VHS」にしてください。

例)CATV 側の予約画面

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

3 **本機の電源を切る**

お知らせ

●外部入力(L1)から録画中、ディスクへの DR モード以外の予約録画が始まると、録画が中断します。

●i.LINK(TS)録画中は以下の制限があります。

・HDD への録画中に録画時間が 8 時間を超えると、8 時間ごとの番組に分割されて記録されます。

・ディスクへの録画中に録画時間が 26 時間を超えると、停止します。

・本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➔58)できない場合は、録画が中断します。

お知らせ

●本機には DR モードで録画されます。

●本機の予約一覧には登録されません。

●i.LINK(TS)入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画(➔58)できない場合は、録画が中断します。

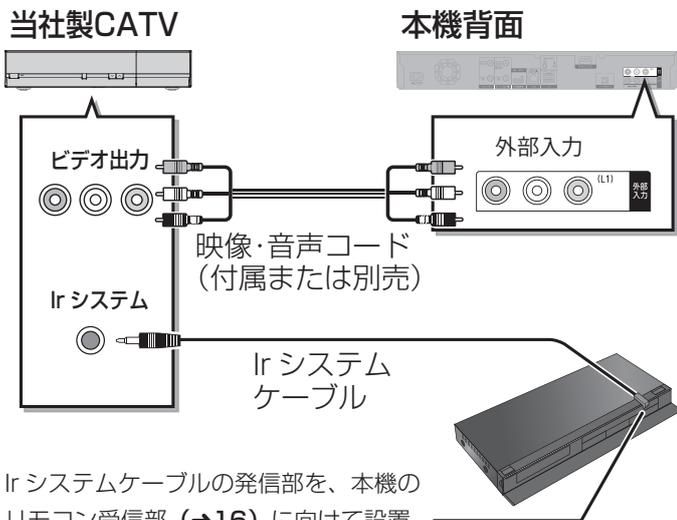
●他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。

●録画中に本機の電源を切らないでください。

●番組の先頭部分が録画されないときがあります。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する（続き）

Ir システムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

Ir システムケーブルの発信部を、本機のリモコン受信部（➜16）に向けて設置

●**初期設定**で以下の設定をする
・「リモコンモード」（➜163）：
CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号と合わせる
・「ディスクへの録画機能」（➜155）を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると予約録画できません。

1 CATV 側の Ir システムを設定する

2 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「Ir(タイマー)」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

詳細設定		
予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	Ir(タイマー)	
録画モード	――	
信号設定		
その他の設定		

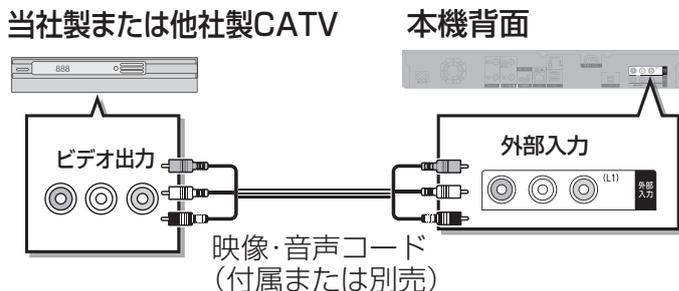
予約方法は機器により異なります。詳しくはCATV 側の取扱説明書をご覧ください。

●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
●本機には、3 倍録モードで録画されます。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。（➜51）

お知らせ

●本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
●お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

・「ディスクへの録画機能」（➜155）を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると予約録画できません。

1 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「――」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

詳細設定		
予約を登録する		
予約方式	見るだけ	録画
録画機器	――	
録画モード	――	
信号設定		
その他の設定		

予約方法は機器により異なります。
詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の「時間指定予約」で予約する（➜50）

●「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。

お知らせ

●**Ir システムを使った連動予約について**
Ir システム連動予約対応機器の場合、Ir システムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。
・入力切換が「外部入力（L1）」
・電源「切」
・ディスクに録画する場合、「ディスクへの録画機能」（➜155）を「有効」に設定してください。
上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、当社製で Ir システムを使って予約をする場合は、タイマー予約（➜ **左記**）での予約をお勧めします。

ネットワークを使って予約する

- ネットワーク接続と設定をする
  (➜190、191、198)
  DLNA サーバー設定 / スカパー! HD 録画設定
  (➜165)

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

HDD

CATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

- 「ディスクへの録画機能」**(➜155)** を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると予約録画できません。
- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくは CATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。**(➜51)**
  - ·「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
  - ·接続している CATV セットトップボックスによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

録画中は、本体前面の“LAN録画”ランプが点灯します。

点灯

本体表示窓

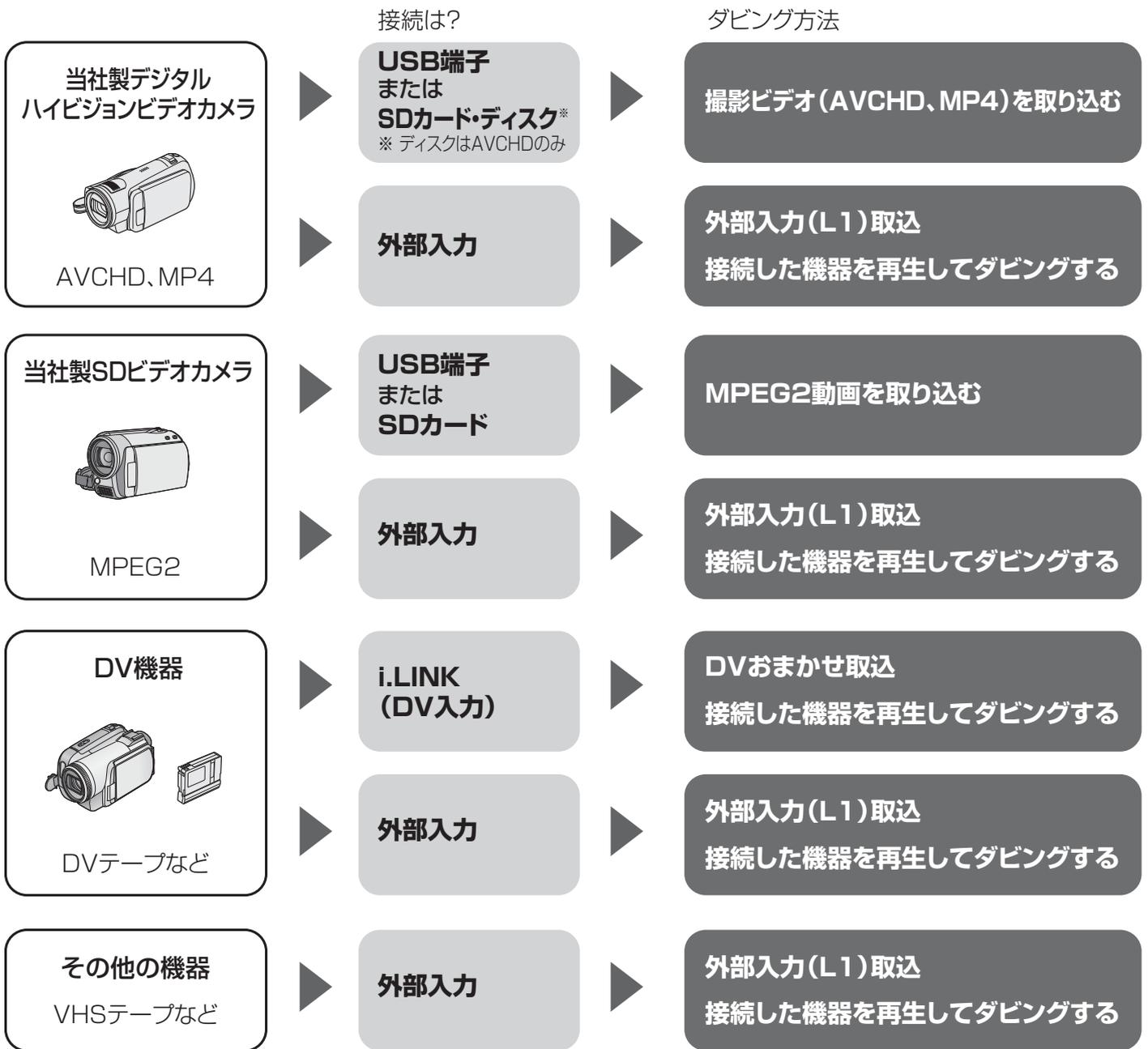
録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- 複数の番組を録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
  - ·本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。**(➜154「時刻合わせ」)**
  - ·予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- CATVの番組を録画中は、市販の BD ビデオや AVCHD のディスクを再生することはできません。
- 予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」**(➜48)**、「番組名入力」**(➜50)**、「マイラベル設定」**(➜49)** の設定ができます。ただし、CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
- 録画中の CATVの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
- CATV の番組は、録画モードが表示されません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面 **(➜62)** やダビング画面 **(➜82、85)** などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

ビデオカメラからダビングする

接続と設定

USB 端子

●接続する（➜173）

SD カード・ディスク

●挿入する（➜19）

外部入力

●ビデオと接続する（➜186）

i.LINK（DV 入力）

●i.LINK ケーブルで接続する（➜183）

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」：記録する音声の種類を選ぶ（➜158）

・「i.LINK 機器モード設定」：「DV モード」（➜160）

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

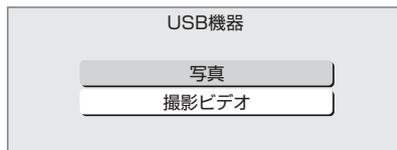
●「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は HDD BD-RE BD-R にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組

●MP4の番組は HDD にのみ取り込むことができます。（取り込みは 1 倍速になります）

●MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➜157）で選ぶことができます。
「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

USB 機器を接続する（➜173）またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）USB

●USB 機器側で本機と接続するための設定をしてください。詳しくは、USB 機器の説明書に従って行ってください。

USB 機器または SD カードの場合：

●かんたん差分取り込み：右記の手順 4 へ

●選んで取り込み：98 ページの手順 4 へ

ディスクの場合：

●98 ページの手順 5 へ

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➜ HDD

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 USB **から取り込む場合：**
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD **から取り込む場合：**
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順 6 へ

5 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

6 「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。

●取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜157）や「全番組消去」（➜157）を行うと、削除されます。

●同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜98）を行ってください。

● MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

●以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。

・ビデオカメラなどで編集

・取り込みを中断

ビデオカメラからダビングする（続き）

選んで取り込み
USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：
- USB SD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ➡ HDD

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順５へ）

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**
USB 手順６へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」または「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選び、決定 を押す**
ディスクから取り込む場合（➜ 手順７へ）

6 **「選んで取り込み」を選び、決定 を押す**
- 複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。
- USB SD 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押してください。

7 **タイトルを選び、青 を押す**
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

8 **すべてを選んだあと、決定 を押す**

9 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

お知らせ
- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

取り込んだ動画の録画一覧での表示

HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD※ ：「AVCHD」
  ※サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。
- AVCHD 3D ：「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 ：「AVCHD PRO」
- MP4 ：「AVC VIDEO」

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜143）

ダビング方向：

USB SD ➡ HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 USB機器を接続するまたはSDカードを入れる

☞ USB 機器を接続するには（➜173）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

USB 手順 4 へ

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、[決定] を押してください。

5 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜84）をご覧ください。
  以下のように設定されているかご確認ください。
  ・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「USB」
  または「SD カード」

6 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

7 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

ビデオカメラからダビングする（続き）

接続した機器を再生してダビングする

外部入力 i.LINK(DV入力)

HDD

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

- ディスクに録画する場合、「ディスクへの録画機能」（➜155）を「有効」に設定してください。

1 HDD/BD/SD **を押して、録画先を選ぶ**

2 入力切換 **を押して、外部機器を接続した端子（L1、DV）を選ぶ**

3 録画モード Ⓜ **を押して、録画モード（➜56）を選ぶ**

- 1.5 ～ 15 倍録モードのみ選べます。

4 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、ワンタッチ予約 録画 を押す**

5 **録画の終了方法を選び、決定 を押す**

- 「ディスクへの録画機能」（➜155）を「有効」に設定している場合、録画の終了方法は表示されません。

☞ 録画を一時停止するには

[❚❚ 一時停止] を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す

お知らせ

- 外部入力（L1）録画時、録画時間が 24 時間を超えると、停止します。

外部入力（L1）取込（ぴったり録画）

外部入力

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) RAM(VR) -R(AVCREC) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

- 外部入力（L1）端子に接続したときのみ

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す**

4 **「ぴったり録画」を選び、決定 を押す**

5 **「ディスクに録画」を選び、決定 を押す**

6 **"時間"または"分"を選び、録画時間を設定する**

- BDは24時間、DVDは8時間を超えて設定することはできません。

7 **接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、決定 を押す**

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  残量に合わせて 1.5 ～ 15 倍録モードのいずれかで録画します。
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)
  FR モードで録画します。

☞ 録画の残り時間を確認するには

[画面表示] を押す

☞ 録画を一時停止するには

[❚❚ 一時停止] を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す

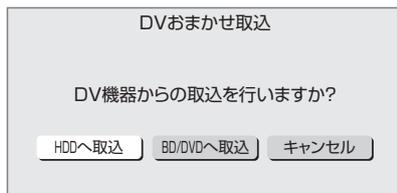
DV おまかせ取込

i.LINK(DV入力)

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **RAM(VR)**
-R(AVCREC) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

●i.LINK（DV 入力 /TS）端子に接続したときのみ

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込
DV機器からの取込を行いますか?
HDDへ取込 / BD/DVDへ取込 / キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

3 録画モード Ⓜ を押して、録画モード（➜56）を選ぶ

録画モードは以下から選びます。

● **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**
1.5 ～ 15 倍録モード

● **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**
XP、SP、LP、EP モード

4 「録画開始」を選び、決定 を押す

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

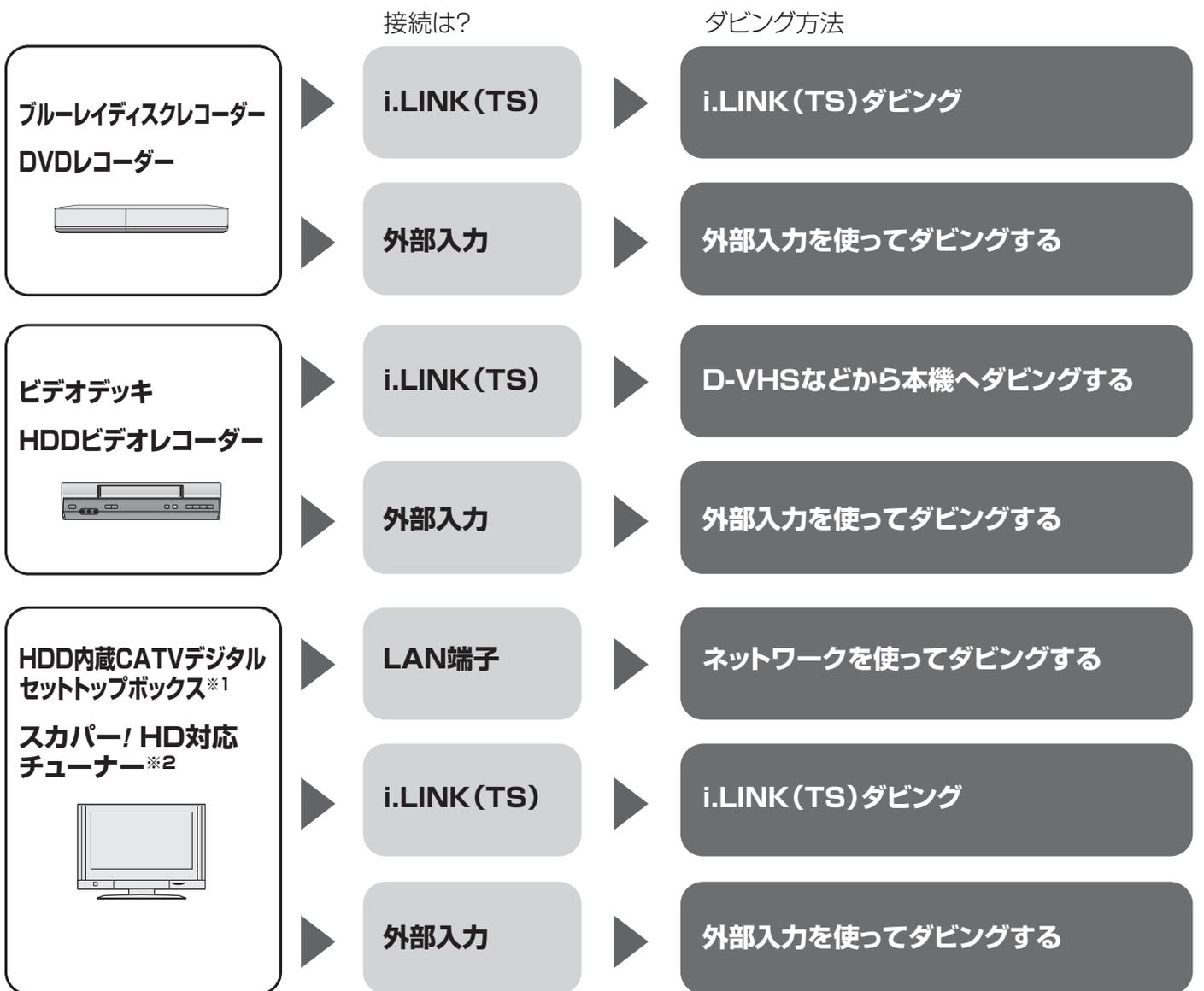
お知らせ

- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- i.LINK（DV 入力 /TS）経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK（DV 入力 /TS）経由で本機に接続できる DV 機器は、1 台のみです。
- DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- 「外部入力（L1）取込」中または DV 入力からダビング中は
  - ・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
  - ・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- **-R** 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
- **-R(V)** **-RW(V)** 「外部入力（L1）取込」または「DV おまかせ取込」後にファイナライズ（➜146）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
- 片面 2 層の **-R(V)** は、外部入力（L1）取込や DV おまかせ取込はできません。

他の機器と

レコーダー・ビデオデッキなどからダビングする

※1 i.LINK（TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

※2 LAN 端子を使ってダビングします。

接続と設定

i.LINK（TS）

●i.LINK ケーブルで接続する（➜183）

●「i.LINK機器モード設定」を設定する（➜160）

・HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスと接続：「TS モード 2」
（当社製 CATV デジタルセットトップボックスの中には、「TS モード 1」に設定する機器もあります。詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください）

・それ以外と接続：「TS モード 1」

●接続機器側の i.LINK（TS）の設定をする

外部入力

●ビデオと接続する（➜186）

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする（➜189、198）
DLNA 機能の設定を変更する場合（➜165）

i.LINK（TS）を使ってダビングする

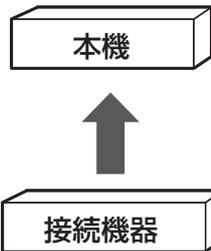
HDD に DR モードで録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

●本機は、i.LINK（TS）に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスとの動作のみ保証しています。(2012 年 5 月現在）

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
●本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
●i.LINK（TS）経由で本機に接続できる i.LINK（TS）機器は、1 台のみです。

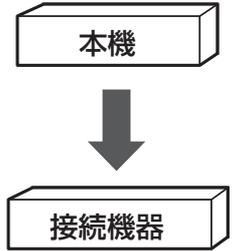
レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器：
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー
HDD内蔵CATVデジタルセット
トップボックスなど

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

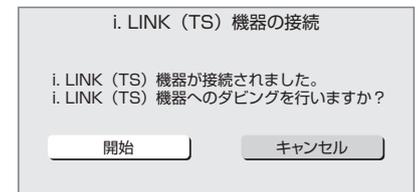
●接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
●DR モードでダビングします。
●本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (➜58) できない場合は、ダビングは中止されます。

本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK（TS）ダビング

● HDD の DR モードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK（TS）機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定 を押す

●ダビング元になる側で操作します。

下記操作で開始することもできます。
① ［スタート］を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、［決定］を押す
③「残す」を選び、［決定］を押す
④「i.LINK（TS）ダビング」を選び、［決定］を押す

3 番組を選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、［青］を押す

4 すべてを選んだあと、決定 を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

● 1 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビングすると、HDD から消去されます。
・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容は HDD から消去されます。
● 10 〜 2 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
●接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

レコーダー・ビデオデッキなどからダビングする（続き）

D-VHS などから本機へダビングする

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ダビングできる機器：

D-VHS ビデオ
HDD ビデオレコーダーなど

1 **[HDD/BD/SD] を押して、録画先を選ぶ**

2 **[入力切換] を押して、「i.LINK（TS）」を選ぶ**

3 **[録画モード Ⓜ] を押して、録画モード（➜56）を選ぶ**

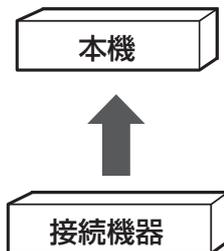
4 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、[ワンタッチ予約 録画] を押す**

5 **録画の終了方法を選び、[決定] を押す**

●「ディスクへの録画機能」（➜155）を「有効」に設定している場合、録画の終了方法は表示されません。

ダビングを実行中に中止するには

[■ 停止] を押す

●接続した機器の再生も停止してください。

お知らせ

●コピー制限のある番組はダビングできません。
●本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜58）できない場合は、ダビングは中止されます。

外部入力を使ってダビングする

HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) RAM(VR)
-R(AVCREC) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

- 「接続した機器を再生してダビングする」(➜100)
- 「外部入力（L1）取込」(➜100)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

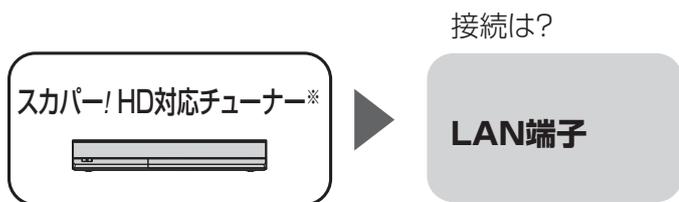
当社製 CATV デジタルセットトップボックス、スカパー! HD 対応チューナーとネットワーク接続すると、セットトップボックスなどの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

- ネットワーク接続と設定をする
(➜190 ～ 193、198)
DLNA 機能の設定を変更する場合（➜165）

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

スカパー！HD 対応の チューナーから本機に録画する

接続は?

スカパー! HD対応チューナー※ ▶ LAN端子

スカパー! HD対応チューナーと接続する場合は、LAN端子と接続してください。

※ 外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」(➜93) の手順で録画してください。

接続と設定

●ネットワーク接続と設定をする
(➜190、191、198)
スカパー！HD 録画の設定を変更する場合 (➜165)

ネットワークで接続すると、スカパー！HD対応のチューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

HDD

スカパー！HD対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

●「ディスクへの録画機能」(➜155) を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると予約録画できません。

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー! HD 対応のチューナーの説明書をご覧ください。

●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(➜51)

・そのままの画質で録画します。本機側で録画モードを変更することはできません。

・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。

・接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー！HD 録画中は、本体前面の“LAN 録画”ランプが点灯します。

点灯

本体表示窓

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

●複数の番組を録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。

●スカパー！HDの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。

・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。(➜154「時刻合わせ」)

・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

●スカパー! HDの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。

●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(➜48)、「番組名入力」(➜50)、「マイラベル設定」(➜49) の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。

●録画中のスカパー！HDの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。

●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

●スカパー！HD の番組は、録画モードが表示されません。

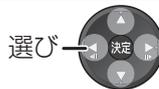
●視聴制限のある番組は、録画一覧画面 (➜62) やダビング画面 (➜82、85) などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

●以下の場合、記録したスカパー! HD の番組は字幕表示の入/切ができません。

・接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合

・1 倍速ダビングした場合

・他社製機器で記録した場合

写真を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜173）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定] を押す
- 下記の手順5に進みます。

1 スタート **を押す**

HDD 手順5へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SDカード」を選び、決定 を押す

USB
「USB機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定 を押す

例）HDD
ラベル
- ▆の付いたラベル：アルバム
  イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。（➜109）
- 3D ラベル：
  取り込んだ3D写真（MPO）を3D再生する場合は、このラベルから選んでください。

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜110）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

7 写真を選び、決定 を押す

再生を止めるには
[■ 停止] を押す

前後の写真を見るには
[◀] [▶] を押す

写真の情報を表示するには
[画面表示] を押す

スライドショーを見るには
[▶ 再生] を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

他の機器と 写真／音楽

写真再生のいろいろな機能

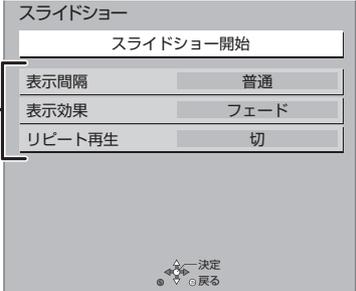
写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

2 項目を選び、決定 **を押す**

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す** 例）
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

開始前に、スライドショーの内容を設定できます。（➜ 右記）

スライドショーを終了するには
[**戻る**] を押す

表示間隔
画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示効果
写真の表示方法を設定します。
●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。
（3D 写真再生時を除く）

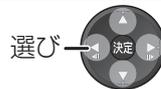
リピート再生
再生を繰り返します。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。（➜33） ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転 **左90°回転**	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真の整理をする

HDD BD-RE RAM SD

1 スタート **を押す**

HDD 手順５へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 BD-RE RAM

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント単位で管理する場合：

イベントを選び、サブメニュー S を押す（➜ 手順８へ）

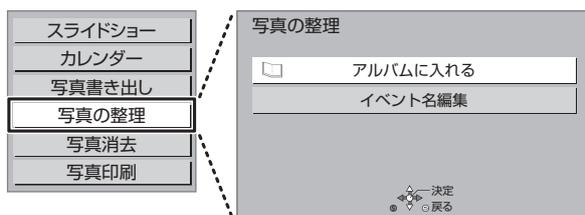
写真単位で管理する場合：

イベントを選び、決定 を押す

●「イベントをまとめる」ときは、**［青］**を押してイベントを選択したあと、**［サブ メニュー］**を押してください。

7 写真を選び、サブメニュー S を押す

8 項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）HDD「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、［決定］を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 **文字入力については（➜125）**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した 2 つ以上のイベントを、1 つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、［決定］を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、［決定］を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 **文字入力については（➜125）**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、［決定］を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、［決定］を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜157）を行ってください。

写真／音楽

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW ➡ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜173）すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）**SD**

●下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

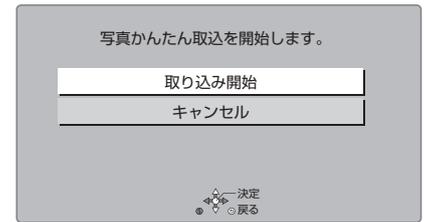
3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 **「写真」を選び、決定 を押す**

5 **「写真を取り込む」を選び、決定 を押す**

6 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

7 **取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜157）や「全写真消去」（➜157）を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜111）を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

写真一覧から取り込む

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：

「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：

「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

●選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例） SD

7 すべてを選んだあと、赤 を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す

9 「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定 を押す

●「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。

●「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

10 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE RAM

107 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

●選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例） HDD

7 すべてを選んだあと、赤 を押す

8 ディスクに書き出す場合：

「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

SD に書き出す場合：

「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

9 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

写真を印刷する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

ネットワークに接続されたネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

●ネットワーク接続と設定をする（➜190 ～ 192、198）
●プリンター設定をする（➜162）

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜173）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

USB

「USB 機器」を選び、決定 を押す

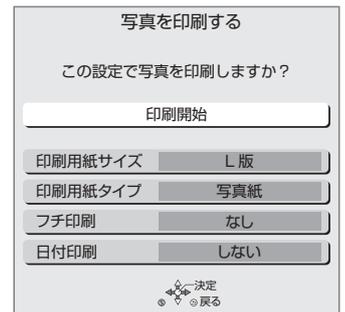
4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、サブメニュー S を押す

●複数のイベントまたは写真を印刷するときは、[青] を押して選んだあと、[サブ メニュー] を押してください。

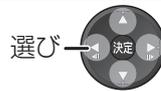
7 「写真印刷」を選び、決定 を押す

8 印刷の設定をする

9 「印刷開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

音楽 CD を再生する

基本操作　選び　➡　決定する

CD

音楽 CD を入れる

再生中の曲（♪を表示）

再生中の曲の経過時間/現在の再生位置/演奏時間

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

音楽再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

II一時停止
●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

・「再生」(➜72) の「リピート」「ランダム」

・「音声」(➜73)

写真のスライドショー

音楽再生中に、青 を押す

スライドショーを停止するには

[戻る] を押す

（音楽の再生を停止したときも、停止します）

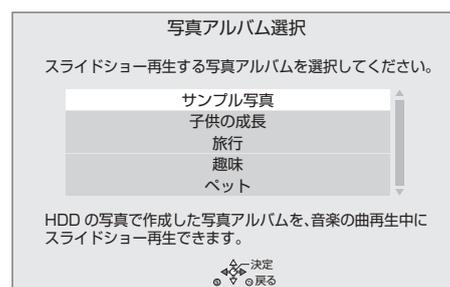
表示させる写真を選択するには

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」(➜109) で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**

② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**

③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

写真／音楽

HDMI CEC を使う

HDMI CEC（HDAVI Control™）とは

本機とHDMIケーブル(別売)を使って接続したHDMI CEC 対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① 「HDMI CEC 制御」（➔159）を「入」にする

（お買い上げ時の設定は「入」）

② 「HDMI CEC 録画待機」（➔159）を「入」にする

●「クイックスタート」（➔154）は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。（待機時消費電力は増えます）

③ 接続した機器側（テレビなど）で、HDMI CEC が働くように設定する

④ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する

（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

お知らせ

●HDMI CEC（Consumer Electronics Control）は業界標準のHDMI によるコントロール機能です。

●「HDMI CEC 録画待機」（➔159）が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン)：本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン)

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

●本機の電源「切」時は、[アクトビラ]、[初期設定] は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン)

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

●ダビング、ファイナライズ、消去、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押して録画などの実行中は切れません。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。

持ち出し番組について

- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
- 通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（ダウンロードした番組を除く）
- 本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

●マルチ音声の番組

・録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」(➜71) で設定した音声 1 つ
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません

●二重音声の番組

・録画した番組から作成するとき：
「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜156) の設定に従う
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声

持ち出し方法と画質について

モバイル機器に番組を持ち出すには、以下の方法があります。持ち出しする方法に合わせて持ち出し番組を作成する必要があります。

持ち出し方法	持ち出し番組の画質	持ち出しする機器について
SD/USB 経由	ワンセグ画質 **ワンセグ画質（QVGA）**	モバイル機器などに SD VIDEO 形式で持ち出す場合に選択します。 ●「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。 ・「持ち出し番組の VGA 画質」(➜157) で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。
	高画質 **高画質（VGA）**	
ネットワーク経由	ネット高画質 **高画質（VGA）**	DLNA 機能対応のモバイル機器などに持ち出す場合に選択します。 ●デジタル放送などの録画番組は「高画質（VGA）」（1.5 Mbps）となり、変更できません。
	ネットHD画質 **ハイビジョン画質（HD）**	撮影ビデオ（「AVCHD」、「AVC VIDEO」の表示のある番組）をスマートフォンなどに MP4 形式で持ち出す場合に選択します。

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約（➔38 手順 5）、詳細設定（➔48 手順 1）、または時間指定予約（➔50 手順 3）画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定 を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❹ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❺ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➔117）で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA）」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質（VGA）」で作成するとき
  - ・BS・CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
  - ・LAN 経由（スカパー! HD や CATV）で録画した番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」（➔ 右記）で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」（➔49）で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶

を押す

❷ **作成する番組を選び、緑 を押す**
❸ **「持ち出し番組の作成」を選び、決定 を押す**
❹ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
❺ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❻ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➔117）で自動的に転送することができます。

❼ **「開始方法」を選び、設定する**

- **すぐに：**
  下記手順 ❾ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後：**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❽ **「作成する」を選び、決定 を押す**
❾ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、決定 を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
決定 を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ❸ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧（➜118）で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す（転送）

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする（➜191 ～ 193、198）
  DLNA 機能の設定を変更する場合（➜165）

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

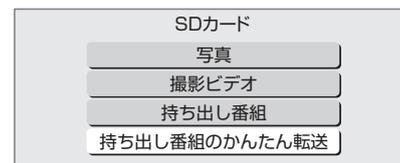
SD/USB 経由で持ち出す（転送）

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録されている番組は、持ち出し番組一覧（➜118）で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時（➜116）、持ち出し番組の作成時（➜116）または作成後（➜118）に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など）を接続する**
☞ **USB 機器を接続するには（➜173）**

例）SD

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- ダウンロードした番組の場合：
  - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
  - ・以下の設定はできません。
    - -「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
    - -「かんたん転送の登録」の「する」
    - -「開始方法」の「電源［切］後」
  - ・ネットワークに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - ・二重音声 ：「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜156)
  - ・マルチ音声 ：「信号切換」の「音声」(➜71)
  - ・チャプター ：作成元になる番組のチャプター情報
  - ・字幕 ：「信号切換」の「字幕」(➜71)
  （「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます）

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

SD/USB 経由で持ち出す（転送）（続き）

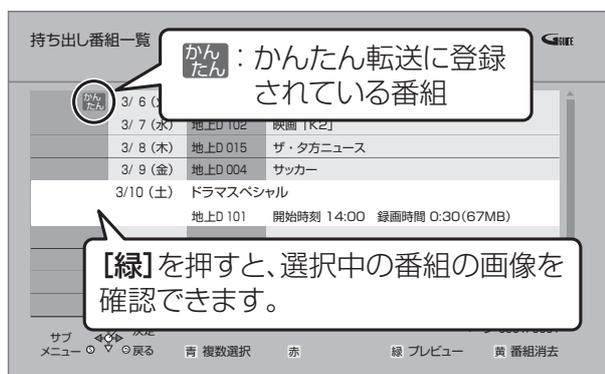
持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

☞USB 機器を接続するには（➜173）

例）SD

❷「持ち出し番組」を選び、決定 を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、決定 を押す

❹ 番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ **選択を取り消すには**

番組を選び、[青] を押す

❺ すべてを選んだあと、決定 を押す

❻「転送を開始する」を選び、決定 を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜ 左記）

手順 ❸ のあと

❹ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❺ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 **（➜ 左記手順 ❻ へ）**
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（➜117）の登録をします。 （かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（➜117）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」（➜157）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組は HDD から消去されます。

転送した番組を確認・消去する

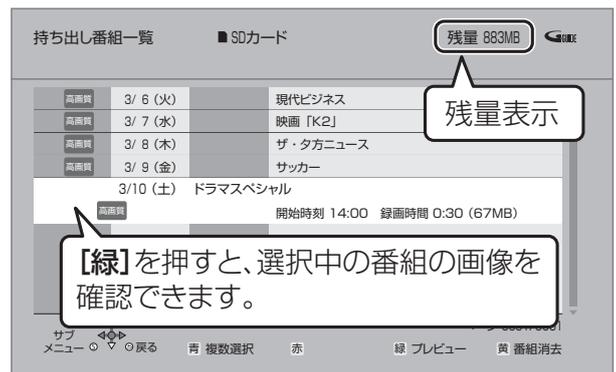
❶ SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など）を接続する

USB 機器を接続するには（➜173）

❷「持ち出し番組」を選び、決定 を押す

❸「持ち出し番組を確認する」を選び、決定 を押す

❹ 番組を選ぶ

例）SD

番組の内容を確認するには

① [サブ メニュー] を押す

②「内容確認」を選び、[決定] を押す

持ち出し番組を消去するには

① [黄] を押す

②「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置（➜66「続き再生メモリー機能」）とチャプターマーク（➜78）を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定（➜74）されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で HDD に録画します。

●H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画（音声付き）を、H.264 非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像（連続静止画）を記録することができます。

●本機とドアホンやセンサーカメラを接続する（➜190 ～ 192）
●ドアホンやセンサーカメラの設定をする（➜167）

お知らせ

● ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に“⌂”が点滅します。
● ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。
● ドアホン・センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいたうえで、ご利用ください。
  ・以下の場合、映像は録画されません。
    - ３番組同時録画中（通知のみ記録）
    - ２番組同時録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - 1.5 ～ 15 倍録モードで録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - LAN 経由（スカパー! HD や CATV）の番組を録画中（通知のみ記録）
    - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の自動再起動時
    - その他、ファイナライズ中　など
  ・録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。
  ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
  ・最大記録件数は、以下になります。
  ドアホン映像 400　センサーカメラ映像 400
  400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。（➜121）
  ・本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1 **[スタート] を押す**

2 **「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、[決定] を押す**

●表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

☞ ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

☞ センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

3 **映像を選び、[決定] を押す**

●映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

録画した機器の名称を表示

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

（一時停止中）

映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真（JPEG）に変換して SD カードに保存することができます。

❶ **保存したい場面で [❚❚一時停止] を押す**
❷ **[◀] [▶] を押して場面を調整する**
❸ **[黄] を押す**
❹ **「転送開始」を選び、[決定] を押す**

●SECURITY フォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

1 スタート **を押す**

2 「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

3 映像を選んで、サブメニュー S を押す

4 編集する項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）

映像消去
全映像消去
プロテクト設定
プロテクト解除
全映像をバックアップ
バックアップからの復元
センサーカメラへ

映像消去 全映像消去	**「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 **「開始」を選び、[決定] を押す** **お知らせ** ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます） ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしないかぎり、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、[決定] を押す**

acTVila（アクトビラ）を楽しむ

本機では、アクトビラのサービスを楽しむことができます。

●本機が録画中やダビング中は利用できません。また、予約録画の開始時刻になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

●ネットワーク接続と設定をする
(➜191、192、198)

インターネットの閲覧制限について
本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[スタート]** を押す
②「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
③「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、**[決定]** を押す
④「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑥「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

●「アクトビラ」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila とは

●インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。

●本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
・アクトビラ ベーシック
・アクトビラ ビデオ
・アクトビラ ビデオ・フル
・アクトビラ ビデオ・ダウンロード

1 [アクトビラ] を押す

2 見たい項目を選び、[決定] を押す

アクトビラを終了するには
[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ

● **ホームページへの情報登録について**
アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

●クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

ネット操作パネルを表示する

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S) を押す

❷ 項目を選び、(決定) を押す

Ⓐ １つ前のページへ
Ⓑ １つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（➜ 下記）

ネット操作パネルの表示を消すには
[サブ メニュー] を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S) を押す

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して [サブ メニュー] を押してください。

❷「お好みページ」を選び、(決定) を押す

■登録する

❸ 青 を押す

❹ 内容を確認し、(決定) を押す

- 「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、(決定) を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ 黄 を押す

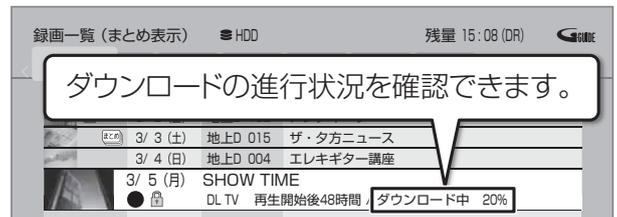
❺「はい」を選び、(決定) を押す

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

- 動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラのページに従って動画コンテンツを購入する

- 録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロードを中断するには
ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。
① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[サブ メニュー] を押す
②「ダウンロード一時停止」を選び、[決定] を押す
③「一時停止」を選び、[決定] を押す
- ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は
ダウンロード履歴を確認してください。
(➜147「ダウンロード履歴」)

お知らせ
- 電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
- 以下の操作中はダウンロードは実行されません。
  - ･複数の番組を録画中
  - ･LAN 経由（スカパー！HD や CATV）の番組を録画中
  - ･BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
  - ･ダビング中
  - ･DLNA 機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

  またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

acTVila（アクトビラ）を楽しむ（続き）

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（➜60）から再生する

☞ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」（➜157）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① [サブ メニュー] を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

- 視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
- 再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

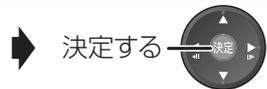
かんたんダビング（➜82）や詳細ダビング（➜84）でダビングを行う

☞ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」（➜157）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① [サブ メニュー] を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数、期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

文字入力

本機では、表示された画面によって2種類の文字入力方法があります。

この画面が表示されたら

番組名
ディスク名
アルバム名
イベント名
マイラベル名
フリーワード検索
など

文字パネル方式で入力します

この表示が出たときは

アクトビラなど

携帯電話(リモコン)方式で入力します

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 右記)

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**
●「さ」行に移動します。

② **[3] を2回押し、[決定]を押す**
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、
[決定] を押す
●[戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
●JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[黄] を押す
③ 「消去」を選び、[決定] を押す

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する
（アクトビラなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 **[1]～[12]（ふた内部）で文字を入力する**

例）「えいが」と入力するとき

 ▶

4回押す（え）	1回押す	2回押す（い）	1回押す（か）	1回押す（゛）

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。（➜127）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

2 **[決定] を押す**

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、（かな→カナ→英数→数字）に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例）「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
（カーソルの文字が削除されます）

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	！	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	（	スペース	
	ぃ			4				8		）		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	！	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	（	スペース	
	ィ			4				8		）		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	—	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	＊	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

DLNA 機能を使う

DLNA 機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ●本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- ●サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ●他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）

●ネットワーク接続と設定をする
（➜190 ～ 192、198）
DLNA 機能の設定を変更する場合（➜165）

HDD

DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

●画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

●2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

●編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）
●ダウンロードした番組は再生できません。
（DLNA対応の他社製機器から再生時）（2012 年 5 月現在）

「放送を見る」のとき

●本機のチャンネル設定（➜152）で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
●本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
●アクトビラ、スカパー! HDの番組を視聴することはできません。
●視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
●他社製機器で放送番組を視聴することはできません。（2012年 5 月現在）

映像が途切れたり、停止する場合

●ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」（➜165）を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
・早送り・早戻しができない
・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
●無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
●無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
●本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）

本機からDLNA対応機器などのHDDにある番組などを再生することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜190 ～ 192、198）
●接続した機器側で、本機を登録する
（本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください）

1 スタート **を押す**

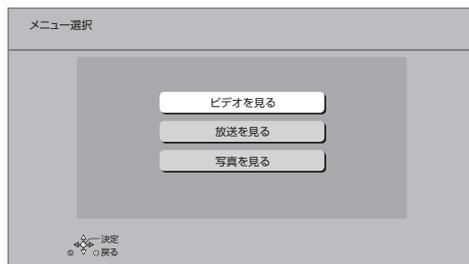
2 **「DLNA クライアント」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **接続する機器を選び、決定 を押す**

例）

●選んだ機器の画面が表示されます。

例）

画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

●ディスクを再生することはできません。また接続している機器によっては、写真を再生することはできません。
●接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、DLNA 機能で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。（➜63）
●パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽は LPCM のデータを再生できます。

DLNA 機能を使う（続き）

Wi-Fi Direct™ を利用して DLNA 機能を使う

Wi-Fi Direct（ワイファイ ダイレクト）とは、無線ブロードバンドルーターを使わずに、無線 LAN 機器間で直接通信を可能にする規格です。本機のネットワーク接続や設定にかかわらず、他の DLNA 対応機器と一時的に無線で直接接続することができます。

●DLNA サーバー機能（➔162）を「入」にする

1 スタート **を押す**

2 「Wi-Fi Direct 接続」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「クライアント機能」または「サーバー機能」を選び、決定 を押す

●接続機器側で本機とWi-Fi Direct接続ができるように設定してください。詳しくは、接続機器側の説明書をご覧ください。

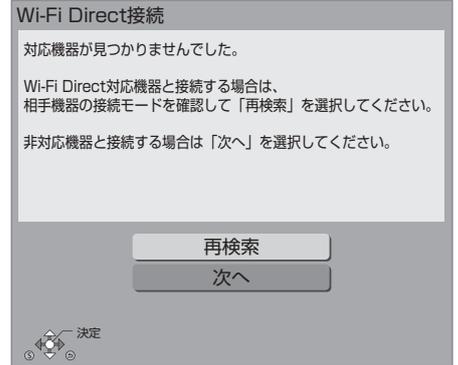
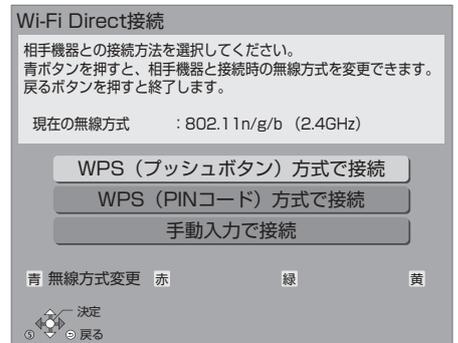
4 接続する機器を選び、決定 を押す

●接続したい機器が表示されなかった場合、[緑] を押して接続方法を変更してください。

5 手順 3 で「クライアント機能」を選んだ場合：
本機側で操作する

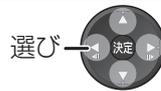
手順 3 で「サーバー機能」を選んだ場合：
クライアント機器側で操作する

●画面に従って、以降の操作をしてください。

接続機器が見つからなかった場合

再検索しても対応機器が見つからなかった場合は、「次へ」を選んで接続方法を変更してください。

接続する機器に合わせて、接続方法を選んでください。
●画面に従って、以降の操作をしてください。

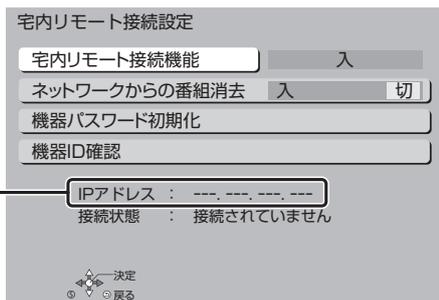
お知らせ

●接続中は他の機器とネットワーク接続することができません。Wi-Fi Direct接続が終了すると、元のネットワーク設定に戻ります。
●LAN 経由（スカパー！HD や CATV）の録画が始まると、Wi-Fi Direct の接続を終了します。

宅内リモート接続機能を使う

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。
●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

●ネットワーク接続と設定、宅内リモート接続設定をする。(➜166)

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機のIPアドレス(➜166、手順4で確認)をアドレス欄に入力する

●ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは (Internet Explorer® 6.0の場合)
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」の「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。(➜162)
●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など

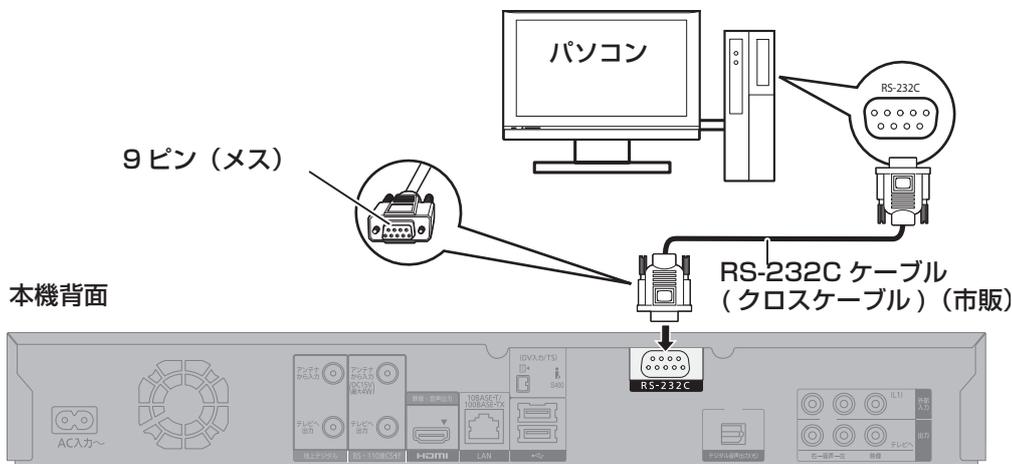
ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

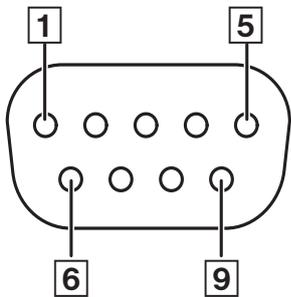
機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

パソコンで本機を制御する

RS-232C ケーブルを使用してパソコンと接続する

本機は背面に 9 ピン D-Sub のインターフェースコネクタがあります。RS-232C ケーブルでパソコンと接続すると、パソコンで本機を制御することができます。

お知らせ

- パソコンとの接続には、クロスケーブルをお使いください。
- その他の接続は(➜177)をご覧ください。

RS-232C インターフェース仕様

ピン番号	信号名	入出力方向	機能
1	DCD	IN	NC(何も接続されていません)
2	RxD	IN	受信データ
3	TxD	OUT	送信データ
4	DTR	OUT	NC(何も接続されていません)
5	GND	---	グランド
6	DSR	IN	NC(何も接続されていません)
7	RTS	OUT	内部で接続されています。
8	CTS	IN	内部で接続されています。
9	RI	IN	NC(何も接続されていません)

※本機では、RxD(2)、TxD(3)、GND(5) のみを使用します。

お知らせ

- 本機は、電源「入」状態であれば、常時コマンドを受け付けることができます。

通信条件

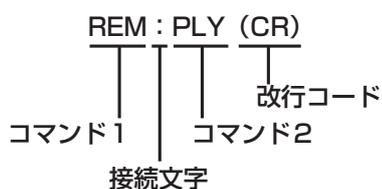
信号レベル	RS-232C 準拠
同期レベル	調歩同期
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

シリアル・コマンド体系

例1）再生させるとき

入力コマンド

応答シリアル

例2）タイトルリピートさせるとき

入力コマンド

応答シリアル

お知らせ

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（:）は必要ありません。
- 誤ったコマンドを送信すると、本機から「ACK:ERR;」というシリアルがパソコン側に送信されます。
- コマンドに対してタイムアウトが発生した場合は、本機から「ACK:TMO;」というシリアルがパソコン側に送信されます。

RS-232C コマンド一覧

下記コマンド一覧にあるコマンドを使って、本機の制御ができます。
- ●本機では、フレーム単位での制御はできません。番組 / タイトル / チャプター単位での制御になります。
- ●本機で使用されるコマンドは、当社製以外の製品との互換性はありません。
- ●コマンドには、大文字のみを使用してください。小文字はコマンドとして認識できません。

通常コマンド（リモコンでの操作）

以下のコマンドを使用すると、リモコンを使うのと同じ操作ができます。
- ●通常のリモコン操作と同じ GUI が表示されます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
1	電源 OFF	REM:POF	ACK:REM:POF;	[電源]
2	10 キーの 1	REM:TK1	ACK:REM:TK1;	[1]
3	10 キーの 2	REM:TK2	ACK:REM:TK2;	[2]
4	10 キーの 3	REM:TK3	ACK:REM:TK3;	[3]
5	10 キーの 4	REM:TK4	ACK:REM:TK4;	[4]
6	10 キーの 5	REM:TK5	ACK:REM:TK5;	[5]
7	10 キーの 6	REM:TK6	ACK:REM:TK6;	[6]
8	10 キーの 7	REM:TK7	ACK:REM:TK7;	[7]
9	10 キーの 8	REM:TK8	ACK:REM:TK8;	[8]
10	10 キーの 9	REM:TK9	ACK:REM:TK9;	[9]
11	10 キーの 10	REM:TKA	ACK:REM:TKA;	[10]
12	10 キーの 11	REM:TKB	ACK:REM:TKB;	[11]
13	10 キーの 12	REM:TKC	ACK:REM:TKC;	[12]
14	音声切換	REM:AUD	ACK:REM:AUD;	[音声切換]
15	トレイ open/close	REM:TRY	ACK:REM:TRY;	[開 / 閉 ⏏]
16	スキップ正	REM:FSK	ACK:REM:FSK;	[▶▶| スキップ]
17	スキップ逆	REM:RSK	ACK:REM:RSK;	[|◀◀ スキップ]
18	早送り	REM:FSR	ACK:REM:FSR;	[▶▶ 早送り]
19	早戻し	REM:RSR	ACK:REM:RSR;	[◀◀ 早戻し]
20	停止	REM:STP	ACK:REM:STP;	[■ 停止]
21	一時停止	REM:PUS	ACK:REM:PUS;	[❚❚ 一時停止]
22	再生	REM:PLY	ACK:REM:PLY;	[▶ 再生]
23	画面表示	REM:STA	ACK:REM:STA;	[画面表示]
24	機能一覧表示	REM:FUN	ACK:REM:FUN;	[スタート]
25	ポップアップメニュー表示	REM:POP	ACK:REM:POP;	[ポップアップメニュー]
26	録画一覧表示	REM:TOP	ACK:REM:TOP;	[録画一覧]
27	再生設定	REM:DIS	ACK:REM:DIS;	[再生設定]
28	上	REM:CUP	ACK:REM:CUP;	[▲]
29	下	REM:CDW	ACK:REM:CDW;	[▼]
30	左	REM:CLF	ACK:REM:CLF;	[◀]
31	右	REM:CRT	ACK:REM:CRT;	[▶]

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
32	決定	REM:ENT	ACK:REM:ENT;	[決定]
33	サブメニュー表示	REM:SUB	ACK:REM:SUB;	[サブ メニュー]
34	戻る	REM:RET	ACK:REM:RET;	[戻る]
35	赤	REM:RED	ACK:REM:RED;	[赤]
36	緑	REM:GRN	ACK:REM:GRN;	[緑]
37	青	REM:BLU	ACK:REM:BLU;	[青]
38	黄	REM:YLW	ACK:REM:YLW;	[黄]
39	初期設定画面表示	REM:SET	ACK:REM:SET;	[初期設定]
40	ドライブ切換	REM:DRV	ACK:REM:DRV;	[HDD/BD/SD]
41	チャンネル UP	REM:CHU	ACK:REM:CHU;	[∧ チャンネル]
42	チャンネル Down	REM:CHD	ACK:REM:CHD;	[∨ チャンネル]
43	10 秒戻し	REM:10B	ACK:REM:10B;	[10 秒戻し]
44	30 秒送り	REM:30F	ACK:REM:30F;	[30 秒送り]
45	デジタル	REM:DIG	ACK:REM:DIG;	[地上]
46	BS	REM:DBS	ACK:REM:DBS;	[BS]
47	CS	REM:CSC	ACK:REM:CSC;	[CS]
48	ガイド	REM:GID	ACK:REM:GID;	[ガイド ?]
49	予約確認	REM:RSV	ACK:REM:RSV;	[予約確認]
50	番組表	REM:LST	ACK:REM:LST;	[番組表]
51	アクトビラ	REM:ACT	ACK:REM:ACT;	[アクトビラ]
52	消去	REM:DEL	ACK:REM:DEL;	[消去]
53	入力切換	REM:INP	ACK:REM:INP;	[入力切換]
54	データ	REM:DAT	ACK:REM:DAT;	[データ d]
55	録画モード	REM:MOD	ACK:REM:MOD;	[録画モード Ⓜ]
56	録画	REM:REC	ACK:REM:REC;	[ワンタッチ予約録画 ●]
57	3 桁入力	REM:3IN	ACK:REM:3IN;	[3 桁入力]
58	タイムワープ	REM:TWP	ACK:REM:TWP;	[タイムワープ]
59	チャプターマーク	REM:CHP	ACK:REM:CHP;	[チャプターマーク]
60	かんたんスタート	REM:EST	ACK:REM:EST;	[かんたんスタート ●]

パソコン制御

RS-232C コマンド一覧（続き）

表示コマンド

以下のコマンドで、本機の状態を表示します。
GUI は表示されません。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	ドライブに挿入されたディスクの種類を表示。 QST:MDA:∗; ●「∗」にはメディアごとに下記の番号が入ります。 01=CD（CD） 02=DTS-CD 03=CD-R/RW（CD） 10=BD ビデオ（BD-V） 20=BD-RE（BD-RE）（AVCHD 含む） 30=BD-RE（BD-RE） 21=BD-RE DL（BD-RE）（AVCHD 含む） 31=BD-RE DL（BD-RE） 24=BD-R（BD-R）（AVCHD 含む） 34=BD-R（BD-R） 25=BD-R DL（BD-R）（AVCHD 含む） 35=BD-R DL（BD-R） 64=BD-RE 3 層（BD-RE）（AVCHD 含む） 65=BD-RE 3 層（BD-RE） 66=BD-R 3 層（BD-R）（AVCHD 含む） 67=BD-R 3 層（BD-R） 68=BD-R 4 層※（BD-R）（AVCHD 含む） 69=BD-R 4 層※（BD-R） 40=DVD ビデオ（DVD-V） 41=DVD ビデオ／オーディオ（DVD-V） 27=DVD-R（-R）（AVCHD 含む） 37=DVD-R（-R(AVCREC)） 51=DVD-R（-R(V)） 61=DVD-R（-R(VR)） 28=DVD-R DL(AVCHD 含む) 38=DVD-R DL（AVCREC） 52=DVD-R DL（VIDEO） 62=DVD-R DL（VR） 26=DVD-RAM（RAM）（AVCHD 含む） 36=DVD-RAM（RAM(AVCREC)） 60=DVD-RAM（RAM(VR)） 29=DVD-RW（-RW）（AVCHD 含む） 53=DVD-RW（-RW(V)） 63=DVD-RW（-RW(VR)） 56=+RW（DVD-V） 82=BD-RE（未フォーマット） 83=BD-RE DL（未フォーマット） 84=BD-RE 3 層（未フォーマット） 85=BD-R（未フォーマット） 86=BD-R DL（未フォーマット）

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	87=BD-R 3 層(未フォーマット) 88=BD-R 4 層※(未フォーマット) 89=DVD-R(未フォーマット) 8A=DVD-R DL(未フォーマット) 8B=DVD-RAM(未フォーマット) 8C=DVD-RW(未フォーマット) 00=なし FF=無効、不明、+R(未フォーマット)、 +R DL(未フォーマット)、 +RW(未フォーマット)
2	デッキモード取得	QST:MOD	ACK:QST:MOD;	再生、停止など本機の状態を表示 QST:MOD:∗; ●「∗」には本機の状態ごとに下記の番号が入ります。 02=トレイ･オープン 03=トレイ･クローズ 04=リード中 05=再生停止中(レジューム無) 06=再生停止中(レジューム有) 07=スクリーン･セイバー(レジューム無) 08=スクリーン･セイバー(レジューム有) 0C=メニュー表示中 10=再生 11=一時停止　12=早見再生 18=早送り　19=早戻し 1A=スロー再生　1B=スロー逆再生 20=リピート再生 21=プレイリスト再生 30=静止画(JPEG)再生 31=スライドショー再生 00=無効　FF=その他 100=録画 1　200=録画 2 400=録画 3 録画中のデッキモードは、数値を足したものが表示されます。 例 録画 1、録画 2、再生(通常再生) = 100 + 200+10 = 310
3	再生タイトル取得	QST:TTL	ACK:QST:TTL;	再生中のタイトル番号を表示 QST:TTL:∗;(∗=タイトル番号)
4	再生チャプター取得	QST:CHP	ACK:QST:CHP;	再生中のチャプター番号を表示 QST:CHP:∗;(∗=チャプター番号)

※片面 4 層は BD-R のみ。2012 年 5 月現在、BD-R（128 GB: 片面 4 層）は発売されていません。

RS-232C コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
5	記録モード取得	QST:REC	ACK:QST:REC;	**BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** QST:REC:∗;(∗= 下記、録画モード番号) 「∗」には録画モードごとに下記の番号が入ります。 01 = FR 02 = EP(8 時間) 03 = EP(6 時間) 04 = LP 05 = SP 06 = XP 10 = DR 11 = 1.5 倍録 12 = 1.6 倍録 13 = 1.8 倍録 14 = 2 倍録 (HG) 15 = 2.3 倍録 16 = 2.5 倍録 17 = 2.7 倍録 18 = 3 倍録 (HX) 19 = 3.5 倍録 1A = 4 倍録 (HE) 1B = 4.5 倍録 1C = 5 倍録 (HL) 1D = 5.5 倍録 1E = 6 倍録 1F = 7 倍録 20 = 8 倍録 (HM) 21 = 9 倍録 22 = 10 倍録 23 = 11 倍録 24 = 12 倍録 25 = 15 倍録 (HZ) 00 =無効
6	再生時間取得	QST:TIM	ACK:QST:TIM;	再生中のコンテンツの再生時間を表示 QST:TIM:∗∗.∗∗.∗∗; (∗∗.∗∗.∗∗; = 再生時間)
7	記録時間取得	QST:LGT	ACK:QST:LGT;	再生中のコンテンツの記録時間を表示 QST:LGT:∗∗.∗∗.∗∗; (∗∗.∗∗.∗∗; = 記録されている時間)
8	全情報取得	QST:STA	ACK:QST:STA;	[**画面表示**] を押したときに表示される項目 QST:MDA:∗; [∗= メディア番号:「メディア取得」(➜136)] QST:MOD:∗; [∗= デッキモード番号:「デッキモード取得」(➜137)] QST:TTL:∗; (∗= タイトル番号) QST:CHP:∗; (∗= チャプター番号) QST:REC:∗; [∗= 記録モード番号:「記録モード取得」(➜上記)] QST:TIM:∗∗.∗∗.∗∗; [∗∗.∗∗.∗∗; = 再生時間:「再生時間取得」(➜上記)] QST:LGT:∗∗.∗∗.∗∗; [∗∗.∗∗.∗∗; = 記録されている時間:「記録時間取得」(➜上記)]

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
9	入力	QST:INP	ACK:QST:INP;	QST:INP:∗;(∗= 下記、放送や入力) 視聴中の放送や入力を表示 02 =地上デジタル　03 = BS デジタル 04 = CS1　05 = CS2 06 =外部入力　07 = DV 入力 08 = i.LINK 入力　00 =視聴停止
10	チャンネル	QST:CHN	ACK:QST:CHN;	QST:CHN:∗;(∗= チャンネル番号) 受信チャンネル
11	番組番号	QST:TNO	ACK:QST:TNO;	QST:TNO:∗;(∗= 番組の番号) 再生中の番組の番号
12	ドライブ	QST:DRV	ACK:QST:DRV;	QST:DRV:∗;(∗= 下記、ドライブ) 選択中のドライブを表示 01 = HDD　02 = BD/DVD 03 = SD カード　00 =無効
13	録画モード	QST:RMD	ACK:QST:RMD;	QST:RMD:∗; [∗= 記録モード番号:「記録モード取得」(➜138)] 選択中の録画モードを表示
14	選択ドライブの残量	QST:REM	ACK:QST:REM;	QST:REM:∗;(∗∗:∗∗;= 残り容量) 選択されているメディアの残り容量を表示 (このコマンドは SD カード非対応です)
15	日付	QST:DAY	ACK:QST:DAY;	QST:DAY:∗;(∗∗∗∗/∗∗/∗∗(∗); =現在の日付と曜日) 現在の日付と曜日を表示
16	現在時刻	QST:NOW	ACK:QST:NOW;	QST:NOW:∗;(∗∗:∗∗:∗∗; = 現在の時刻) 現在の時刻を表示
17	BD/DVD フォーマット状態	QST:FMT	ACK:QST:FMT;	QST:FMT:∗;(∗= 下記、フォーマットの状態) ディスクのフォーマット状態を表示 01=VRフォーマット　02=ビデオフォーマット 03 = BD/AVCREC フォーマット 04= 異常 00= 未実施
18	BD/DVD ファイナライズ状態	QST:FNZ	ACK:QST:FNZ;	QST:FNZ:∗;(∗= 下記、ファイナライズの状態) ディスクのファイナライズの状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02 =異常

パソコン制御

RS-232C コマンド一覧（続き）

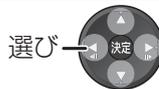
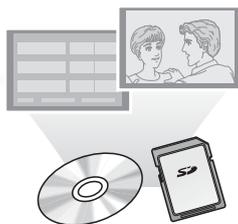
No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
19	BD/DVD 記録学習状態	QST:POW	ACK:QST:POW;	QST:POW:∗;(∗= 下記、記録学習の状態) ディスクの記録学習(➜141 「記録学習実行」)の状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02=異常
20	トレイ状態	QST:TRY	ACK:QST:TRY;	QST:TRY:∗;(∗=下記、トレイの開/閉状態) 本体のトレイの開 / 閉状態を表示 00 =クローズ　01 =オープン
21	チャプター設定状態	QST:CHM	ACK:QST:CHM;	QST:CHM:∗;(∗= 下記、チャプター設定状態) 自動チャプターの設定状態を表示 00 =自動チャプター解除 01 =自動チャプター設定(15 分) 02 =自動チャプター設定(30 分) 03 =自動チャプター設定(60 分)

操作コマンド

以下のコマンドで、本機の操作ができます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
22	再生タイトル指定	SPB:TTL:∗∗	ACK:SPB:TTL:∗∗;	BD-V DVD-V AVCHD 「∗∗」部分に再生したいタイトル番号を入力します。
23	再生チャプター指定	SPB:CHP:∗∗	ACK:SPB:CHP:∗∗;	BD-V DVD-V AVCHD 「∗∗」部分に再生したいチャプター番号を入力します。
24	タイトルリピート解除	SPB:TLP:0	ACK:SPB:TLP:0;	再生中タイトルのリピート設定を解除します。
25	タイトルリピート設定	SPB:TLP:1	ACK:SPB:TLP:1;	再生中タイトルのリピート設定をします。
26	チャプターリピート解除	SPB:CLP:0	ACK:SPB:CLP:0;	再生中チャプターのリピート設定を解除します。
27	チャプターリピート設定	SPB:CLP:1	ACK:SPB:CLP:1;	再生中チャプターのリピート設定をします。
28	AV ミュート解除	SAV:AVM:0	ACK:SAV:AVM:0;	AV ミュート設定を解除します。
29	AV ミュート設定	SAV:AVM:1	ACK:SAV:AVM:1;	映像、音声を出力しない設定をします。
30	時刻設定	TIM:CLK:∗	ACK:TIM:CLK:∗;	本機の時刻設定をします。(「∗」部分に年月日時分秒を入力してください。) (例:2012 年 9 月 1 日 3 時 50 分 40 秒 =20120901035040)
31	記録学習実行	DRV:POW:1	ACK:DRV:POW:1;	ディスクに記録するための準備を行います。(ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないことがあります。録画前に「記録学習実行」を行うと、先頭から録画されます。) QST:POW:∗;(∗= 下記、記録学習の状態) ディスクの記録学習の状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02 =異常

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
32	フォーマット実行	DRV:FMT:∗	ACK:DRV:FMT:∗;	DRV:FMT:∗; フォーマットを実行します。(ディスクのみ) (「∗」部分に実行したいフォーマット番号を入力します:「BD/DVD フォーマット状態」(➜139)) QST:FMT:∗; 実行後のフォーマット状態を表示 [∗= フォーマットの状態:「BD/DVD フォーマット状態」(➜139)]
33	ファイナライズ実行	DRV:FNZ:1	ACK:DRV:FNZ:1;	ファイナライズを実行します。 QST:FNZ:∗; 実行後のファイナライズの状態 [∗= ファイナライズ状態:「BD/DVD ファイナライズ状態」(➜139)]
34	入力切換:強制 L1 選択	SAV:LN1:1	ACK:SAV:LN1:1;	入力切換を L1 に切り換えます。
35	HDD/BD W 録画開始	REC:WST:1	ACK:REC:WST:1;	HDDとディスクに外部入力から同時に記録します。
36	自動チャプターモード解除	SRC:CHP:0	ACK:SRC:CHP:0;	自動チャプターモードを「切」にします。
37	自動チャプターモード設定	SCT:CHM:∗	ACK:SCT:CHM:∗;	自動チャプターモードを設定します。 (外部入力(L1) 録画時) (「∗」部分に実行したいチャプター設定を入力します) QST:CHM:∗; 実行後のチャプター設定の状態 [∗= 自動チャプター設定状態:「チャプター設定状態」(➜140)]

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
RAM	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— （ディスクによる）	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
-R	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は記録できません。
-RW	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は記録できません。

本機で記録できるようにする（フォーマット）(続き)

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 スタート **を押す**

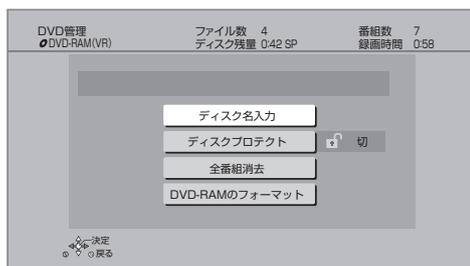
2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

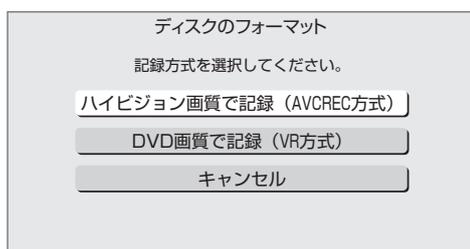
4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。**（➜ 手順 6 へ）**

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例）RAM

6 画面の指示に従って、フォーマットする

●DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）RAM

お知らせ

●**フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**

●SD「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。

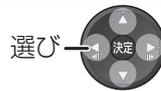
●-R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜145）を行うと記録方式を変更できません。

●RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。

●本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。

●HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」（➜157）で行ってください。

●フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力／ディスクプロテクト／全番組消去

基本操作 選び 決定する

BD-RE BD-R RAM -R -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

5 操作したい項目を選んで、決定 を押す
（➜ 下記へ）

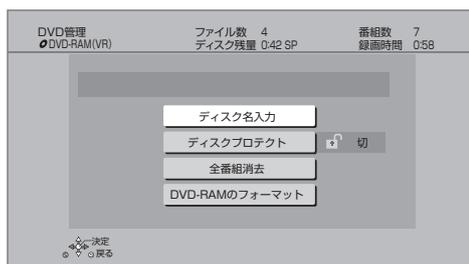
例）RAM

ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

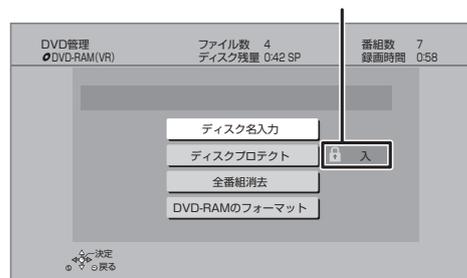
☞ 文字入力については（➜125）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

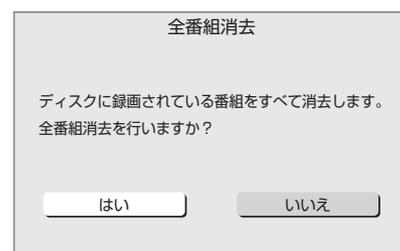
-R(V) -RW(V)
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

プロテクト設定すると「🔒 入」が表示

全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

例）RAM

❻ 「はい」を選び、決定 を押す

❼ 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- BD-RE RAM 写真は消去されません。
- BD-R -R(AVCREC) -R(VR) 消去しても残量は増えません。

必要なとき

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

VR方式

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズすると

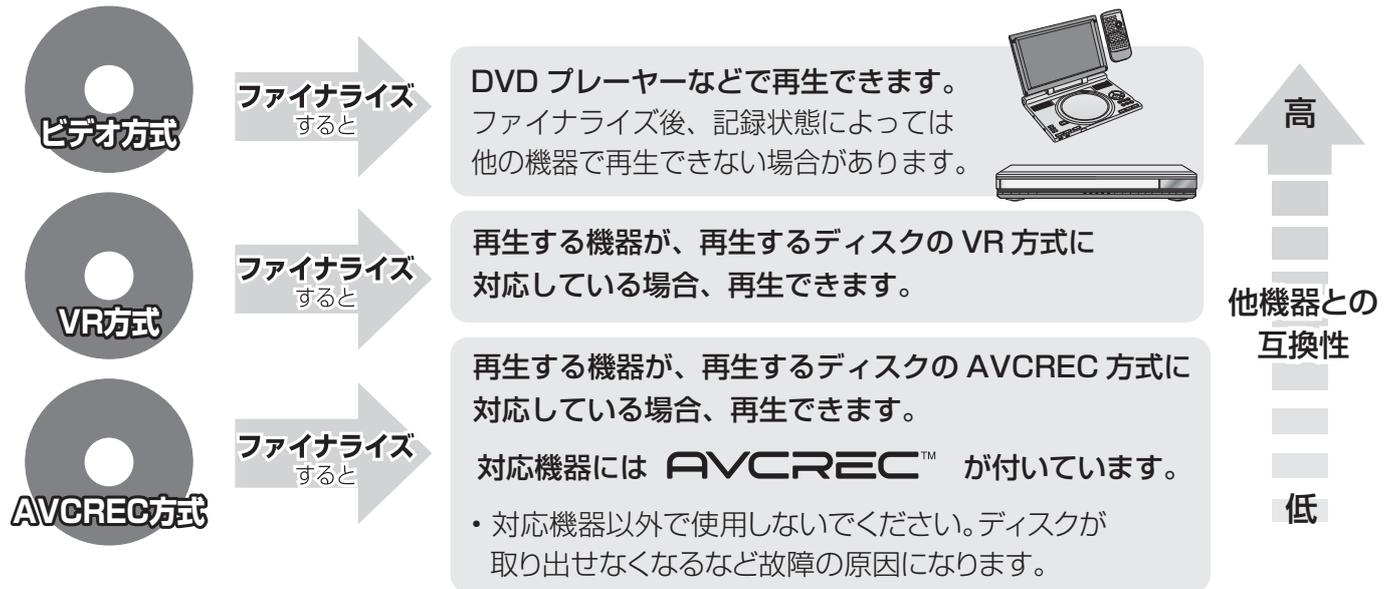
再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高

他機器との互換性

低

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

145 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❻ お好みの背景を選び、決定 を押す

- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➜76「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

❻「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW(V)** フォーマット（➜143）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW(VR)**「ファイナライズ解除」（➜ 下記）を行うと、記録や編集ができます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

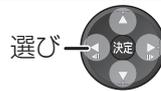
ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

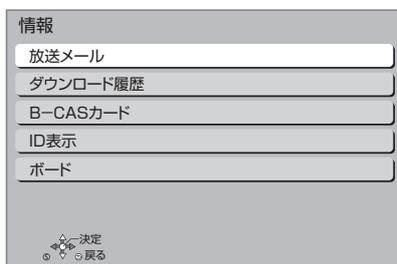
いろいろな情報を見る（情報）

1 スタート **を押す**

2 「情報・診断コード」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

（診断コードを見る場合 ➜209 手順③へ）

3 「情報」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、決定 を押す

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、決定 を押す

お知らせ

●ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。

●メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① **[サブ メニュー]** を押す

②「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す

③ 暗証番号 (➜157「HDD番組の視聴制限」) を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

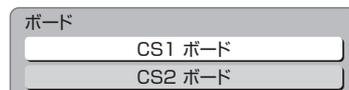
その他の情報を見るには

●**[青]**：本機のソフト情報を表示

●**[赤]**：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

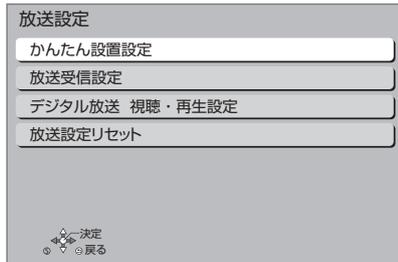
110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、決定 を押す

❷ **確認したい情報を選び、 を押す**

放送設定を変える（放送設定）

1 スタート を押す

2 「放送設定」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、決定 を押す
- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定（➜196）

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定
使わない放送を操作できないようにします。
- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS 【使う】

チャンネル設定（➜152）

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定
「かんたん設置設定」（➜196）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認
番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】
「入」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。
- 番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。
- 2012 年 5 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです。

地域設定
データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除
- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定（➜150）

地上デジタル

アッテネーター 【切】

物理チャンネル選択
物理チャンネル（➜150）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源 【入】

アンテナ出力 【入】
本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数
（放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください）

B-CAS カードテスト
NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

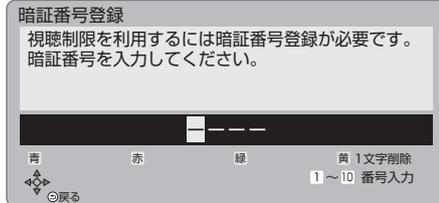
デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。
XP、SP、LP、EP、FR モードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

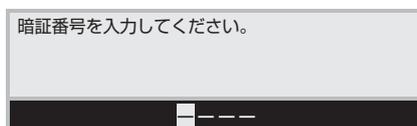
- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】

「アクトビラ」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象 【すべて】

デジタル放送で [**チャンネル ∧,∨**] を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(**➜148**) をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(**➜157**) を行ってください。

放送設定を変える（放送設定）(続き)

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、[サブ メニュー] を押して、「デジタル放送メニュー」の「アンテナレベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 [スタート] **を押す**

2 「放送設定」を選び、[決定] を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「放送受信設定」を選び、[決定] を押す

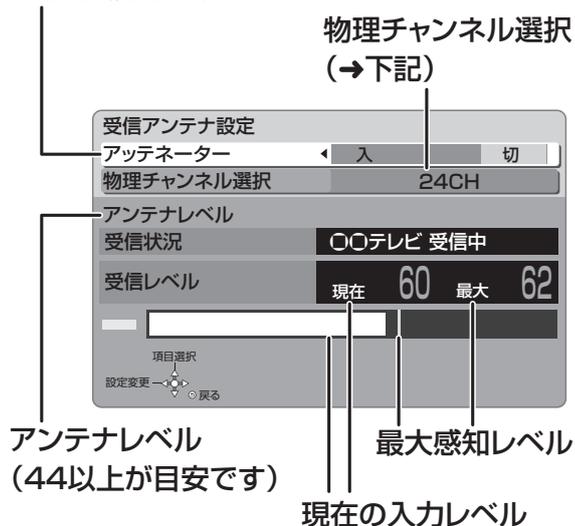
4 「受信アンテナ設定」を選び、[決定] を押す

5 修正したい放送を選び、[決定] を押す

(➜ 右記または 151 ページへ)

地上デジタル

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押すと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(➜197) をやり直してください。
  - ･アッテネーターを切り換える
  - ･ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す

  状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

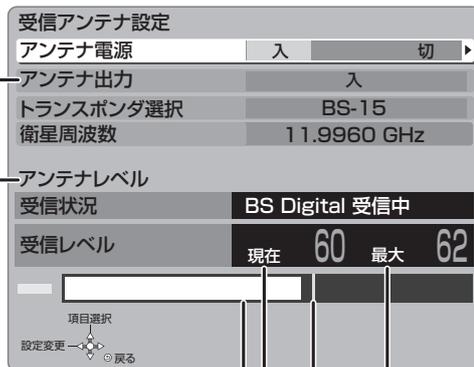
衛星

150 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力
- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS·110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

アンテナレベル（50以上が目安です）
最大感知レベル
現在の入力レベル

「他の衛星受信中」の表示が出たとき
BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

受信チャンネルを修正する

1 スタート **を押す**

2 **「放送設定」を選び、決定 を押す**
- ●表示がない場合は［|◀◀］［▶▶|］でページを切り換えてください。

3 **「放送受信設定」を選び、決定 を押す**

4 **「チャンネル設定」を選び、決定 を押す**

5 **修正したい放送を選び、決定 を押す**
（BS、CS1、CS2 の場合 ➜153 ページへ）

6 （地上デジタルのみ）
修正する方法を選び、決定 を押す
（➜ 右記または 153 ページへ）

地上デジタル　初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 **お住まいの地域を選び、決定 を押す**

8 **受信帯域を選び、決定 を押す**

9 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル　再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 正しく設定されていることを確認したあと、
戻る **を押す**

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

152 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BSプレミアム	テレビ
4	141	BS日テレ	テレビ
5	151	BS朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

152 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行（Po）を選び、決定 を押す

7 表示チャンネル（CH）を修正し、戻る を押す

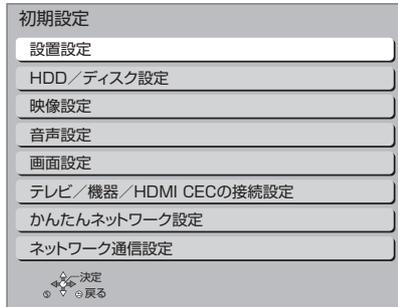
8 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [緑] を押す
② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、[決定] を押す
③ 入れ換え先の行（Po）を選び、[決定] を押す
④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

本機の設定を変える（初期設定）

1 初期設定 （ふた内部）**を押す**

2 メニューを選び、決定 を押す

3 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 設定内容を変更する

設置設定　【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕　【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜163）　【リモコン 1】

時刻合わせ

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に時刻を修正しますので、通常は時計合わせの必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナ線の接続を確認してください。

クイックスタート設定

クイックスタート　【切】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。（テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります）

●待機時消費電力は増えます。

●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません）

●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。

・「HDMI CEC 録画待機」**(➜159)**：「入」

・「i.LINK 機器モード設定」**(➜160)**：「TSモード2」

・「宅内リモート接続機能」**(➜162)**：「入」

・「DLNA サーバー機能」**(➜162)**：「入」

・「ドアホン・センサーカメラ接続」**(➜162)**：「入」

「切」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート **(➜上記)** が「入」時の設定をします。

●「省エネ」の場合、「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

●「標準」の場合、テレビと HDMI 端子で接続時は、無信号自動オフ機能が働かない場合があります。

エコ待機モード 【モード 1】

[エコ待機] を 3 秒以上押して電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。
· 時刻
· DVD-Video の視聴制限
· BD-Video の視聴可能年齢
· HDD 番組の視聴制限
· かんたんネットワーク設定
· LAN 接続形態
· 無線設定
· IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定
●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。(➔212)

システム機能

自動電源 ON 【切】

電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

自動再生 【切】

本機の電源を入れると HDD やディスク、SD カードの番組を自動的に再生します。
●ディスクによっては、正しく動作しない場合もあります。

タイトルリピート 【切】

再生したタイトルを自動的にリピート再生します。

自動チャプター作成

自動チャプターモード 【切】

外部入力（L1）録画時に自動的にチャプターを作成します。

チャプター間隔 【15 分】

「自動チャプターモード」が「入」時に、自動的にチャプターを作成する間隔を設定します。

録画一覧再生位置 【通常】

番組一覧で最初に選択される番組を設定します。

スクリーンセイバー 【入】

「切」に設定すると、市販のディスク停止時などに表示されるスクリーンセイバー(右記)を黒い画面に切り換えます。

ディスクへの録画機能 【無効】

ディスクへの直接録画が可能になります。
「有効」に設定すると、登録された予約録画が実行されません。

タイマー機能

指定された時刻に本機の電源を自動で「入」または「切」にします。

電源 ON 設定 / 電源 OFF 設定 【切】

電源 ON 設定、電源 OFF 設定を有効または無効にします。

設定時刻

電源を「入」または「切」にする時刻を設定します。

毎週予約設定 【しない】

電源を「入」または「切」にする曜日を設定します。

HDCP AUTO 【切】

HDCP 非対応の機器に著作権フリーの番組を出力します。

HDCP 非対応の機器を使用中に誤って、HDCP AUTO を「切」に変更した場合、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
　· 本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“11 FHA”が表示されるまで [▶] を数回押す
③ [決定] を 3 秒以上押す
　·「入」に設定されます。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

HDD/ ディスク設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで［決定］を押すと、[1] ～ [10] で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

- 「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定 【ステレオ】

外部入力から録画時の音声の種別を選びます。

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R(V) -RW(V)

ぴったり録画の音声設定 【ステレオ】

ぴったり録画（➜ 100）で記録する外部入力からの音声の種別を選びます。

- 「二重音声」にすると、「二重音声記録時の音声選択」（➜ 下記）で選択した音声のみを記録します。

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R)】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】
高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター 【入】
デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。
●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質 【モード 1】
「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 取り込み画質 【高画質モード】
本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

HDD 番組の視聴制限※1 【無制限】
年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。（年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります）

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去
番組をすべて消去します。

全写真消去
写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット
HDD の初期化を行います。

※1　暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※2　「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10] で言語番号（➜170）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

映像設定　【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード　【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生　【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター　【切】

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声設定　【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮　【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD に有効

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD　【Bitstream】
DTS/DTS-HD　【Bitstream】
AAC　【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）　【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換　【切】

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。

- 96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
- 以下の場合、48 kHzに変換されます。
  - BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」（➜左記）：「入」
  - BD-V 192 kHz 以上の信号
  - 著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス　【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」（➜左記）が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - AVCHD 再生時
  - BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

DV 入力時の音声設定　【ステレオ 1】

i.LINK（DV入力 /TS）端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下のようになります。

- 「ステレオ 1」は、録画時の音声（L1、R1）
- 「ステレオ 2」は、編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）
- 「MIX」は、ステレオ1とステレオ2の音声
- 二重放送の音声を記録する場合は、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➜156）の「二重音声記録時の音声選択」で音声をあらかじめ選んでください。

音声ディレイ　【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [HDMI端子と接続して、「HDMI出力解像度」(➜160)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ 【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

SD カード LED 制御 【常時点灯】

SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。

- 「カード入点灯」は、電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。

テレビ / 機器 /HDMI CEC の接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定 【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法 【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

HDMI CEC 設定

HDMI CEC 制御 【入】

HDMI CEC に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

HDMI CEC 録画待機 【切】

当社製テレビの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜154)は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携 【入】

ビエラリンク (HDMI) Ver. 3 以降に対応した当社製テレビとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ 【入】

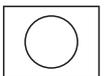
ビエラリンク (HDMI) Ver. 4 以降に対応した当社製テレビと接続時、当社製テレビの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、当社製テレビの電源「切」時に、「クイックスタート」(➜154)が「切」のときと同じように動作します。
  当社製テレビの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト 【16:9】

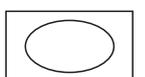
接続したテレビに合わせて設定します。

4：3　：4：3 標準テレビに接続しているとき

4:3 の映像は、そのまま表示

16：9　：ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16：9 フル：ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

HDMI 接続

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで［▶］を数回押す
③ ［決定］を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 【切】

［「HDMI 出力解像度」（➜上記）が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です］

BD-V AVCHD 映画など24p記録された素材を24p出力します。

●24p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されません。
●24p以外の素材は BD-V AVCHD の場合60iまたは60p で出力されます。

DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」（➜73）を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ 【スタンダード】

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

HDMI 音声出力 【入】

●テレビと HDMI 端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V 【オート】

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
・接続する機器が 7.1 チャンネル･サラウンドに対応している場合
・「デジタル出力」（➜158）が「PCM」の場合
・音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき
●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は 5.1チャンネルで再生します）
●DTS 音声は「切」にしても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

TV アスペクト（4:3）の設定

4：3テレビに接続時、16：9映像の映し方を選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像 【パン & スキャン】

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像 【レターボックス】

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

●DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定 【DV モード】

i.LINK（DV入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。

●「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」（➜154）は自動的に「入」になります。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜198）

ネットワーク通信設定 【 】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」(➜ 上記)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態 【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

●「無線親機」にすると、本機をアクセスポイントに設定することができます。

無線 / 無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

●「LAN 接続形態」(➜ 上記) が「無線」または「無線親機」時のみ有効

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

●「LAN 接続形態」(➜ 上記) が「無線」時のみ有効

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

●「LAN 接続形態」(➜ 上記) が「無線」時のみ有効

●「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

WPS 方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。（最大 8 台まで）

●「LAN 接続形態」(➜ 上記) が「無線親機」時のみ有効

設定変更

●「LAN 接続形態」(➜ 左記) が「無線親機」時のみ有効

ネットワーク名（SSID）

暗号化キー

無線方式

接続する子機が802.11n/aに対応している場合は、無線方式は 802.11n/a（5 GHz）を選択することをお勧めします。ただし、無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の取扱説明書をご覧ください。

設定リセット

本機が無線親機のときの設定をリセットします。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。

●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。

●「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

●「IP アドレス自動取得」(➜上記) を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(➜161) を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅内からの操作設定

宅内リモート接続設定 (➜166)

宅内リモート接続機能 【切】

「入」にすると、「クイックスタート」(➜154) と「DLNA サーバー機能」(➜ 下記) は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

DLNA サーバー設定 / スカパー！HD 録画設定 (➜165)

DLNA サーバー機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜154) は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「宅内リモート接続機能」(➜上記) は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新 【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
  (更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したものをご使用ください。

プリンター検索

- プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

ドアホン・センサーカメラの接続設定 (➜167)

ドアホン・センサーカメラ接続 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(➜154) は自動的に「入」になります。

ドアホン録画
センサーカメラ録画

機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。
表示される番号は、「LAN 接続形態」(➜161) の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」: 背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」: 内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 初期設定（ふた内部）**を押す**

2 **「設置設定」を選び、決定 を押す**

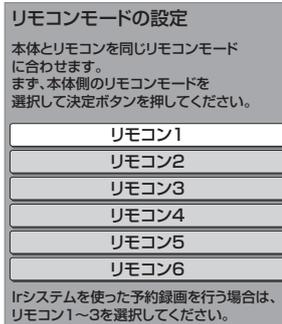
3 **「リモコンモード」を選び、決定 を押す**

4 **「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定 を押す**

リモコンモードの設定

本体とリモコンを同じリモコンモードに合わせます。
まず、本体側のリモコンモードを選択して決定ボタンを押してください。

リモコン1
リモコン2
リモコン3
リモコン4
リモコン5
リモコン6

Irシステムを使った予約録画を行う場合は、リモコン1～3を選択してください。

リモコン側のモードを設定する

5 1あ@.～6はMNO（ふた内部）**のいずれかを押しながら、決定 を 3 秒以上押したままにする**

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. リモコンの数字ボタン ○ と決定ボタンを同時に３秒間押し続けてください。リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを押し続けてください。（約３秒）

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

6 **リモコンを本体に向けて、決定 を 3 秒以上押す**

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

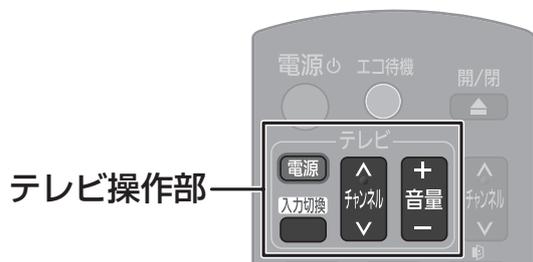
7 決定 **を押す**

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム（➜183）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

設定すると、リモコンのテレビ操作部でテレビの操作ができます。

戻る を押しながら、[1] ～ [10]（ふた内部）を使って、2 桁のメーカー番号（➜ 下記）を入力する

例）01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

- リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
- 番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01, 10, 22, 23, 24
アイワ	18
NEC	06, 15
三洋	07, 16
シャープ	02, 11, 21
ソニー	03, 17
東芝	04
パイオニア	13
ビクター	14
日立	05, 20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19
三菱	08, 12, 25

お知らせ

- 当社製テレビの場合、「24」に設定すると、テレビ操作部の [**入力切換**] で、入力に加え、テレビの放送も切り換えることができる場合があります。切り換えることができないときは「24」以外に設定してください。
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- [1]～[12] を使ってテレビのチャンネル変更はできません。テレビ操作部の [**チャンネル ∧,∨**] をお使いください。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 /CATV セットトップボックス / スカパー！HD 対応チューナーなどと接続する

DLNA サーバー設定 /
スカパー! HD 録画設定

1 初期設定（ふた内部）**を押す**

2 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

3 「DLNA サーバー設定 / スカパー! HD 録画設定」を選び、決定 を押す

4 「DLNA サーバー機能」を選び、決定 を押す

5 「入」を選び、決定 を押す

- レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。(➜ 右記)
- 「クイックスタート」(➜154) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

6 「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す

7 「手動」または「自動」を選び、決定 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
  (「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで [決定] を押してください。)
- 「手動」の場合 (➜ 右記手順 8 へ)

左記手順 7 で「手動」を選んだ場合

8 「機器一覧」を選び、決定 を押す

9 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す

10 「アクセス許可」を選び、決定 を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

① 手順 9 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 7 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

「レート変換モード」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。

① 手順 3 のあと「レート変換モード」を選び、[決定] を押す
② 「オート」「入」または「切」を選び、[決定] を押す

接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順3のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
② 項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更：あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更：文字入力画面から入力します。(➜125)

DLNA サーバー機能を使用しないときは

手順 5 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー! HD対応チューナーやCATVセットトップボックスから録画または予約録画をする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
  機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。
- スカパー! HD 対応チューナーから予約録画する場合、「ディスクへの録画機能」(➜155) を「無効」に設定してください。

ネットワーク連携する機器の設定をする（続き）

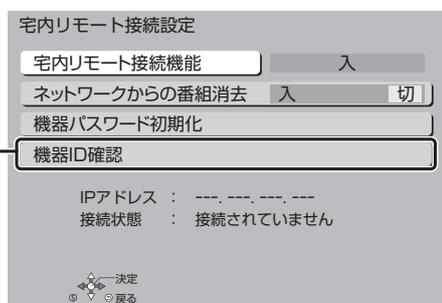
パソコンと接続する

宅内リモート接続設定

1 初期設定（ふた内部）**を押す**

2 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

3 「宅内リモート接続設定」を選び、決定 を押す

4 「宅内リモート接続機能」を選び、決定 を押す

機器 ID：
機器を特定するための番号です。

5 「入」を選び、決定 を押す

☞「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続（➜190 ～ 192）、「IPアドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」（➜161）を確認してください。

☞ 機器パスワードを初期化するには
① 手順 3 のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す
②「する」を選び、[決定] を押す

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 3 から 7 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 初期設定 **(ふた内部）を押す**

2 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

3 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、決定 を押す

4 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、決定 を押す

5 「入」を選び、決定 を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(➜157) をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

6 「〈新規登録〉」を選び、決定 を押す

7 「する」を選び、決定 を押す

- 登録が正しく完了したら “登録が完了しました。” と表示され、本体表示窓に “ ” が点灯します。
- ドアホンやセンサーカメラは最大５台まで登録できます。

「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 5 で「切」を選ぶ

- 手順 3 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

登録機器の詳細情報を確認するには

手順 3 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
  詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器の登録を削除するには

① 手順 3 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
② 「登録削除」を選び、[決定] を押す
③ 「する」を選び、[決定] を押す

機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約 3 分待って、操作を行ってください。（登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 7 を行ってください）

同時操作について

表内の操作は「ディスクへの録画機能」(➔155)が「無効」時のものです。
「有効」に設定されていると、予約録画できません。

録画中の同時操作

(○:できる　×:できない)

録画状態			再生				HDDの編集※1	ダビング	
放送/入力	録画先	録画モード	HDDの番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
地上D BS CS	HDD	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	○	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
		1.5~15倍録	○※2※3	×	×	×	○※3	×	×
	DVD	1.5~15倍録	○※2※3	×	×	×	○※3	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※2	×	×	×	○	×	×
外部入力	HDD BD DVD (AVCREC)	1.5~15倍録	○※2	○※4	×	○※4	○	×	×
	DVD (VR)	XP、SP、LP、EP、FR	○※2	×	×	×	○	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×
DV入力	HDD	1.5~15倍録	×	×	×	×	×	×	×
スカパー! HD CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○※5	×

●「外部入力(L1)取込」「DVおまかせ取込」中は同時操作はできません。
●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1　実行できる編集 (➔74～80)(ただし、録画モード変換はできません)
※2　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。
※3　HDDとディスクに1.5～15倍録で同時録画中は、再生や編集ができません。
※4　HDDに録画中のみ。
※5　1倍速ダビングはできません。

ダビング中の同時動作

（○：できる　×：できない）

ダビングの種類	視聴	予約録画の実行	再生				HDD の編集※6
	放送中の番組		HDD の番組	録画ディスク	BD ビデオ・AVCHD	DVD ビデオ	
高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×※7	×※7	×※7	○
1 倍速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○※8	○※9	×	×	×	○※9
ファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○

※6　実行できる編集（➜74 ～ 80）（ただし、録画モード変換はできません）

※7　HDD 番組を複製中は、再生できます。

※8　スカパー！HD や CATV の番組の予約録画、外部入力の予約録画は実行できません。

※9　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

DLNA 機能の同時操作

（○：できる　×：できない）

本機の操作 ＼ クライアント側の操作	ビデオを見る	放送を見る	写真を見る
HDD・録画ディスク・DVD ビデオ再生中	○	○※10	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○※11	×	×
1 番組録画中	○※12	○※12※13	○
複数番組録画中	○※12※13	○※12※13※14	×
LAN 経由（スカパー！HD・CATV）で録画中	×	×	×
高速ダビング中	○※11	×	×
1 倍速ダビング中	×	×	×
アクトビラのネットワーク使用中	×	×	×

※10　本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※11　「レート変換モード」（➜162）が「オート」または「入」の場合、ビデオを見ることができないときがあります。

※12　ディスクに DR モード以外で録画中は、DLNA 機能はできません。

※13　本機側で番組の再生が始まると、DLNA 機能はできません。

※14　本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

ディスクトレイをロックする(ロックモード)

下記の設定を行うと、本体のディスクトレイの開閉を無効にできます。

1 **[決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す**

・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

2 **本体表示窓に “04 PRG” が表示されるまで [▶] を数回押す**

3 **[■停止] を3秒以上押す**

・本体表示窓に“10 OCL”が表示されます。

4 **[決定]を押す**

●ロックモードを解除するには上記と同じ操作を行ってください。

お知らせ

●ロックモードは本機にディスクが入っているときのみ設定することができます。

●ロックモード中は、RS-232C 制御(➜134)でもディスクトレイを開くことはできません。

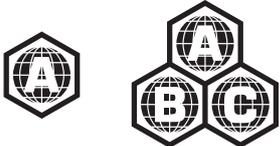
●電源コードを抜いても、設定は保持されます。

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。(➜156)

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

ディスク	内容	
BDビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVDビデオ 	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む) **写真が記録されたCD-RやCD-RW（JPEGフォーマット記録ディスク）**	
+R +R DL（片面2層） +RW	**他機器で番組やハイビジョン動画(AVCHD)、写真(JPEG)を記録したディスク** ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	**他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。 **-R -RW 写真（JPEG）を記録したディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cmディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークの付いたDVD-RAMディスク(6X以上の 高速記録対応)の記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せないDVD-RAM（TYPE1）
●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD ●ビデオCD ●SACD ●SVCD ●DVDオーディオ
●Photo-CD ●パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜143)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み**(➜97 ～ 99)**や再生**(➜61)**
- 録画した番組の持ち出し**(➜117)**
- 写真の再生**(➜107)**や取り込み**(➜110)**

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。

- **デジタルハイビジョンビデオカメラ**
- **SD ビデオカメラ**
- **デジタルカメラ**
- **携帯電話**
- **ポータブルテレビ（ビエラ・ワンセグ）**
- **デジタルメディアプレーヤー**

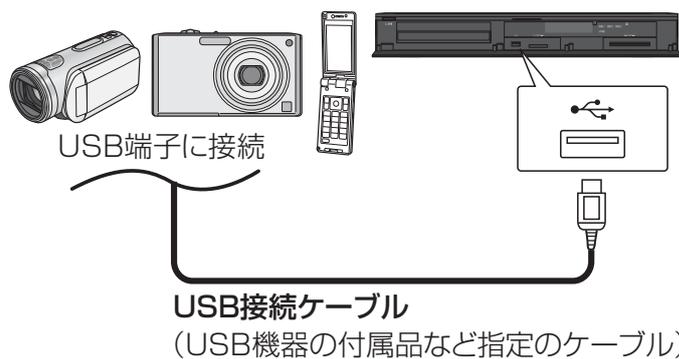
- 上記以外のUSB機器（USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB 電源を利用する機器など）については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➔97 ～ 99）
- 録画した番組の持ち出し（➔117）
- 写真の再生（➔107）や取り込み（➔110）

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体表示窓の“ ”（➔16）点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「個人情報リセット」（➜149）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

HDD（ハードディスク）

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

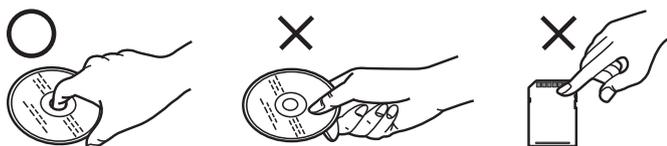
録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

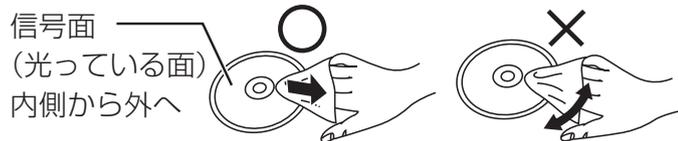
不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- **HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスク、カード

持ち方

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ·シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ·印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ·傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ·以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ·カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

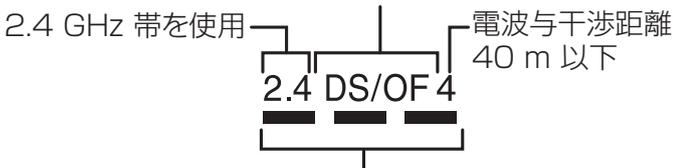
使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ **使用周波数帯**

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ **周波数表示の見方**

周波数表示は、本機背面（定格銘板）に記載しています。

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線使用上の注意

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）

※ 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間: 9時～17時30分（土曜・日曜・祝祭日は受付のみ）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■ **機器認定**

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線LANに以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 本機背面記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ **使用制限**

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  – 次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
    - 電子レンジ
    - デジタルコードレス電話機
    - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
  – 802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

接続 178 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。（本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください）
- 各機器の説明書もご覧ください。

設定 196 ページ

設定終了後に

「かんたん設置設定」「かんたんネットワーク設定」を行ったあと、以下の場合は、指定の設定を行ってください。

放送が受信できない

場合	設定
ふだん見ている番組が見られない場合	「チャンネル設定」を修正（➜152）

放送の映りが悪い

場合	設定
アンテナの入力レベルが正常か確認する場合	「受信アンテナ設定」を確認（➜150）
電波が強すぎて映像が不安定になる場合	「アッテネーター」を切り換える（➜150）

リモコンを使うと他機器が同時に動作する

場合	設定
複数の当社製機器を使う場合	「リモコンモード」（➜163）

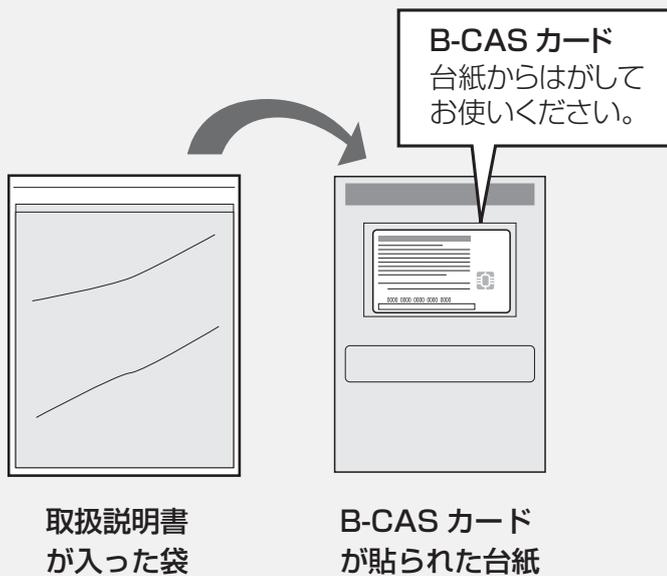
接続1 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への B-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- B-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

B-CAS カード
台紙からはがして
お使いください。

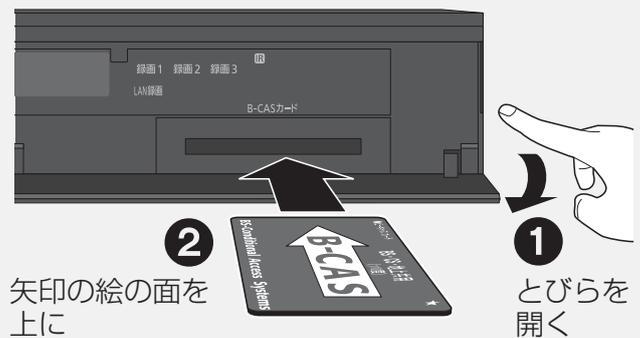
取扱説明書
が入った袋

B-CAS カード
が貼られた台紙

- B-CAS カードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（➜237）などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。（➜147）

お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、B-CAS カードを奥まで差し込む

お知らせ

- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
- B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。
電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル（別売）を使用した接続を紹介しています。
HDMI ケーブルで接続すると、高画質・高音質の映像と音声で楽しむことができます。

3D 映像を楽しむには…
3D 対応テレビとの接続は
HDMI 端子を使用してください

映像端子 でテレビと接続する場合は 185 ページ

お知らせ

●アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
●分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
●HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
当社製 HDMI ケーブル
品番：RP-CDHS10（1.0 m）、RP-CDHS15（1.5 m）、RP-CDHS20（2.0 m）、RP-CDHS30（3.0 m）など
●HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。
●接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

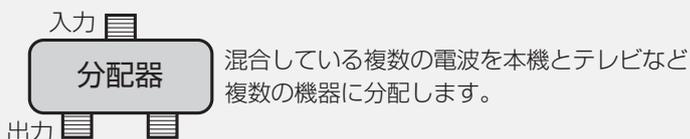
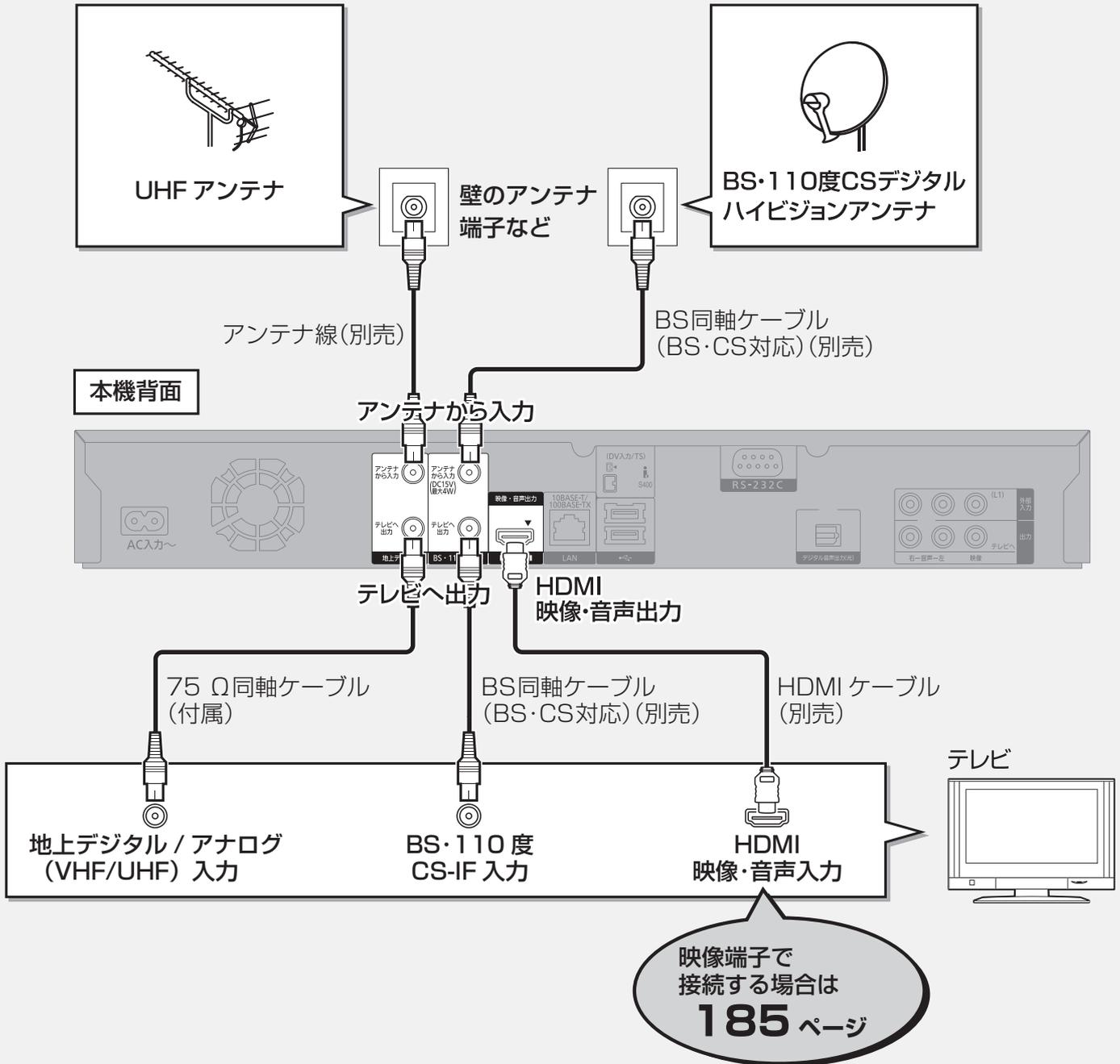
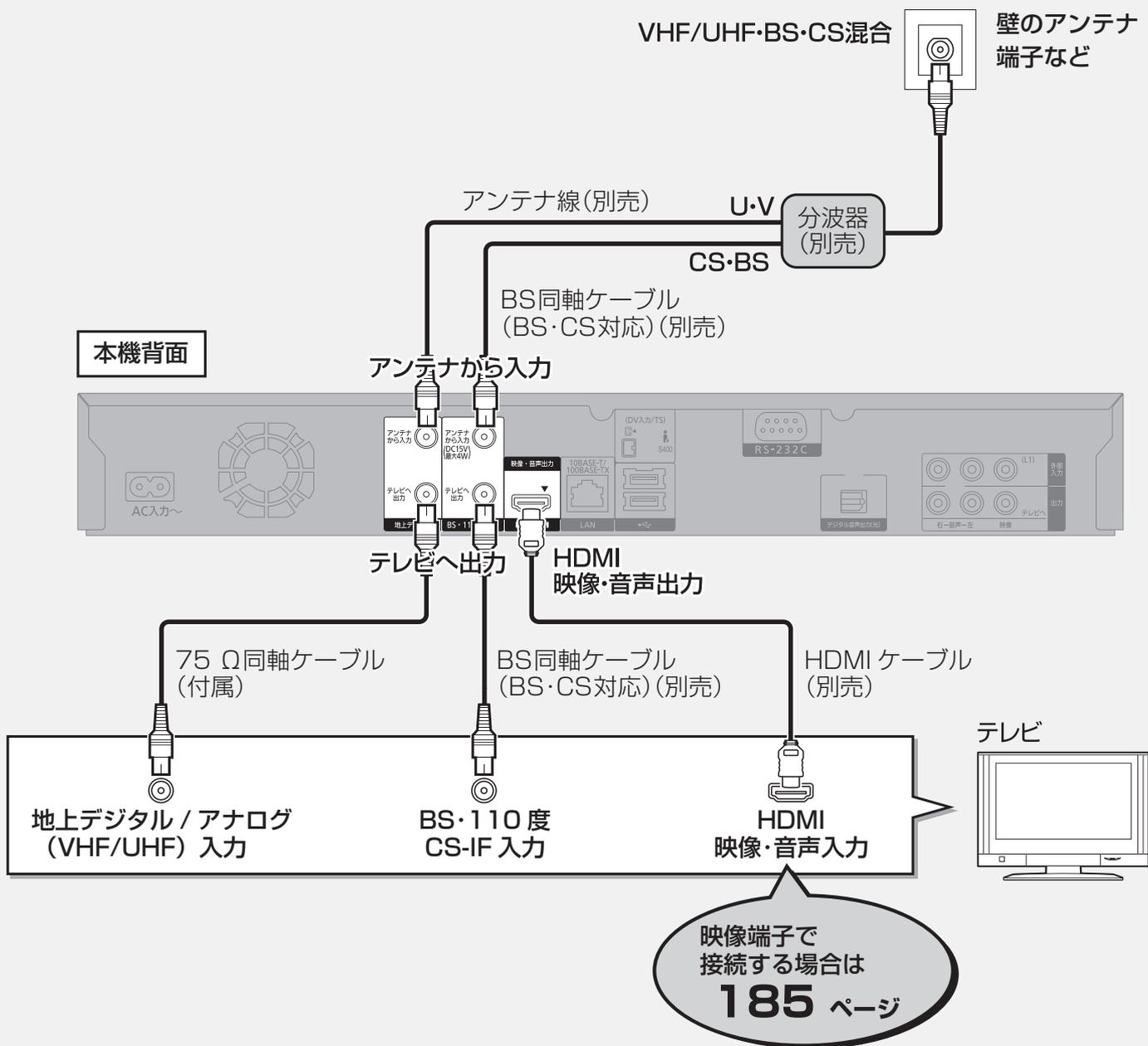
混合している複数の電波を BS･CS と UHF･VHF に分波します。

混合している複数の電波を本機とテレビなど複数の機器に分配します。

A アンテナ端子が別々の場合

映像端子で
接続する場合は
185 ページ

アンテナ端子がひとつの場合

映像端子で接続する場合は 185 ページ

CATV（ケーブルテレビ）を利用している場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式※の場合の接続を紹介しています。

※ CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。

ケーブルテレビ端子

ケーブル入力

セットトップボックス

分配器（別売）

アンテナ線（別売）

アンテナ線（別売）

本機背面

アンテナから入力

テレビへ出力

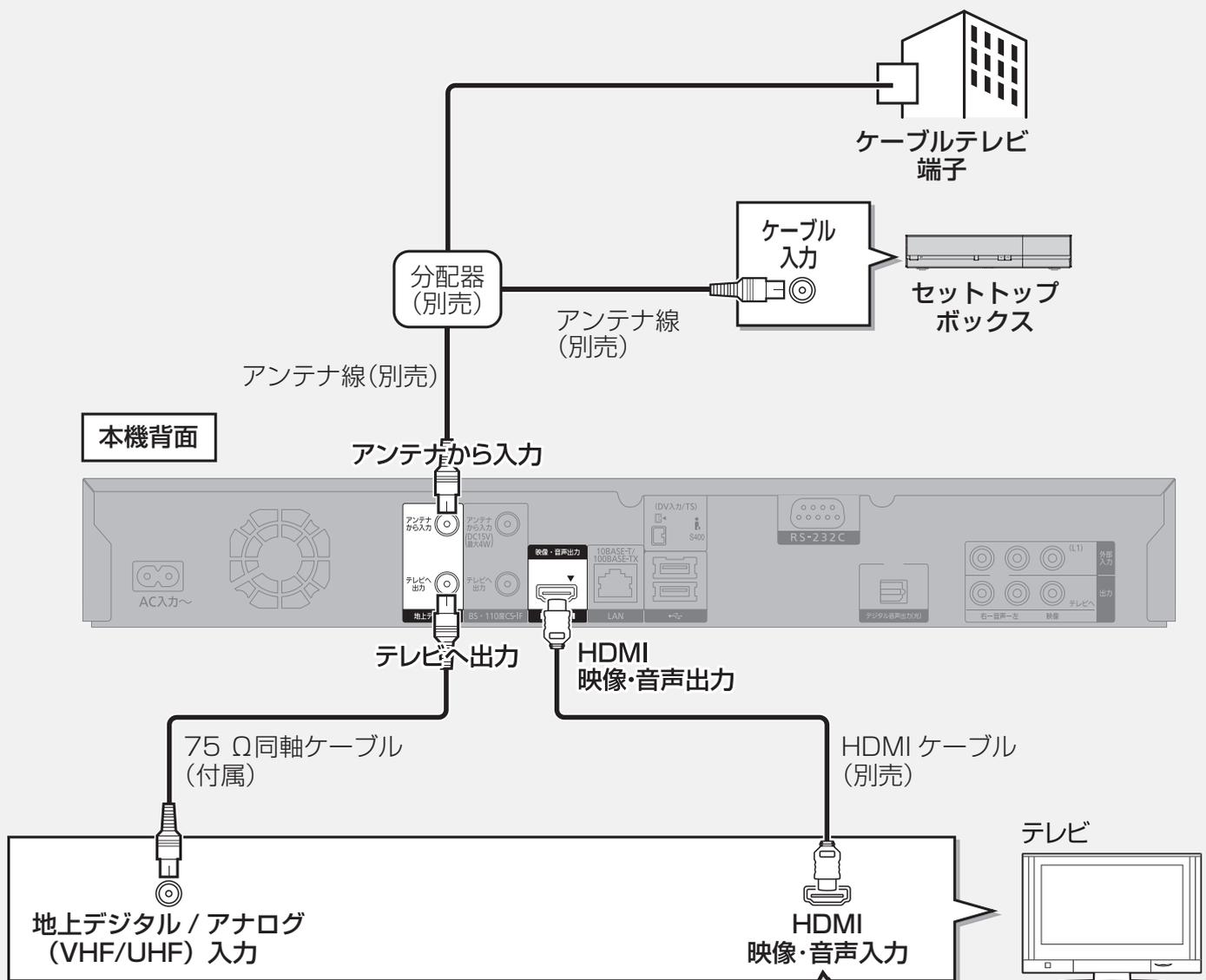
HDMI 映像･音声出力

75 Ω同軸ケーブル（付属）

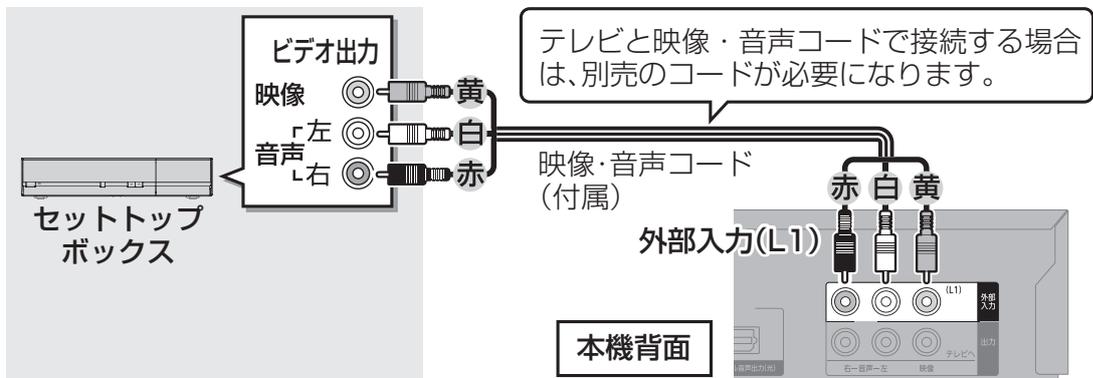
HDMI ケーブル（別売）

テレビ

地上デジタル / アナログ（VHF/UHF）入力

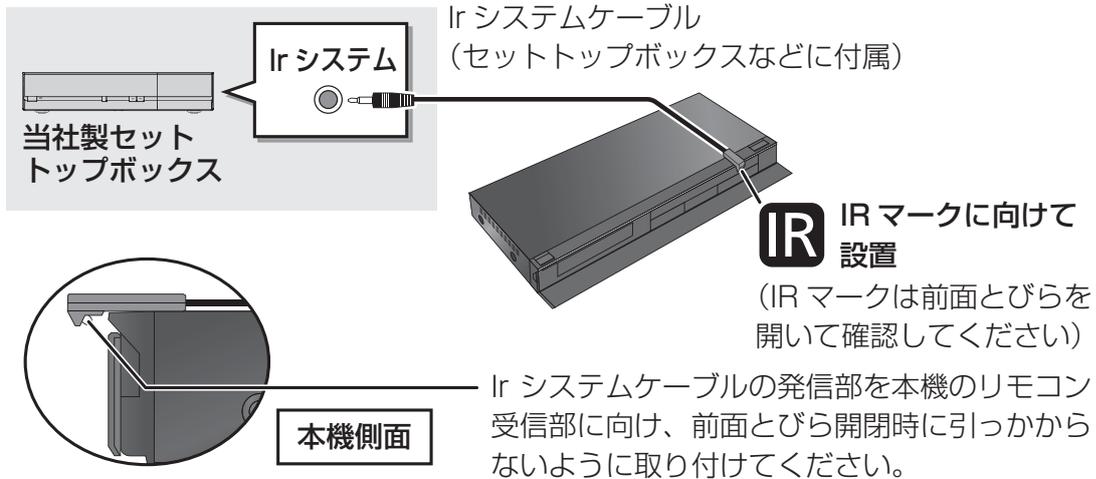
HDMI 映像･音声入力

- **BS・CS デジタル放送を録画するには**
  BS･CS デジタル放送を録画できる衛星アンテナをBS・110 度 CS-IF 入力端子に接続するか、183ページの接続を行ってください。

映像端子で接続する場合は 185 ページ

パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

映像・音声コードで接続する

CATV から連動して予約録画するために

上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、連動操作することができます。(CATV のIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません)

Ir システムケーブルの設置例

i.LINKケーブルで接続する

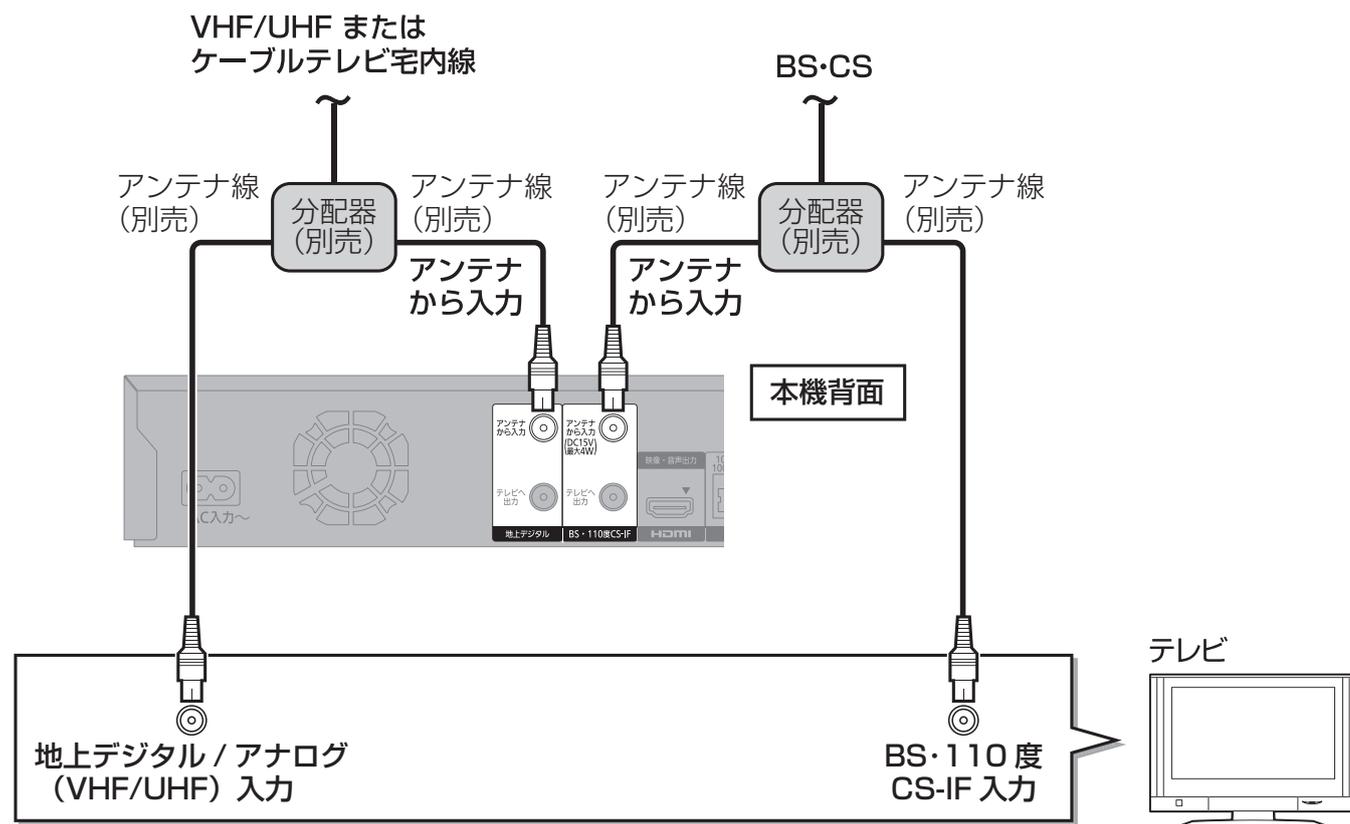
- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。(➔93)
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

LANケーブルで接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
- セットトップボックスがLANケーブルでの予約録画に対応している必要があります。
  接続方法は(➔190、191)

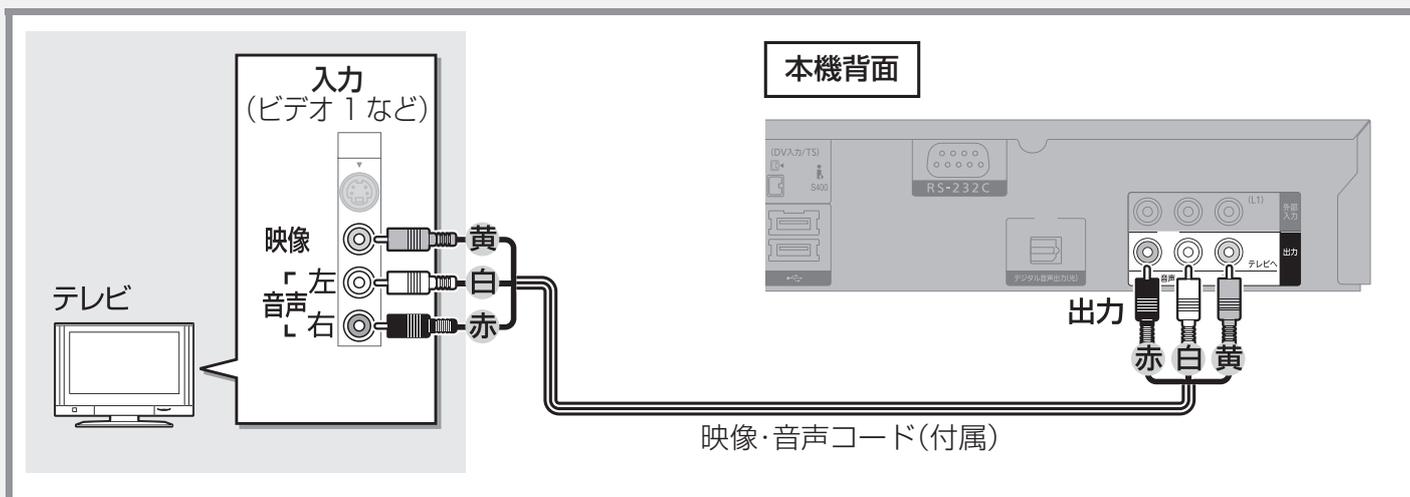
本機がエコ待機時にテレビを視聴する場合

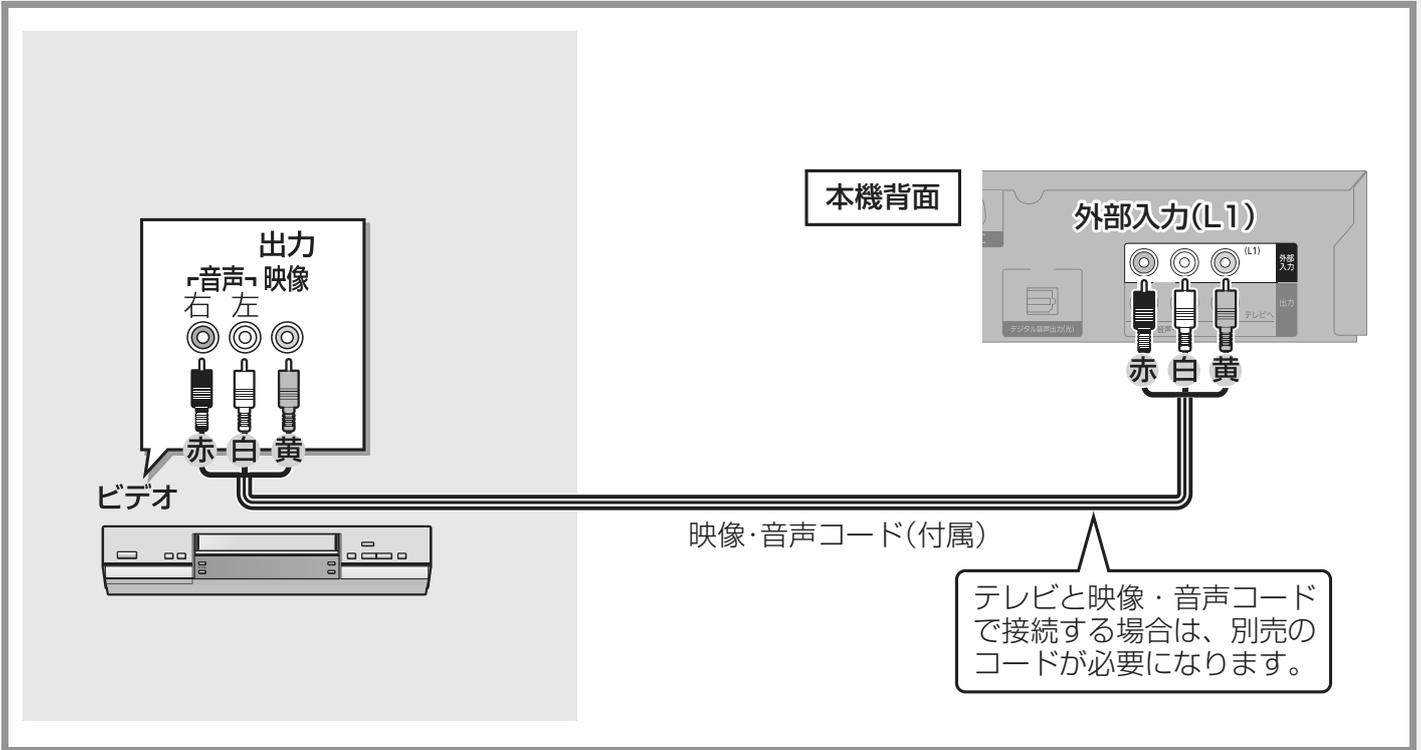
エコ待機で電源を切る（➜25）と、本機の待機時消費電力を少なくすることができます。
ただし、A B C の方法でアンテナ接続した場合、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。[「エコ待機モード」（➜155）が「モード 2」のとき]

エコ待機を使用してテレビの映像を映るようにするには、以下のようにアンテナ接続をしてください。

お知らせ

● 分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

映像端子でテレビと接続する

以下の端子を持つテレビに対応しています。

接続3 ビデオと接続する

●本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

接続4 アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係（➜229）

HDMI 端子で接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。
- HDMI CEC 機能に対応した当社製テレビ、アンプと接続すると連動操作が可能になります。

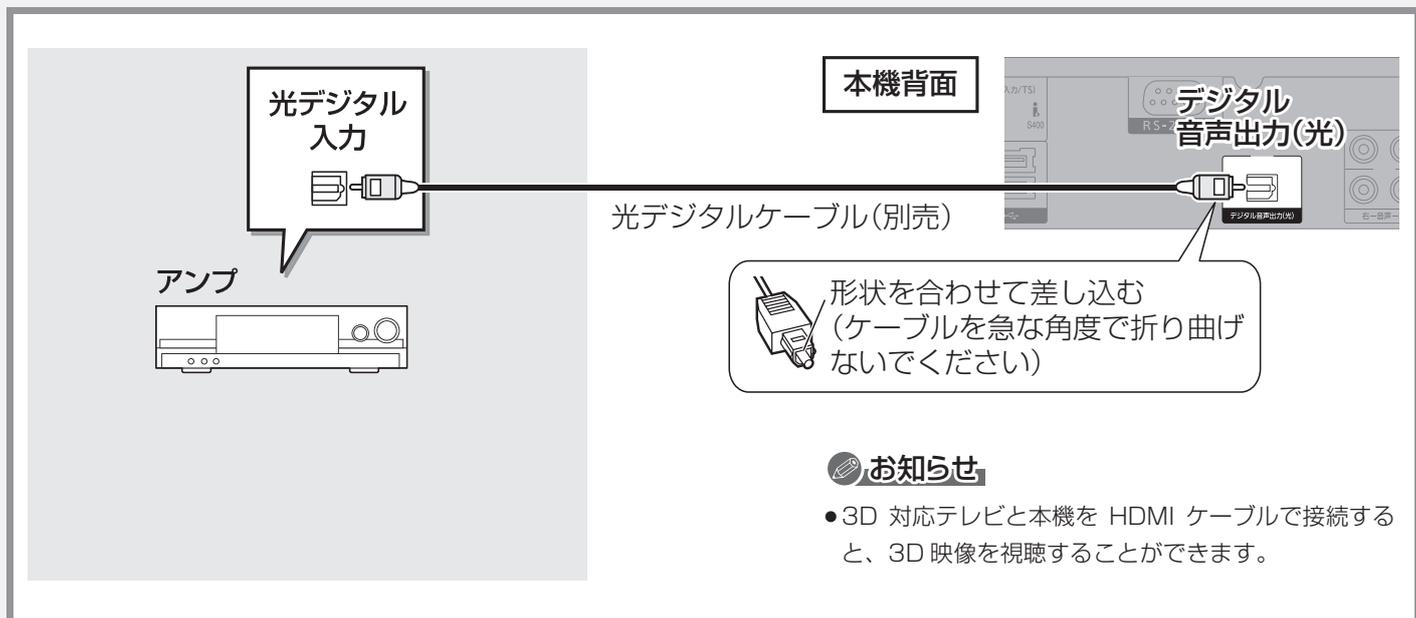
3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには

お知らせ

- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

デジタル音声端子で接続する

お知らせ

- 3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。

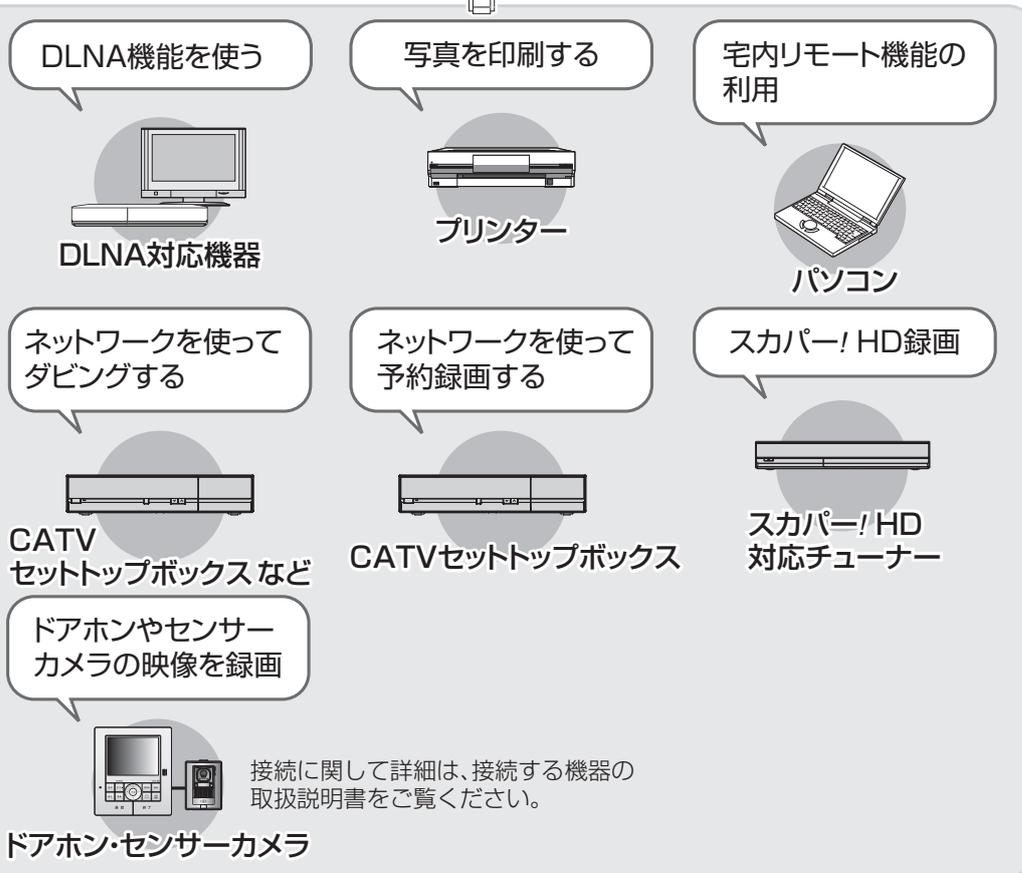
接続5 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、Ⓐ ～ Ⓓ の接続（➜190 ～ 193）と、かんたんネットワーク設定（➜198 ～ 203）を行ってください。

テレビでインターネットを楽しむ (インターネット使用)	アクトビラのサービスを楽しむことができます。(➜122 ～ 124)
1ヵ月の番組表や注目番組を受信する (インターネット使用)	1ヵ月の番組表や注目番組を受信できるようになります。 （2012 年 5 月現在、1ヵ月の番組表は WOWOW、スター・チャンネル、注目番組は NHK、WOWOW、スター・チャンネルのみ対応）
BD-Live 対応のディスクを楽しむ (インターネット使用)	特典映像の再生などさまざまな機能を楽しむことができます。(➜70)
デジタル放送の情報サービスの利用 (インターネット使用)	デジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。
自宅のパソコンから録画などの操作	家庭内ネットワークに接続されているパソコンなどから本機を操作して録画予約などができます。(➜131) ●宅内リモート接続設定（➜166）が必要です。
スカパー！HD 録画	スカパー！HD 対応のチューナーからハイビジョン番組をそのままの画質で録画できます。(➜106)
ネットワークを使って予約録画する	CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で録画できます。(➜95)
DLNA 機能を使う	DLNA 対応機器から本機の HDD にある番組などを再生することができます。また、本機から DLNA 対応機器の HDD にある番組などを再生することができます。(➜128) DLNA対応のモバイル機器へ持ち出し番組をネットワーク経由で転送することができます。(➜117)
ネットワークを使ってダビングする	HDD 内蔵の当社製テレビやセットトップボックスなどの HDD に録画した番組を、本機の HDD にダビングすることができます。(➜105)
写真を印刷する	本機で再生できる写真をプリンターで印刷できます。(➜112) ●ネットワークプリンターの接続設定（➜162）が必要です。
ドアホンやセンサーカメラの映像を録画	ドアホンやセンサーカメラからの映像を録画できます。(➜120) ●ドアホン・センサーカメラの接続設定（➜167）が必要です。

お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
  それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

- インターネットを使用するサービスや機能は、この接続では利用できません。191、192 ページの接続を行ってください。

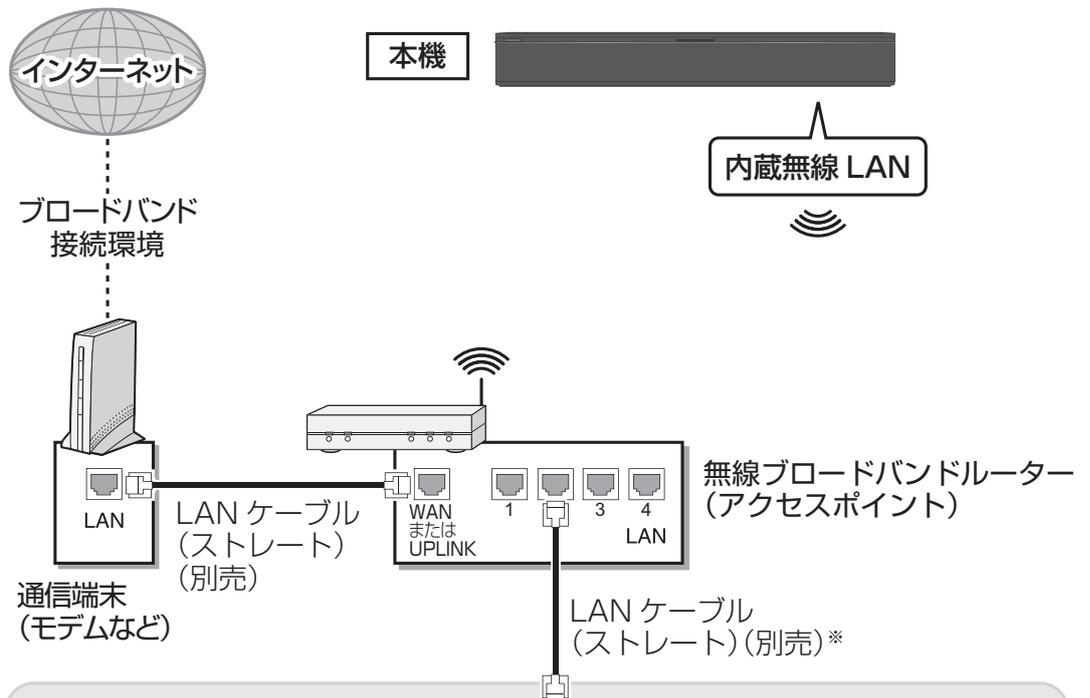
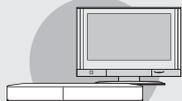
B

ハブまたはブロードバンドルーターを使ってLAN ケーブルで接続する

有線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

Ⓒ 無線ブロードバンドルーターを使って接続する

無線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

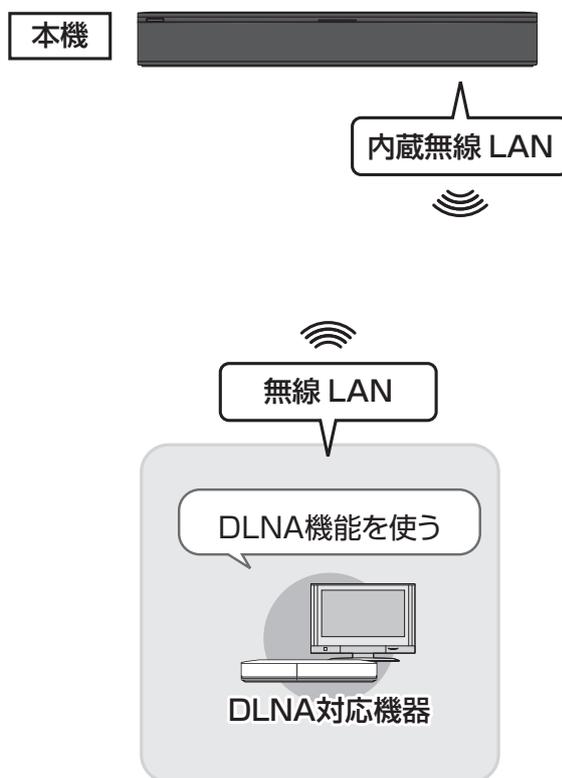
お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- スカパー! HD 対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使っての接続をお勧めします。（➜190、191）

無線ブロードバンドルーターを使わずに直接無線接続する

無線

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を経由せずに、各機器と直接無線LAN で接続することができます。

●この接続では、DLNA 機能のみ利用できます。

お知らせ

●無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

本機を操作できるパソコン（2012 年 5 月現在）

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 6.0 以上

ネットワーク機能を快適に利用するために

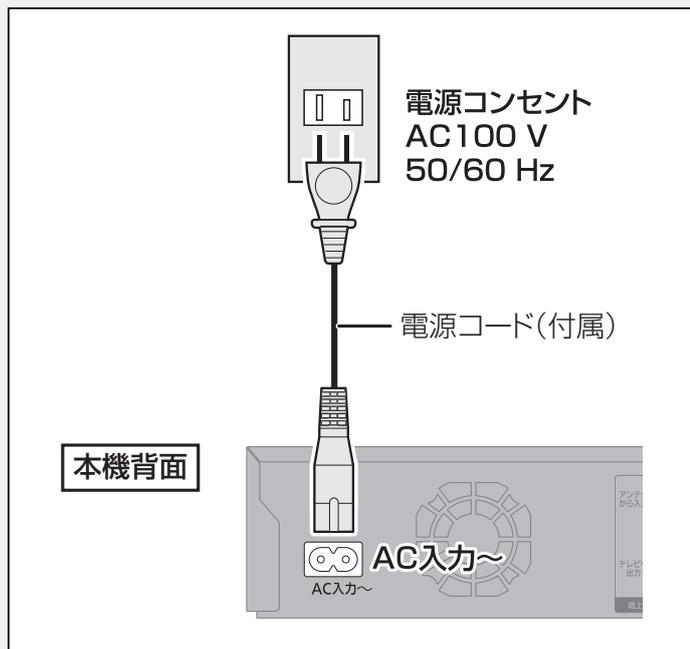
不正利用を防ぐために

- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

免責事項について

- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

長期間使用しないとき

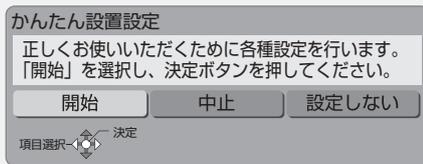
節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(電源「切」時の消費電力 ➜224)**

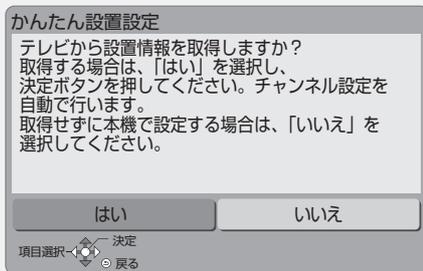
- 電源コードを抜いている場合：
  - ·自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
  - ·テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

かんたん設置設定をする

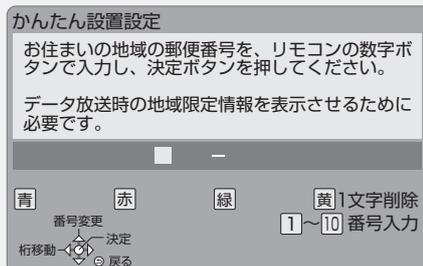
初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。
設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 リモコンの を押す

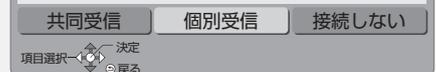
2 「開始」を選び、決定 を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

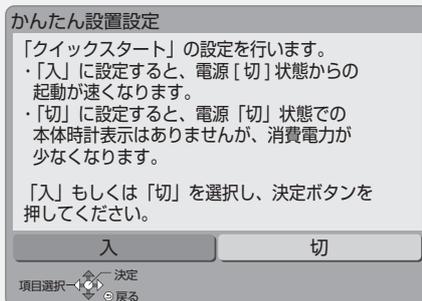
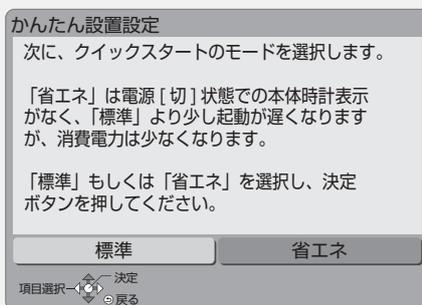
- ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビとHDMIケーブルで接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。

設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。

地上デジタル放送チャンネルの設定

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。（➜153「マニュアル」）

衛星アンテナ設定

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入（オン）」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定

「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ」を選んでください。

●「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。

●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、**［電源 ⏻］**以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。）

●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。

●クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビと HDMI 端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かないときがあります。

かんたん設置設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」(➜198) を行うことができます。

かんたん設置設定をやり直す

引っ越しをした場合や、設置後テレビ受信ができない場合など、以下の手順でかんたん設置設定をやり直すことができます。

❶ スタート を押す

❷「放送設定」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は ［⏮］［⏭］ でページを切り換えてください。

❸「かんたん設置設定」を選び、決定 を押す

お知らせ

●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、時刻合わせを行ってください。(➜154)

●テレビに映像が映らない場合は

・テレビの入力を確認してください。(➜25「本機の映像をテレビに映す」)

・接続を確認してください。(➜178 ～ 195)

・テレビの HDMI 端子に接続している場合は、以下の操作を行うと映像が映ります。

① **［決定］** と **［青］** と **［黄］** を同時に5秒以上押す

・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで、**［▶］**を数回押す

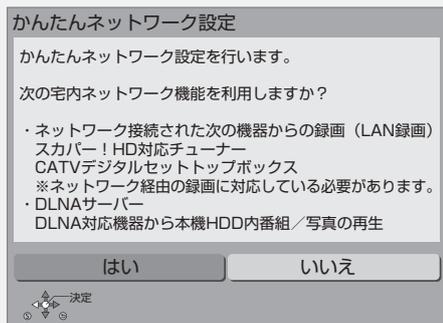
③ **［決定］** を 3 秒以上押す

設定を中止するには

［戻る］ を押す

設定2 かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」(➜196 ～ 197)のあと
または
「かんたんネットワーク設定をやり直す」(➜203)のあと

1 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

190 ～ 193 ページの接続方法に合わせて、以降のネットワーク設定を行ってください。

- LAN ケーブルで各機器と直接接続する
  ☞Ⓐへ
- ハブまたはブロードバンドルーターを使って LAN ケーブルで接続する
  ☞Ⓑへ
- 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)を使って接続する
  ☞Ⓒへ
- 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)を使わずに直接無線接続する
  ☞Ⓓへ

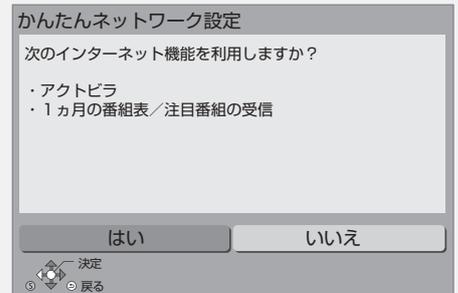
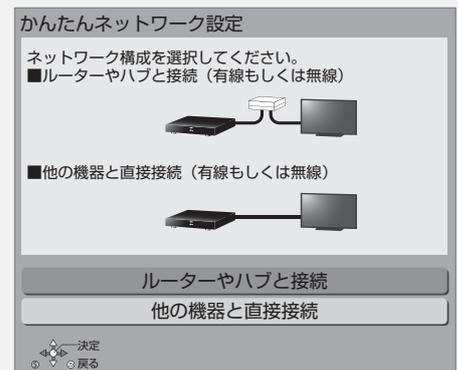
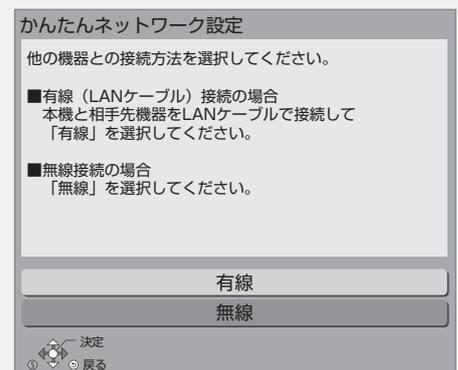
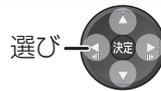
お知らせ

- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「DLNA サーバー設定 / スカパー ! HD 録画設定」(➜165)を行ってください。
- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、待機時の消費電力が増えます。

Ⓐ LAN ケーブルで各機器と直接接続する

手順 1 で「はい」を選んだ場合のみ

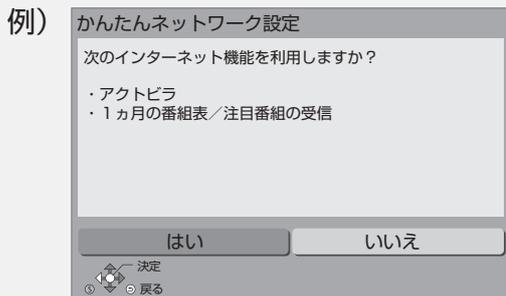
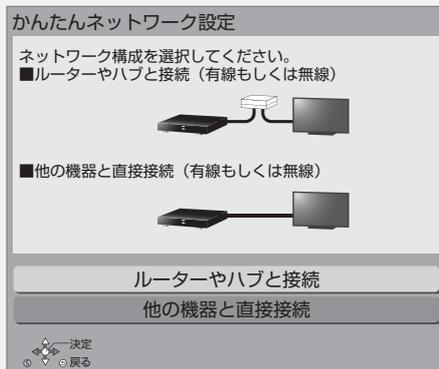
2 「いいえ」を選び、決定 を押す

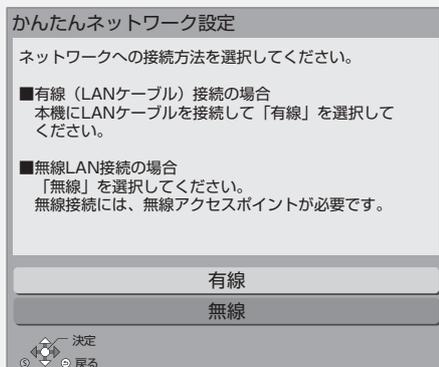
例)

3 「他の機器と直接接続」を選び、決定 を押す

4 「有線」を選び、決定 を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

B ハブまたはブロードバンドルーターを使って LAN ケーブルで接続する

C 無線ブロードバンドルーターを使って接続する

2 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

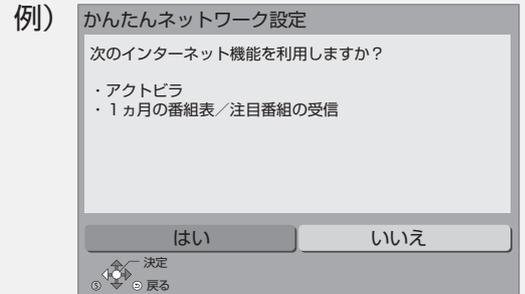
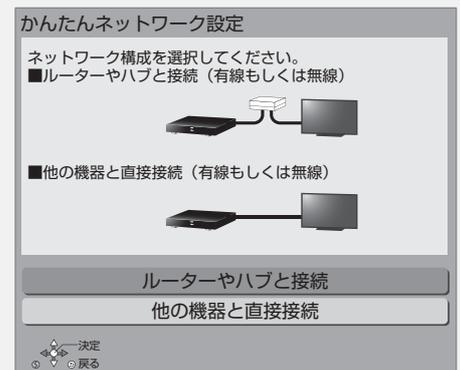
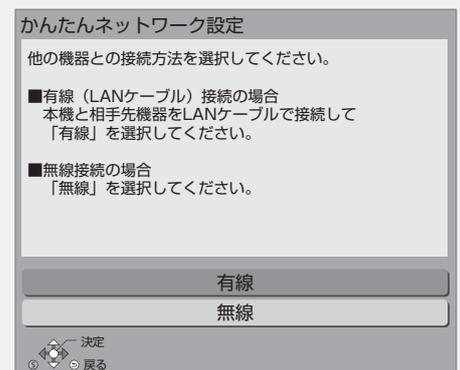
(「はい」を選んだ場合、手順４へ)

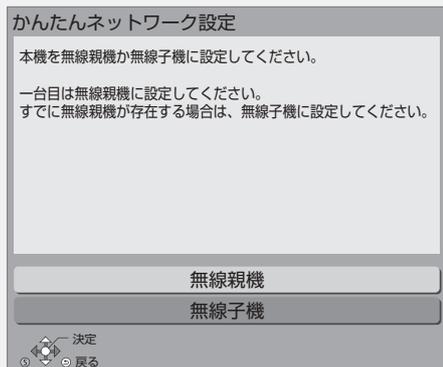
例)

3 「ルーターやハブと接続」を選び、決定 を押す

4 「有線」または「無線」を選び、決定 を押す

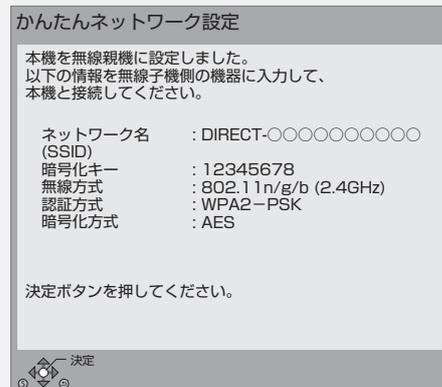
画面の指示に従って設定を行ってください。

D 無線ブロードバンドルーターを使わずに直接無線接続する

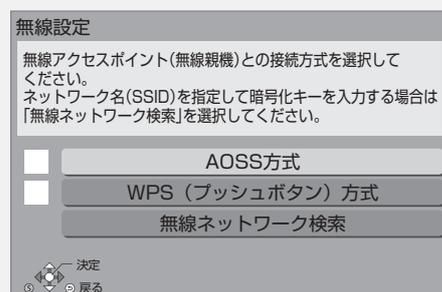
手順１で「はい」を選んだ場合のみ

2 「いいえ」を選び、決定 を押す

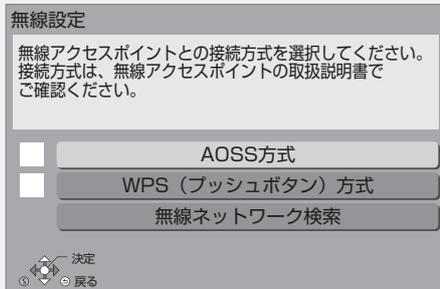
例)

3 「他の機器と直接接続」を選び、決定 を押す

4 「無線」を選び、決定 を押す

5 「無線親機」または「無線子機」を選び、決定 を押す

「無線親機」を選ぶと、本機をアクセスポイントに設定して、各機器と接続します。
すでに「無線親機」に設定している機器がある場合は、本機を「無線子機」に設定してください。

本機を無線親機として使用する場合

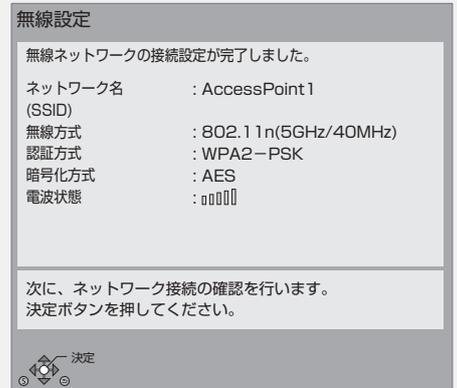
●左記手順5で「無線親機」を選ぶと、下記画面が表示されます。画面の情報を基に、接続機器（無線子機）側で接続設定を行ってください。

本機を無線子機として使用する場合

●左記手順5で「無線子機」を選んだあと、画面に従って設定を行ってください。

こんな画面が表示された場合

接続方式の選択

（無線 LAN を使って接続する場合）

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がAOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「AOSS方式」または「WPS（プッシュボタン）方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
対応していない場合は「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

- AOSS™、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線ネットワークの接続確認

無線ネットワークの接続に失敗した場合

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	●しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。 認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定 ●電波が弱いことが考えられます。本機の位置や角度をを調節してください。 ●無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キー ●しばらく待ってから、再度実行してください。
デバイスエラーが発生しました。	●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）
有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続（➜191）
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜161）
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜161）
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」（➜162）やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定（➜162） ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「－」が表示されます。

無線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜161）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認（➜161）
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」（➜162）やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定（➜162） ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「−」が表示されます。

お知らせ

●ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
●本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
●2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
●無線設定（➜201）の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定（➜ 下記）を再度行ってください。
●DLNA サーバー機能（➜165）をご利用になるには、802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
●暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

かんたんネットワーク設定をやり直す

以下の手順でかんたんネットワーク設定をやり直すことができます。

❶ 初期設定（ふた内部）を押す
❷ 「かんたんネットワーク設定」を選び、決定を押す（➜198 手順 1 へ）

お知らせ

●かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー! HDやCATVの登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	無線アクセスポイントへの接続に失敗しました。無線アクセスポイントの接続を確認してください。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)など無線親機側の電源が入っているか確認してください。
	接続テストを実行できませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	セキュリティーが低い設定になっています。設定の変更をおすすめします	●安全のために、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式を「AES」にしてください。
	接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブのLink ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。
	接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。 ●「IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定」**(➜161)**で「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機のMACアドレスが必要な場合は、「ネットワーク通信設定」**(➜161)**を表示してご確認ください。
	タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)側の MAC アドレスなどの設定を確認してください。 ●電波が弱いことが考えられます。本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。 ●手動で無線設定を行った場合、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーを確認してください。 ●しばらく待ってから、再度、実行してください。
	デバイスエラーが発生しました。	●再度、無線設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	IP アドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。
	IP アドレスが設定されていません。	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➜161)で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)
	IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
通信時に出るメッセージ	サーバーへの接続に失敗しました。(B020)	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「プロキシサーバー設定」(➜162)やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからの ID やパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。

こんな表示が出たら（続き）

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	D	●以下の場合などに点灯します。 ・HDD の番組の録画モード変換中 ・持ち出し番組作成中 ・“D”点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。次回、電源「切」時に処理が実行されます。
		●番組のダウンロード中です。
	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。時刻を合わせてください。 デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	61PCT	●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
	BS 101	●現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)
	B-CAS OUT	●B-CAS カードが正しく挿入されていません。正しく挿入してください。
	C1 001	●現在選んでいる CS1 放送のチャンネルです。(例:001 チャンネル)
	C2 100	●現在選んでいる CS2 放送のチャンネルです。(例:100 チャンネル)
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)
	DV	●現在、DV 入力が選ばれています。
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	L1	●現在、外部入力が選ばれています。(例:L1)
	LOCK	●ディスクトレイがオープン禁止(ロックモード)になっています。ロックモードを解除してください。(➔170)
	MENU	●スタートメニュー表示中です。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	NET	●インターネットや宅内ネットワークに接続中です
	NoFINALIZE	●HDDの録画や再生中などに[開／閉 ▲]を押したとき、未ファイナライズの BD-R -R(V) -R(AVCREC) -RW(V) が入っている場合に表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー（別売）の作業が終了したときに、表示されることがあります。[開／閉 ▲]を押してクリーナーを取り出してください。
	NoREC	●以下の場合、[ワンタッチ予約録画 ●]を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・外部入力やi.LINK(TS)入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE"が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」や関連番組まとめて予約以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。
	REPEAT	●タイトル、チャプターをリピート再生中です。
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	TS	●現在、i.LINK(TS)入力が選ばれています。
	U30 2 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 ― 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。（リモコン下部に"IR6"の表示があるリモコンで操作できます）
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の［電源⏻/I］を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	VIDEO	●録画一覧またはドアホン・センサーカメラ映像一覧表示中です。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ･電源切 / 入時
  - ･番組表データを受信中
  - ･番組のダウンロード中
  - ･録画中
  - ･録画モード変換時、持ち出し番組作成時
  - ･「HDMI CEC 録画待機」（➜159）の「入」時
  - ･「家じゅう録画一覧設定」（➜162）の「自動更新」の「入」時
  - ･予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
- 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。

（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないことがあります。（➜212）

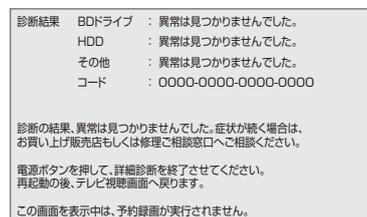
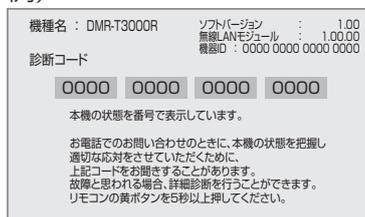
診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[スタート]** を押す
②「情報・診断コード」を選び、**[決定]** を押す
- 表示がない場合は [|◀◀][▶▶|] でページを切り換えてください。

③「診断コード」を選び、**[決定]** を押す
④ **[黄]** を 5 秒以上押す
⑤「はい」を選び、**[決定]** を押す
- 診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

例）

電源

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」(➜154) や HDMI CEC の電源オフ連動 (➜114)、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

●HDMI CECをお使いのときは、当社製テレビと接続し、テレビから予約されると、本機の電源が自動的に入ります。

表示

表示が出ない
表示が暗い

●「本体表示窓の明るさ」(➜159)で明るさを変えてください。
●HDMI CECのECOスタンバイの機能が働くと、本体表示窓は消灯します。

“録画 1”または“録画 2”、“録画 3”、“LAN 録画”が点滅している

●録画中に点灯します。
●以下の場合、点滅します。
・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
・デジタル放送録画時、アンテナ抜けや電波が弱くて正常に録画できないとき
・録画や予約録画時に B-CAS カードが抜けているとき
・予約録画時に、HDD の残量がないとき
・スカパー! HD 対応のチューナーや CATV から信号が受信できなくて録画できないとき。

残量表示が使用した量と違う

●残量表示は実際より増減することがあります。
●-R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

テレビ画面や映像

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき（➜196）
・「アンテナ電源」を「入」にしているとき（➜148）
●「アンテナ出力」（➜148）を「入」にする。
「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
●一度「アッテネーター」（➜150）の設定を切り換えてみてください。
●エコ待機で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜184）

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」（➜197）をやり直してください。

映像が映らない 映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。（➜178 ～ 195）
●HDMI 端子接続時：
・HDCP（不正コピー防止技術）に対応した機器（パソコンのディスプレーなど）に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
-「24p 出力」（➜160）が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
- 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
・「Deep Color 出力」（➜160）もしくは「コンテンツタイプフラグ」（➜160）を「切」にしてください。
●3D映像や24p素材を含む番組を再生時、HDMI端子以外からの映像が映らない場合があります。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」（➜159）が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される 画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」（➜33）で調整してください。（テレビのアスペクト設定でも調整できます）
●「TV アスペクト」（➜159）の設定を接続したテレビに合わせてください。

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」（➜72）を「切」にしてください。

必要なとき

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(➜163)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

U30 2

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3 秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などがありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜164)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➜163)

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

●放送設定「受信アンテナ設定」(➜150)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合、以下をお試しください。
・「アッテネーター」(➜150)の設定を切り換える。
・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
●集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。
●受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

●BS・110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナやアンテナ線、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
●「受信アンテナ設定」(➜150)でアンテナレベルが最大になるように、アンテナを調整してください。
●BS・110 度 CS デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。このような場合、放送によっては降雨対応放送に切り換わることがありますが、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
●アンテナへの電源供給が必要です。
・「受信アンテナ設定」(➜150)の「アンテナ電源」を「入」にしてください。
・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

WOWOW やスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

●有料放送の視聴には、放送局ごとに受信契約が必要です。
●契約した B-CAS カードを挿入してください。テレビ側でのみ有料放送の契約をしている場合は、テレビの B-CAS カードを本機に挿入してください。

データ放送が見られない

●録画中にデータ放送は見られません。
●i.LINK(TS) 入力中はデータ放送は見られません。

字幕や文字スーパーが出ない

●字幕や文字スーパーのある番組の場合、放送設定「字幕設定」(➜149) の「字幕」や「文字スーパー」を「入」にしてください。

故障かな !? (続き)

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機のディスクトレイがロックされているか確認してください。(➜170)
●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す。
・本体表示窓に "00 RET" が表示されます。
② 本体表示窓に "06 FTO" が表示されるまで [▶] を数回押す。
③ [決定] を押す。
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

音声

音声が出ない

●ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
●HDMI端子の接続状態に合わせて、「HDMI音声出力」(➜160)を設定してください。
・HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
・HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」
●Dolby Digital PlusまたはDolby TrueHDなどの音声が出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(➜155)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

●接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。「音質効果」(➜73)の「リ . マスター」を「切」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

●スピーカーの接続を確認してください。
●5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➜158)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

●以下の場合、音声の切り換えはできません。
・マルチ音声の番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードで予約録画する
・MP4 音声の切り換えはできません。
●アンプと接続している場合、アンプ側で切り換えてください。
●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

●ディスクをフォーマットしていますか。
●ファイナライズ後のディスクは記録できません。
●誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。
(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください)
●カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0) は、本機では記録できません。
●-R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
●本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
●録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。
●ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

録画

録画できない

●ディスクに直接録画するには「ディスクへの録画機能」(➜155)を「有効」に設定してください。

番組を同時に録画できない

●以下の場合、複数の番組を同時に録画できません
・2 番組をディスクに録画する場合
・DV 入力や i.LINK(TS) 入力から録画する場合
・「外部入力(L1)取込」中
・高速ダビング中
・スカパー! HD の 2 番組の場合

予約録画

予約録画ができない

●**[予約確認]**を押して、予約内容を確認してください。
・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。
・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。
●本体表示窓に"0:00"が点滅しているときは、正しく予約録画されません。
●「ディスクへの録画機能」(➜155)が「有効」に設定されていると予約録画できません。

ディスクに予約録画ができない

●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)
・未フォーマットのディスク
・-R(V) -RW(V) のディスク
・RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に DR、1.5 ～ 15 倍録モードで予約
・-RAM(AVCREC) -R(AVCREC) に録画モード「DR」「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約
・BD-RE BD-R に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約
・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約
・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク
・ディスクへの予約がすでにある(ディスクへの予約は 1 番組のみ)

BS・110度CSデジタル放送の予約録画ができない

●BS・110 度 CS デジタルアンテナに電源が供給されていない場合、予約録画は実行されません。アンテナへの電源供給が必要です。
・個別に BS・110 度 CS デジタルアンテナを設置している場合、「アンテナ電源」(➜148)を「入」にしてください。
・分配器を使って本機とテレビにアンテナを接続している場合は、テレビと本機のどちらからでも電源を供給できるように全端子電流通過型の分配器を使用してください。

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。
●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
●LAN 経由(スカパー! HD や CATV) から録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。

録画した番組の一部、またはすべてが消えた

●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。

再生

録画した番組が見つからない

●毎日･毎週予約や関連番組まとめて予約で録画した番組は、録画一覧（まとめ表示）では、まとめて表示されます。
まとめ が付いた番組を選んで、[決定] を押すと、録画した番組がすべて表示されます。
●録画一覧で[サブ メニュー]を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
●「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。
●視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

再生できない

●他のブルーレイディスクレコーダーやパソコンなどで録画したコピー制限のある番組は、本機の HDD へダビングしても、著作権保護のため再生できません。
●カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0) は再生できません。
●SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画 (AVCHD) は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。

映像が乱れたり、正しく再生されない

●天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
●録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。
●i.LINK(TS) ダビングをした番組は、番組の一部が欠けている場合があります。
●2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

スロー再生がなめらかでない

●取り込んだハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

番組の先頭から再生が始まらない

●続き再生メモリー機能が働いています。以下の手順で先頭から再生してください。
① 録画一覧表示中に、番組を選んで[サブ メニュー]を押す
② 「先頭から再生」を選んで[決定]を押す

映像や音声が一瞬止まる

●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。

字幕が出ない、切り換えられない

●DR、1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、再生設定「信号切換」の「字幕」(➜71)を「入」にしてください。
●XP、SP、LP、EP、FRモードの番組は、「字幕」(➜71)を「入」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入 / 切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕情報」(➜71)ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す
（本体表示窓に“00 RET”が表示されます）
② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで [▶] を押す
③ [決定]を押す

3D 映像が出力されない

●本機とテレビの設定は正しいですか。
●本機とテレビの間に接続しているアンプの電源は入っていますか。
●本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続していませんか。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●「3D ディスクの再生方法」(➜156)が「2D 再生」に設定されていますか。
●3D番組を再生する場合、「3D番組の出力方法」を2Dに設定してください。
●3D をお楽しみいただけるサイドバイサイド(2 画面構成)などの放送を記録した番組は、2D 再生すると、2 画面で出力されます。

編集

番組を消去しても残量が増えない

● BD-R -R 消去しても増えません。
● -RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません

編集できない

● HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
●ファイナライズ済みのディスクは編集できません。
●本機では、持ち出し番組の編集はできません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

●本機ではプレイリストの作成はできません。

ダビング

ダビングできない

●HDD から -R(V) -RW(V) へのダビング時、以下の場合はダビングできません。
HDD の不要な番組を消去してください。
・HDD の残量が少ないとき(使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります)
・HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 3000 を超えるとき
●市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
●チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
●高画質(転送レート約 18 Mbps以上)の動画を、2 倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

●以下の場合、1 倍速でのダビングになります。
・DR モードの番組、LAN 経由で録画した番組(スカパー! HD、CATV)を DVD にダビングする
・1.5 ～ 15 倍録モードの番組を RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW にダビングする
●以下の場合も、 1 倍速でのダビングになります。
・録画モードを変更してダビングする
・ディスクの記録容量を超えてダビングする
・1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組を DVD にダビングする
・「AVCHD 3D」の表示がある番組を DVD にダビングする
・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) にダビングする
・ BD-RE BD-R から他機器で記録した XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を HDD にダビングする
・ DVD-V から HDD にダビングする

高速モードでのダビングに時間がかかる

●ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
●「高速ダビング速度」(➜157)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(➜157)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

必要なとき

他機器との連携

CATV から予約録画ができない

●本機と CATV の設定が正しいか確認してください。
●i.LINK を使って予約録画する場合、本機の初期設定で以下の設定をしてください。
・「i.LINK 機器モード設定」(➜160):「TS モード2」
※CATVを2台以上接続すると正しく動作しません。
●Ir システムを使って予約録画する場合、CATVのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。本機の「リモコンモード」(➜212)は「リモコン1」～「リモコン 3」に設定してください
●「時間指定予約」(➜50)の場合、「放送種別 / チャンネル」を接続した端子に合わせてください。

i.LINK(TS) ダビングができない

●接続した機器が本機で対応している機器か確認してください。
●接続した機器の電源が「切」になっていませんか。
●接続した機器側で、i.LINK(TS) が動作する設定になっていますか。
●本機の初期設定で以下の設定をしてください。
・「i.LINK機器モード設定」(➜160):接続した機器に合わせる

ビデオやビデオカメラからダビングできない

●接続と接続機器の設定などを確かめてください。
●**[入力切換]** で外部機器を接続した外部入力チャンネルを選んでいますか。
●DV おまかせ取込をする場合は、本機の初期設定で以下の設定をしてください。
「i.LINK 機器モード設定」(➜160):「DV モード」
※うまく働かない場合は、接続と DV 機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(➜100)を行ってください。

USB 機器が正しく認識しない

●本機は当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラ、SD ビデオカメラ、デジタルカメラ、携帯電話、ポータブルテレビ(ビエラ･ワンセグ)、デジタルメディアプレーヤーと接続することができます。それ以外の USB 機器については動作保証していません。
●USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
●本機と接続するための設定が、接続した USB 機器側で正しく設定されていますか。接続機器の説明書をご覧ください。
●USB 機器に SD カードが正しく入っていますか。
●再生、録画またはダビング中などに、USB機器が接続された場合は、認識しないことがあります。

ダビングしたディスクが他の機器で再生できない

●**BD-R** **-R** **-RW** ファイナライズしていますか。(➜146)
●1.5～15 倍録モードの番組を記録したAVCREC方式の DVD や、XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を記録した VR 方式の DVD の場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

番組表

番組表データが受信できない

- 番組表で番組情報を表示させたい局を選んで[決定]を押すと、番組表データを受信できます。
- CATV をご利用の場合、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できない場合があります。
  詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。
- お住まいの地域の受信状態に問題がある場合(電波状態が弱い場合など)は、番組表データを取得できないことがあります。ブースターを使用することで改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。

番組表データが更新されない

- データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。
  前回受信したデータが残ります。
  データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
  (データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。)

1ヵ月の番組表が表示されない

- ネットワークの接続と設定を確認してください。
- 「通信によるGガイド受信」(**➜148**)の設定を「入」にしてください。
- 2012 年 5 月現在、WOWOW、スターチャンネルのみ表示できます。

ネットワーク

アクトビラのインターネットサービスがつながらない
動画コンテンツが見られない

- 「DNS-IP 自動取得」(**➜161**)が「入」になっていますか。
- アクトビラのインターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
  また、アクトビラ ビデオ・フルの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH) のブロードバンド環境が必要です。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

HDMI CEC

HDMI CEC が働かない

- 本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に "HDMI" が表示されない場合は、HDMI ケーブルの接続を確認してください。
- 「HDMI CEC 制御」(➜159)が「入」になっていますか。
- 接続した機器側のHDMI CECの設定を確認してください。
- HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにHDMI CECが動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。

DLNA 機能

再生できない

- 接続や設定を確認してください。
- 「機器一覧」(➜162)で、再生する機器が[許可]になっていますか。
- 再生する機器によっては、録画中の番組や 1.5 ～ 15 倍録モードの番組、スカパー! HD の番組、取り込んだハイビジョン動画は再生できません。
- 「エコ待機」(➜25)を押して電源を「切」にしているときは、再生できません。

再生できない、または映像が途切れる（無線 LAN 接続時）

- 802.11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。
  2.4 GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 「無線 / 無線親機設定」(➜161)の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

予約一覧

マーク	内容
	1ヵ月より先の番組予約です。1ヵ月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
	録画できない場合があるときなどに表示されます。[決定]を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
LAN予約	ネットワークで接続したスカパー! HD 対応のチューナーや CATV から本機に録画予約した番組
関連番組	関連番組まとめて予約で自動的に予約された番組
シリーズ終了	毎日･毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
警告	引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組

マーク	内容
	録画中の番組
	1.5～15倍録モードで録画中にDRモードに切り換えて録画している番組
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組

録画一覧

マーク	説明	マーク	説明
	新しく録画してまだ見ていない番組		HDDにダビング中の番組や、ダウンロードして視聴期限の過ぎたまたはデータが壊れているなど、再生できない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組		書き込み禁止（プロテクト）設定した番組や写真
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。
	HDDに代替録画された番組		本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとHDDの番組は消去されます。
	録画禁止信号により録画できなかった番組		ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
	録画・ダウンロード中の番組		ダビングできない番組
	録画した 3D 映像の番組 （番組によっては、表示されない場合もあります）		取り込んだ 1080/60p （1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組

ダビング

マーク	説明	マーク	説明
	DR、1.5 ～ 15 倍録モードで録画した番組 LAN 経由で録画した番組 （スカパー! HD、CATV） 取り込んだ動画 (AVCHD・MP4)		本機で録画したコピー制限のある番組。 数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
	DR モードで録画された番組 [i.LINK（TS）ダビング時]		本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		ダウンロードした番組でディスクへダビングできる回数が残り１回の番組
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)		ダビングできない番組
	ダビング登録した番組 （かんたんダビング時） 数字の小さい番組から順にダビングします。		取り込んだ 1080/60p （1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組
	静止画を含むもの （HDD に静止画部分はダビングされません）		録画した 3D 映像の番組（番組によっては、表示されない場合もあります）

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 （地上デジタル）

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜115)
  ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）

BS デジタル放送 （BS デジタル）

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 （CS デジタル）

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー ! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー ! e2」には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先
「スカパー ! e2」カスタマーセンター
0570-08-1212（ナビダイヤル）
（携帯電話・PHS の方は、**045-276-7777**）
受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）
「スカパー ! e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

お知らせ

- **B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　　源： AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：
動作時：約 25 W
待機時（クイックスタート「切」／エコ待機「モード 2」）：
時刻表示消灯時・約 0.02 W※1※2
待機時（クイックスタート「入」省エネ）：
時刻表示消灯時・約 2.8 W※1
待機時（クイックスタート「入」標準）：
時刻表示点灯時・約 4.1 W※1※3

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」
・無線 LAN 未接続時
・外部接続端子（LAN、USB、DV）：未接続
※ 2・エコ待機「モード 1」の数値はお客様の設定により変わります。
※ 3・HDMI 出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※4	—
年間消費電力量※5	23.3 kWh/ 年
省エネ基準達成率※4	—

※ 4　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。
※ 5　表示値はJEITA基準による算出式を基に算出した参考値です。

■本体
寸法：
幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 199 mm（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 209 mm（突起部含む）
質量： 約 2.8 kg
許容周囲温度： 5 ℃～40 ℃
許容相対湿度： 10%～80%RH （結露なきこと）

■アンテナ受信入力：
地上デジタル入力：
90 MHz ～ 770 MHz　75 Ω（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）
BS・110度CSデジタル -IF 入力：
1032 MHz～2071 MHz　（IF入力周波数）75 Ω
電源供給：DC 15 V、最大4 W

■入出力端子（映像・音声を除く）
DV 入力 /TS 入出力端子：
４ピン：1 系統（IEEE1394 準拠）、端子は背面 1 装備
SDメモリーカードスロット： 1系統
LAN端子： 1系統（10BASE-T/100BASE-TX）
USB 端子： 前面 1 系統、背面 2 系統（DC 5 V　MAX 500 mA）
RS-232C　端子： 1 系統、シリアル制御端子（D-sub 9 ピンオス）RS-232C 準拠

■映像
記録圧縮方式：
MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264
映像入力：
入力端子： 1 系統（ピンジャック）
入力レベル： 1.0 Vp-p　75 Ω
映像出力：
出力端子： 1系統（ピンジャック）
出力レベル： 1.0 Vp-p　75 Ω
HDMI映像・音声出力：
出力端子： 1 系統（19 ピン　typeA 端子）
（480p/1080i/720p/1080p）

■音声
記録・再生圧縮方式：
MPEG-2 AAC（DR、1.5 倍録～ 15 倍録モード・デジタル放送記録時）：最大 5.1ch 記録
Dolby Digital（1.5 倍録～ 15 倍録モード・外部入力記録時、XP、SP、LP、EP、FR モード）：2ch記録
アナログ入力：
入力端子： 2ch入力、1 系統（ピンジャック）
入力レベル：
FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
入力インピーダンス：22 kΩ
アナログ出力：
出力端子： 2ch出力、1 系統（ピンジャック）
出力レベル：
FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力インピーダンス：1 kΩ（負荷インピーダンス：10 kΩ）
デジタル出力：
光デジタル音声出力端子： 1 系統
HDMI 映像・音声出力端子： 1 系統

■SD 部

対応カード：

SD カード：FAT12/FAT16

SDHC カード：FAT32

SDXC カード：exFAT

■USB 部

バージョン：ハイスピード USB（USB2.0 準拠）

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 8192 × 8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

解凍時間※6**：**約2秒（1010万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- ●JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
  - ・MOTION JPEG 非対応
- ●MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500※7

ファイル数：

- ●HDD：最大 20000
- ●BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000※8

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■MPEG-2 動画

ファイル形式：SD VIDEO規格準拠

圧縮方式：MPEG-2

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

- ●MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下
- ●解像度：1920 × 1080 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

■持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 180　15 fps（412 kbps）

SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile）準拠 / 640 × 360　30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11n / IEEE802.11a※9/

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、

ARIB STD-T71（5 GHz帯）、ARIB STD-T66（2.4 GHz帯）

（5 GHz 帯は屋内使用限定）

セキュリティー：

WPA™ / WPA2™

（暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK）

WEP （64 bit / 128 bit）

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF ：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※6　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※7　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

※8　最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）

※9　従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。

■録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク				内蔵HDD	BD-RE、BD-R			
				500 GB	128 GB（片面４層）※10	100 GB（片面３層）	50 GB（片面２層）	25 GB（片面１層）
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送（≦24 Mbps）	約 45 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
			SD放送（≦12 Mbps）	約90時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
		地上デジタル	HD放送（≦17 Mbps）	約 63時間	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 67 時間 30 分	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.6 倍録			約 72 時間	約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	1.8 倍録			約 81 時間	約 22 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録（HG）			約 90 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録			約 103 時間 30 分	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録			約 112 時間 30 分	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録			約 121 時間 30 分	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録（HX）			約 135 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録			約 157 時間 30 分	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録（HE）			約 180 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録			約 202 時間 30 分	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録（HL）			約 225 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録			約 247 時間 30 分	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録			約 270 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録			約 315 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
	8 倍録（HM）			約 360 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	9 倍録			約 405 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
	10 倍録			約 450 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分
	11 倍録			約 495 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分
	12 倍録			約 540 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	15 倍録（HZ）			約 675 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
DVD画質	XP			本機では録画できません				
	SP							
	LP							
	EP（8 時間）							

※ 10　片面４層は BD-R のみ。2012 年５月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

ディスク / 録画モード		DVD-RAM DVD-R （4.7 GB）	DVD-R DL （8.5 GB） （片面 2 層）	DVD-RW （4.7 GB）
ハイビジョン画質	1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約 1 時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約 1 時間 21 分	
	2 倍録（HG）	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約 1 時間 43 分	
	2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	2.7 倍録	約 1 時間 5 分	約 2 時間 1 分	
	3 倍録（HX）	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	3.5 倍録	約 1 時間 24 分	約 2 時間 37 分	
	4 倍録（HE）	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	4.5 倍録	約 1 時間 48 分	約 3 時間 22 分	
	5 倍録（HL）	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	5.5 倍録	約 2 時間 12 分	約 4 時間 7 分	
	6 倍録	約 2 時間 24 分	約 4 時間 30 分	
	7 倍録	約 2 時間 48 分	約 5 時間 15 分	
	8 倍録（HM）	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
	9 倍録	約 3 時間 36 分	約 6 時間 45 分	
	10 倍録	約 4 時間	約 7 時間 30 分	
	11 倍録	約 4 時間 24 分	約 8 時間 15 分	
	12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	
	15 倍録（HZ）	約 6 時間	約 11時間 15分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP（8 時間）	約8時間	約14時間20分	約8時間

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」（➜162）を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります）
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様（続き）

■**記録できる最大番組数**（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD ：3000（持ち出し番組を含む）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V) ：99

■**予約可能番組数**

128（予約可能期間：1 年間）

■**スカパー！HD の番組の記録時間の目安**

番組＼内蔵HDD	500 GB
スカパー！HD のハイビジョン画質の番組	約 116 時間（約 63 ～ 146 時間）
スカパー！HD の標準画質の番組	約 199 時間（約 126 ～ 383 時間）

- 録画する番組によって記録できる時間は変動します。( ) は変動する記録時間の目安です。

■**最大チャプターマーク数**（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- HDD ：1 番組当たり約 999 個
- BD-RE ※11 BD-R ※11 RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ：ディスク当たり約 999 個

※ 11　BDXL は約 20000 個

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ：1 番組当たり約 100 個

■**持ち出し番組の記録可能時間の目安**

SD カード＼画質	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数 ：99** [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

［表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示］

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="4">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream※12</th><th colspan="2">PCM※13</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・
操作音」の設定</th><th>入※14</th><th>切</th><th>入※15</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※16</td><td rowspan="2">Dolby
Digital</td><td rowspan="5">オリジナル
の
音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※17</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX※18</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウン
ミックス
2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※16</td><td rowspan="3">DTS
Digital
Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※19</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES※19</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High
Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch※19</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD
Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※ 12 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※ 13 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 14 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」（➜158）を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 15 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 16 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※ 17 BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」（➜160）が「切」時は 5.1ch になります。

※ 18 BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」（➜158）を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※ 19 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio ｜ Essential は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
●AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
●SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
●i.LINKとi.LINKロゴ“i”は商標です。
●DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●『「スカパー！HD 録画」ロゴ』は、スカパーJSAT 株式会社の商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
●Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
●HDAVI Control™ は商標です。
●マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
●“Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
●Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
●“Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“Wi-Fi Direct”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2012
●“AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●“DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［スタート］ボタンを押し、“全機能から選ぶ”→“設定する・その他の機能”→“情報・診断コード”→“情報”→“ID表示”→“ソフト情報”をご参照ください。
●データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●本機は2012年5月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。

●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

●アクトビラのインターネットサービス

●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス

●その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア

(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア

(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア

(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア

(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest.diga@gg.jp.panasonic.com

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP12.html

(5) には以下が含まれます。

1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

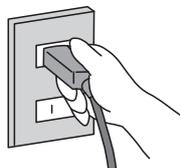
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

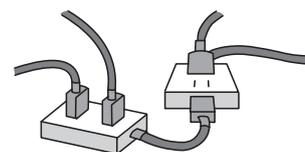
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から22cm以上離す

無線LANからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

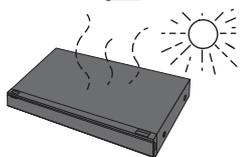
自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

無線LANからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

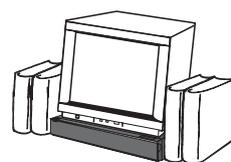
病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

無線LANからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

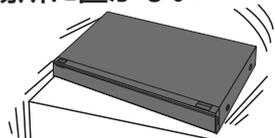
異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

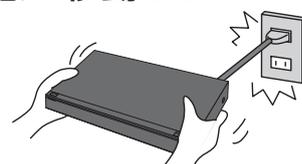
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

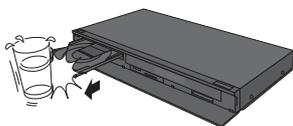
ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D画面モード」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	（　　　）　　ー
お買い上げ日	年　　月　　日
B-CASカード番号	

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（➜209 ～220）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	ブルーレイディスクレコーダー
● 品　番	DMR-T3000R
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
（ただし光ピックアップ部、ドライブユニット、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。）

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 **診断・修理・調整・点検などの費用**
部品代 **部品および補助材料代**
出張料 **技術者を派遣する費用**

※ **補修用性能部品の保有期間** ８年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字　ページ

あ 行 ページ

か 行 ページ

さ 行

ページ

た 行　　ページ

な 行　　ページ

必要なとき

さくいん（続き）

ま 行 ページ

や 行 ページ

ら 行 ページ

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

VQT4G92
F0512TA0